

プログラム

特別講演

教育講演

年会長講演

年会長特別企画シンポジウム

年会特別企画シンポジウム

年会企画シンポジウム

合同シンポジウム

委員会企画シンポジウム

優秀論文賞受賞講演

シンポジウム

ワークショップ

TIPS

メディカルセミナー

口頭発表

ポスター発表

症例報告

特別講演

特別講演 1 治療を適正化するためのデータベース研究の重要性

5月30日(土) 11:00~12:00 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

座長：今井 哲司 (和歌山県立医科大学 薬学部 医療開発薬学研究室)

演者：山本 信之 (和歌山県立医科大学医学部内科学第三講座)

特別講演 2 薬剤師に期待する緩和医療プロフェッション

5月30日(土) 17:00~18:00 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

座長：月山 淑 (国立病院機構南和歌山医療センター)

演者：住谷 昌彦 (東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部、東京大学大学院医学系研究科疼痛・緩和病態医科学講座)

特別講演 3 在宅緩和ケアに対する社会のニーズと薬剤師の役割

5月31日(日) 14:00~15:00 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

座長：小林 篤史 (株式会社佳林 カリン薬局)

演者：佐々木 淳 (医療法人社団悠翔会)

教育講演

教育講演 1 リアルワールドデータから臨床エビデンスを見抜くチカラ

5月30日(土) 16:00~17:00 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

座長：木口 倫一 (和歌山県立医科大学薬学部生体機能解析)

演者：金子 周司 (京都大学名誉教授)

教育講演 2 「患者を支える医療」とは何か — スピリチュアルケアの視点から、地域で働く薬剤師へ —

5月31日(日) 11:15~12:15 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

座長：岡本 禎晃 (敦賀市立看護大学看護学部看護学科)

演者：田村 恵子 (大阪歯科大学大学院看護学研究科開設準備室)

教育講演 3 ソーシャルキャピタルとして地域薬局の可能性を探る

5月31日(日) 11:15~12:15 第2会場 和歌山城ホール 小ホール

座長：稲葉 一郎 (薬局セントラルファーマシー長嶺)

演者：岡田 浩 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野)

年会長講演

年会長講演 地域から羽ばたく緩和医療薬学～これから私達が目指すべきもの～

5月30日(土) 10:00～10:45 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

座長：岡本 禎晃（敦賀市立看護大学看護学部看護学科）

演者：中川 貴之（和歌山県立医科大学 薬学部 病院薬学研究室、和歌山県立医科大学附属病院 薬剤部）

年会長特別企画 シンポジウム

レジェンドに聞いてみよう！

— 緩和医療薬学の課題克服から学ぶ未来へのヒント —

5月30日(土) 13:45～15:45 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

オーガナイザー：徳山 尚吾（神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室）

中川 貴之（和歌山県立医科大学薬学部／和歌山県立医科大学附属病院薬剤部）

座長：徳山 尚吾（神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室）

中川 貴之（和歌山県立医科大学薬学部／和歌山県立医科大学附属病院薬剤部）

年会長特別企画-1 絆でつなぐ在宅緩和医療：薬局薬剤師の歩みと未来への提言

長谷川 寛（日本調剤株式会社在宅医療部）

年会長特別企画-2 緩和医療薬学の黎明から教育・研究の未来へ ～臨床現場と学術の架橋としての薬剤師の歩み～

加賀谷 肇（湘南医療大学薬学部）

年会長特別企画-3 大学における教育・研究活動を通じて直面した課題と次世代へのメッセージ

鈴木 勉（湘南医療大学薬学部）

年会特別企画 シンポジウム 1	地域を支えるチカラ ～地域医療の 2040 年問題を考える・未来を見据えて今我々ができること～
----------------------------	--

5月30日(土) 10:00～12:00 第2会場 和歌山城ホール 小ホール

オーガナイザー：岡本 明大（三重大学医学部附属病院薬剤部）

細 直子（和歌山労災病院 薬剤部）

座長：岡本 明大（三重大学医学部附属病院 薬剤部）

細 直子（和歌山労災病院 薬剤部）

年会特別企画 1-1 「最期まで住み慣れた地域」を” おくすり” と” 薬剤師の協働” で支える！

Towards 2040～Integration of Primary/Pharmacist care & Palliative care (IPP)～

田上 恵太（悠翔会くらしケアクリニック練馬、東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野、
やまと在宅診療所登米、一般社団法人 IPP 研究会

年会特別企画 1-2 地域緩和ケアを支える薬剤師育成

熊坂 勇宏（tumugu 薬局）

年会特別企画 1-3 2040 年問題を見据えた保険薬局の在宅緩和ケア

～患者にとって「緩和ケア」と「死」が当たり前になる社会を目指して～

金子 雅好（中央薬局）

年会特別企画 1-4 未来の在宅医療を支える多職種連携と育成について

谷山 晶三（たにやまクリニック）

年会特別企画 シンポジウム 2	緩和医療薬学領域における臨床-基礎の双方向型研究
----------------------------	---------------------------------

5月30日(土) 16:00～18:00 第2会場 和歌山城ホール 小ホール

オーガナイザー：今井 哲司（和歌山県立医科大学 薬学部）

松本 みさき（和歌山県立医科大学 薬学部）

座長：今井 哲司（和歌山県立医科大学 薬学部）

松本 みさき（和歌山県立医科大学 薬学部）

年会特別企画 2-1 アカデミアならびに企業で生まれた創薬シーズを臨床開発ステージにつなげる

：早期からの協働体制の重要性

上園 保仁（東京慈恵会医科大学疼痛制御研究講座、東京慈恵会医科大学痛み脳科学センター）

年会特別企画 2-2 多様なビッグデータ解析と基礎研究を融合した新規治療法開発プラットフォームの構築

座間見 義人（岡山大学病院 薬剤部）

**年会特別企画 2-3 慢性疼痛下における認知機能障害の基幹メカニズム解明を目的とした海馬アセチルコリン遊離
応答の解析**

山下 哲（和歌山県立医科大学 薬学部 医療開発薬学研究室）

年会特別企画 2-4 抗がん剤誘発末梢神経障害の発症機序解明と新規予防薬の提言

川畑 篤史（近畿大学薬学部病態薬理学研究室）

年会企画 シンポジウム	理事長・関連学会連携委員会合同企画： 次世代型緩和医療のための痛みの評価・可視化・分子解析
----------------	--

5月31日(日) 9:00~11:00 第2会場 和歌山城ホール 小ホール

オーガナイザー：成田 年（星薬科大学 薬理学研究室）

藤田 和歌子（順天堂大学薬学部薬物治療学分野）

座長：中川 貴之（和歌山県立医科大学薬学部/和歌山県立医科大学附属病院薬剤部）

成田 年（星薬科大学 薬理学研究室）

年会企画-1 多発ニューロパチーの複雑な感覚障害の全容解明を目指した多階層研究の展開

今井 哲司（和歌山県立医科大学 薬学部 医療開発薬学研究室）

年会企画-2 痛みの治療における新たな治療戦略とオピオイド受容体ヘテロ二量体

藤田 和歌子（順天堂大学薬学部）

年会企画-3 1分子イメージングで解き明かす細胞内シグナルの制御・統合機構：疼痛に関わる研究

笠井 倫志（国立がん研究センター・研究所・先端バイオイメージング研究分野）

年会企画-4 アセンブロイドによるヒト感覚神経回路モデルの確立と病態モデリングへの応用

今泉 研人（Stanford University）

全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 合同シンポジウム1	薬剤師が提供する最新の在宅緩和薬物療法について考える
------------------------------	----------------------------

5月30日(土) 13:45~15:45 第12会場 ダイワロイネットホテル和歌山 グラン

オーガナイザー：金子 雅好（中央薬局）

小林 篤史（カリン薬局）

座長：金子 雅好（中央薬局）

小林 篤史（カリン薬局）

合同 S1-1 腎不全緩和ケアを在宅で行うための障壁—病院薬剤師の視点から—

吉田 拓弥（特定医療法人仁真会白鷺病院）

合同 S1-2 在宅医療における腎不全緩和ケアで必要な薬局薬剤師の役割

小林 篤史（カリン薬局）

合同 S1-3 心不全末期患者における在宅緩和ケアの現状と課題

坂本 岳志（あけぼの薬局 メディカル店）

合同 S1-4 神経難病（筋萎縮性側索硬化症）患者の「生」を支える3つの柱

～ガイドラインに沿った在宅緩和薬物療法の介入と実践～

桑原 宏昌（在宅支援薬局 おとくに）

5月31日(日) 9:00~11:00 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

オーガナイザー：佐藤 淳也(湘南医療大学薬学部)

中川 貴之(和歌山県立医科大学薬学部/和歌山県立医科大学附属病院薬剤部)

座長：佐藤 淳也(湘南医療大学薬学部)

橋本 浩伸(国立がん研究センター中央病院薬剤部)

合同 S2-1 がんの支持医療と JASCC の部会活動

東 光久(大阪南医療センター)

合同 S2-2 薬学的視点から紐解く最新の疼痛マネジメント -支持医療と緩和薬物療法の融合と臨床実装-

武井 大輔(埼玉県立がんセンター 薬剤部)

合同 S2-3 がん化学療法に伴う末梢神経障害(CIPN)のサポーターケア

—JASCC 神経障害部会の活動とガイドライン—

神林 祐子(姫路獨協大学薬学部医療薬学科 臨床薬効評価学研究室)

合同 S2-4 緩和薬物療法に連動するがん悪液質ケア：JASCC Cachexia 部会が示す統合的実践の要点

藤井 宏典(岐阜大学医学部附属病院 薬剤部)

合同 S2-5 支持療法の臨床試験実施からガイドライン作成まで

：JASCC オンコダーマトロジー部会、眼障害ワーキンググループの挑戦と MASCC 連携

飯村 洋平(東京大学医科学研究所附属病院 薬剤部)

合同 S2-6 骨転移の薬物療法 Up-to-date：JASCC 骨転移と骨の健康部会が示す薬剤師の実践スキル

兼平 暖(NTT 東日本関東病院 薬剤部、日本がんサポーターケア学会 骨転移と骨の健康部会)

合同 S2-7 JASCC 認定がん支持療法医療者とは

橋本 浩伸(国立がん研究センター中央病院)

委員会企画 シンポジウム 1	だれでもできる緩和臨床研究のすすめ（最新データより）
-------------------	----------------------------

5月30日（土）10:00～12:00 第7会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 303

オーガナイザー：国分 秀也（湘南医療大学薬学部臨床薬理学研究室）

座長：国分 秀也（湘南医療大学薬学部臨床薬理学研究室）

横山 晴子（株式会社アシスト あやめ薬局）

委員会企画 1-1 臨床研究のトリセツ - 知っておきたい手続きとプロトコル作成の基本 -

中村 和代（静岡県立総合病院 薬剤部/研究支援室）

委員会企画 1-2 薬剤師の視点からの研究立案 - メサドンの臨床研究 -

大内 竜介（東北医科薬科大学薬学部病院薬剤学教室、東北医科薬科大学病院薬剤部）

委員会企画 1-3 臨床業務から生まれた臨床研究への挑戦

～トラマドールの代謝酵素の遺伝子多型による臨床効果の解明

喜田 昌記（昭和医科大学江東豊洲病院 薬剤部、昭和医科大学 薬学部 病院薬剤学講座）

委員会企画 1-4 フェンタニルパッチとトラマドールの薬物間相互作用

小林 麻衣子（社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院 薬剤部）

委員会企画 1-5 臨床研究のあれこれ

国分 秀也（湘南医療大学薬学部臨床薬理学研究室）

委員会企画 シンポジウム 2	『みんなで考えよう！災害時における緩和薬物療法の継続 ～自らが被災者になった場合を想定し、自分事として考える～』
-------------------	---

5月30日（土）13:45～15:45 第7会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 303

オーガナイザー：金野 良則（気仙中央薬局）

座長：金野 良則（気仙中央薬局）

土井 光則（和歌山県立医科大学薬学部病院薬学研究室）

委員会企画 2-1 和歌山県における災害医療対応の現状と課題

岩崎 安博（和歌山労災病院 救急・集中治療部）

委員会企画 2-2 東日本大震災被災地域における医療現場の困難 ～医療・薬剤を提供し続けるために～

村上 雅彦（岩手県立大船渡病院 緩和医療科）

委員会企画 2-3 東日本大震災での医療用麻薬に関連した行政との意見交換、情報発信、流通を振り返る

的場 元弘（東京西徳洲会病院 顧問）

高山 和郎（東京大学医学部附属病院薬剤部）

大桑 邦稔（和歌山県薬剤師会災害対策委員会委員長、和歌山県薬事情報センター）

委員会企画 シンポジウム 3	緩和医療専門薬剤師が切り拓く新時代 — 実践知とチーム医療への貢献
-------------------	-----------------------------------

5月30日(土) 16:30~18:00 第6会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 302

オーガナイザー：高瀬 久光（順天堂大学医学部附属浦安病院 薬剤科）

宮部 貴識（国立病院機構大阪刀根山医療センター 薬剤部）

座長：高瀬 久光（順天堂大学医学部附属浦安病院 薬剤科）

宮部 貴識（国立病院機構大阪刀根山医療センター 薬剤部）

委員会企画 3-1 緩和医療の専門性を地域につなぐ—専門薬剤師の実践とネットワークの構築—

飯田 真之（神戸大学医学部附属病院）

委員会企画 3-2 緩和医療専門薬剤師への歩み — 日常臨床から地域へつながる実践 —

山本 泰大（小牧市民病院 薬局）

委員会企画 3-3 臨床で得た実践知を紐解く ～チームとの関わりの中で薬剤師にできること～

宮永 圭（長崎大学病院 薬剤部）

委員会企画 3-4 緩和医療における倫理的意思決定を支える実践知

—ノンテクニカルスキルとレジリエンスを基盤として—

土屋 裕伴（AMG 上尾中央総合病院 薬剤部）

矢野 琢也（住友別子病院 薬剤部）

加藤 麻衣（大阪鉄道病院 薬剤部）

委員会企画 シンポジウム 4	がん病態に関連する痛みのサイエンスとその克服に向けた包括的アプローチ
-------------------	------------------------------------

5月30日(土) 16:30~18:00 第8会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 304

オーガナイザー：藤田 和歌子（順天堂大学薬学部）

徳山 尚吾（神戸学院大学薬学部）

座長：藤田 和歌子（順天堂大学薬学部）

徳山 尚吾（神戸学院大学薬学部）

委員会企画 4-1 化学療法誘発性末梢神経障害（CIPN）：神経障害としての現状と展望

濱岡 早枝子（順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座）

委員会企画 4-2 がん疼痛に伴う病態変容の機序と治療標的探索

南雲 康行（国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究ユニット）

委員会企画 4-3 痛みのブラックボックスを解く：神経科学とAIが導く客観的疼痛評価のニューノーマル

中江 文（大阪大学情報科学研究科）

委員会企画 4-4 デジタル技術を駆使した次世代型緩和ケア手法の創出

仁木 一順（大阪大学大学院薬学研究科、市立芦屋病院薬剤科）

委員会企画 シンポジウム 5	新しくなった緩和薬物療法認定薬剤師認定制度 ～その概要と症例報告の書き方、優良事例に学ぶ～
-------------------	--

5月31日(日) 9:00～10:30 第4会場 和歌山県立医科大学薬学部 大講義室

オーガナイザー：松本 高広（東邦大学医療センター大森病院薬剤部）
土井 真喜（株式会社メディカルシステムネットワーク）
座長：松本 高広（東邦大学医療センター大森病院薬剤部）
土井 真喜（株式会社メディカルシステムネットワーク）

-
- 委員会企画 5-1 症例報告を書くにあたっての留意点
松本 高広（東邦大学医療センター大森病院薬剤部）
- 委員会企画 5-2 緩和薬物療法認定薬剤師に求められる薬学的知識とは
鍛冶園 誠（岡山市立市民病院 薬剤部）
- 委員会企画 5-3 終末期在宅医療における薬局薬剤師の介入を症例報告に落とし込む
新井 智春（BFC 株式会社 ふれあい薬局飯能店）
- 委員会企画 5-4 特定機能病院における緩和薬物療法認定薬剤師取得に向けた症例報告のポイント
穴戸 玲太（福島県立医科大学附属病院 薬剤部）

委員会企画 シンポジウム 6	今だからこそ必要！麻薬教育認定薬剤師の果たすべき役割と使命！
-------------------	--------------------------------

5月31日(日) 9:00～10:30 第5会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 301

オーガナイザー：岡本 明大（三重大学医学部附属病院薬剤部）
金子 健（慶應義塾大学病院 薬剤部）
座長：岡本 明大（三重大学医学部附属病院 薬剤部）
金子 健（慶應義塾大学病院 薬剤部）

-
- 委員会企画 6-1 麻薬教育認定薬剤師制度の最新の動向について
岡本 明大（三重大学医学部附属病院 薬剤部）
- 委員会企画 6-2 教育効果を高める表現のスキルアップ・実践術
～麻薬教育認定薬剤師研修会で磨くプレゼンテーションの極意～
横山 郁子（神戸薬科大学 地域連携サテライトセンター）
- 委員会企画 6-3 地域社会における医薬品適正使用の啓発活動
～病院薬剤師による青少年教育と市民啓発の実践～
伊藤 剛貴（草加市立病院 薬剤部）
- 委員会企画 6-4 保険薬局による青少年向け麻薬教育の取り組み
中島 美紀（(有)キムラ薬局）
- 委員会企画 6-5 麻薬教育認定薬剤師の新たな活動機会の創出と今後の展望
～市民向け啓発活動の実践事例から～
田口 真穂（横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室）

委員会企画 シンポジウム 7	先端学術緩和医療薬学タスクフォース研究（中間報告）
-------------------	---------------------------

5月31日（日）10:45～12:15 第6会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 302

オーガナイザー：高瀬 久光（順天堂大学医学部附属浦安病院 薬剤科）

座長：高瀬 久光（順天堂大学医学部附属浦安病院 薬剤科）

内田 まやこ（九州大学病院 薬剤部）

委員会企画 7-1 終末期退院前カンファレンスにおける薬薬連携手順書作成に向けた検討

近藤 匡慶（日本医科大学多摩永山病院 薬剤部）

委員会企画 7-2 臨床現場における予防的レスキュー適応の実態調査（中間発表）

田中 怜（湘南医療大学 薬学部）

委員会企画 7-3 終末期小児がん患者に対する薬剤関連問題の実態調査（中間報告）

川尻 雄大（九州大学病院 薬剤部）

委員会企画 7-4 オピオイド鎮痛薬関連呼吸抑制に関する JADER 解析結果の検証（中間報告）

飛鷹 範明（愛媛大学医学部附属病院 薬剤部）

優秀論文賞受賞講演

5月31日（日）15:00～16:00 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

優秀論文賞受賞講演-1 薬剤師、看護師を対象とした医療用麻薬注射剤の調製方法に関する実態調査

座長：佐藤 淳也（湘南医療大学薬学部）

演者：相田 和希（佐野厚生総合病院 薬剤部）

優秀論文賞受賞講演-2 日本人がん疼痛患者におけるヒドロモルフォン注射剤から経口剤への換算比に関する検討

座長：佐藤 淳也（湘南医療大学薬学部）

演者：中村 和代（静岡県立総合病院）

シンポジウム 1	痛みを“感じる”から“理解する”へ — 痛みの本質と AI と神経科学が導く次世代の疼痛評価
----------	---

5月30日(土) 10:00~12:00 第3会場 和歌山城ホール 大会議室

オーガナイザー：小林 篤史（在宅医療特化型 カリン薬局）

座長：小林 篤史（在宅医療特化型 カリン薬局）

稲葉 一郎（株式会社ハートフェルト 薬局セントラルファーマシー長嶺）

S1-1 痛みをどう“測る”か：痛みのアセスメント・ツールと次世代への展望

佐藤 一樹（名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻高度実践看護開発学）

S1-2 子どもの疼痛を評価する

多田羅 竜平（大阪市立総合医療センター緩和ケア内科）

S1-3 AI を用いた客観的疼痛評価の現状と今後

後藤 宏明（PaMeLa 株式会社）

S1-4 がんサバイバー自己疼痛管理のリアル

明日も生きたい自分と、明日を望まない自分の間では「特別ではられない。」

兼田 眞里（「かねまりクラブ」主催者）

シンポジウム 2	地域から全国実装を目指した多機関共同研究が切り拓くがん化学療法の未来 -副作用予測モデルの構築と応用-
----------	--

5月30日(土) 10:00~12:00 第4会場 和歌山県立医科大学薬学部 大講義室

オーガナイザー：吉田 謙介（東京薬科大学 医薬品安全管理学教室）

飛鷹 範明（愛媛大学医学部附属病院 薬剤部）

座長：杉浦 宗敏（東京薬科大学 医薬品安全管理学教室）

飛鷹 範明（愛媛大学医学部附属病院 薬剤部）

S2-1 放射線化学療法における嘔吐予測モデル— 研究の全貌と実装への鍵

吉田 謙介（東京薬科大学 医薬品安全管理学教室）

S2-2 実臨床データ再解析からみた子宮頸がん CCRT におけるオランザピン使用実態と嘔吐発現

～多施設共同研究データの利活用による検討～

河村 勇介（広島市立広島市民病院）

S2-3 子宮頸癌化学放射線療法施行患者における小線源療法と急性下痢発現の関連

中井 昌紀（愛媛大学医学部附属病院）

S2-4 利尿剤選択による放射線化学療法関連嘔吐への影響と臨床実装：多機関共同研究

殿村 直也（東京都立多摩総合医療センター 薬剤科）

S2-5 CCRT における Steroid-sparing 療法は可能か？

—地域の薬剤師が 1000 例の解析から見出した生存戦略—

松本 拓真（独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 薬剤部）

S2-6 愛媛県における薬学生を介した医療機関との連携

渡邊 真一（松山大学 薬学部 医療薬学研究室）

シンポジウム 3

「医療者がリードする患者力向上」 ～共感と対話が育む緩和医療～

5月30日(土) 10:00～11:30 第5会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 301

オーガナイザー：木本 真司(竹田総合病院 薬剤部)

座長：木本 真司(竹田総合病院 薬剤部)

東 光久(奈良県総合医療センター 総合診療科)

S3-1 “薬の説明” から “患者の力を支える対話” へ

— 患者力とチーム医療 ABC で再考する緩和ケア —

東 光久(大阪南医療センター)

S3-2 患者と医療者の関係性が生み出す患者力— 1人と2.5人称の視点から考える緩和ケア実践—

長谷川 友美(奈良県立病院機構奈良県総合医療センター)

S3-3 Patient Empowerment Program 参加を通して考える患者力支援

— 高齢・聴覚障害終末期がん症例の経験 —

岩上 泰崇(一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 薬剤科)

S3-4 患者力を引き出すためのスキル・ツールキットを用いた薬剤師の新入職員および実務実習生への教育の取り組み

香内 綾(竹田総合病院 薬剤部)

シンポジウム 4

がんと神経の相互作用が拓く新たな腫瘍制御の展望

5月30日(土) 10:00～11:30 第6会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 302

オーガナイザー：葛巻 直子(星薬科大学 薬理学研究室)

川内 大輔(名古屋市立大学 大学院医学研究科 脳神経科学研究所 腫瘍・神経生物学)

座長：成田 年(星薬科大学 薬理学研究室)

川内 大輔(名古屋市立大学 大学院医学研究科 脳神経科学研究所 腫瘍・神経生物学)

S4-1 膠芽腫におけるカルシウムシグナルと転写・クロマチン制御の統合機構

川内 大輔(名古屋市立大学 大学院医学研究科 腫瘍・神経生物学分野)

S4-2 知覚神経の軸索反射を介したがん細胞制御機構

葛巻 直子(星薬科大学 薬理学研究室)

S4-3 腫瘍神経学は乳癌の予後を改善できるか？新たな標的探索の試み。

川島 雅央(京都大学大学院医学研究科 乳腺外科学)

シンポジウム 5	患者さんの“心の声”に向き合うために薬剤師ができることは
----------	------------------------------

5月30日(土) 10:00~12:00 第12会場 ダイワロイネットホテル和歌山 グラン

オーガナイザー：坪内 清貴(金沢大学附属病院 薬剤部)

別所 千枝(JA 広島厚生連尾道総合病院 薬剤科)

座長：伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター 薬剤部)

岸本 真(霧島市立医師会医療センター 薬剤部)

S5-1 薬を出す前に考えること～精神科的視点から考える急がないという専門性～

別所 千枝(JA 広島厚生連尾道総合病院 薬剤科)

S5-2 学生は精神科・緩和医療にどう出会うのか—実務実習における学びと教育的課題—

江角 悟(神戸学院大学 薬学部)

S5-3 患者さんに寄り添う医療を目指した当院精神科リエゾンチームの活動

坪内 清貴(金沢大学附属病院 薬剤部)

S5-4 AI時代において薬剤師が“心に寄り添う”とは何か

—在宅終末期における価値観に基づく関わりの実践—

鈴木 邦彦(つなぐ薬局柏)

S5-5 “がん患者”に寄り添う ～その中核にある“哀しきもの”を超えて～

宮本 直治(オフィス宮本、がん患者グループゆずりは)

シンポジウム 6	「腎不全患者のための緩和ケアガイドランス」を踏まえた緩和医療と栄養ケアの多職種連携— 医師・管理栄養士・薬剤師それぞれの立場から —
----------	--

5月30日(土) 10:00~12:00 第13会場 ダイワロイネットホテル和歌山ブリエ

オーガナイザー：竹迫 秀和(鹿児島市立病院 薬剤部)

座長：鈴木 慶介(台東区立台東病院・老人保健施設千束 薬剤室)

相良 克海(吉川中央総合病院 薬剤科)

S6-1 緩和薬物療法を支える薬剤師の役割 —ACPの視点を踏まえた多職種連携—

竹迫 秀和(鹿児島市立病院 薬剤部)

S6-2 栄養治療専門療法士からみた腎機能障害患者に対する緩和医療と栄養ケア

上葛 義浩(藤田医科大学岡崎医療センター 薬剤部 医薬品情報管理室、藤田医科大学岡崎医療センター 栄養サポートチーム、藤田医科大学岡崎医療センター 緩和ケアチーム)

S6-3 慢性腎臓病(CKD)症例の栄養管理で注意すべきポイント

吉田 貞夫(ちゅうざん病院リハビリテーション科、沖縄大学健康栄養学部 客員教授、金城大学 客員教授)

S6-4 在宅療養中の腎不全患者の緩和ケア症例から考える「管理栄養士が担う栄養療法」とは？

熊谷 琴美(愛知学院大学健康科学部健康栄養学科)

シンポジウム 7	【日本腎臓病薬物療法学会合同シンポジウム】CKM(Conservative Kidney Management) ってご存知ですか？CKD（透析）患者の終末期の問題点をみんなに知ってもらいたい！
----------	---

5月30日（土）13:45～15:45 第2会場 和歌山城ホール 小ホール

オーガナイザー：高野 陽平（砂川市立病院 薬剤部）
 座長：鈴木 大介（JA 愛知厚生連海南病院 薬剤部）
 高野 陽平（砂川市立病院 薬剤部）

-
- S7-1 Overview ～CKMについて薬剤師にも知ってもらいたい！～
 高野 陽平（砂川市立病院 薬剤部）
- S7-2 既存の腎代替療法についてあらためて知ってもらいたい！
 鈴木 大介（JA 愛知厚生連海南病院 薬剤部、岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室）
- S7-3 CKD 患者の終末期は「何が」問題となるのか知ってもらいたい！
 安田 知弘（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部）
- S7-4 「CKD 患者の終末期における薬物治療の問題点を知ってもらいたい！」
 前田 直大（小樽市立病院 薬剤部）
- S7-5 CKD 患者における終末期のサイコネフロロジーについても知ってもらいたい！
 -薬剤師が透析患者にできる専門性を発揮した “寄り添い” とは？-
 藤本 亜弓（大阪市立総合医療センター 薬剤部）

シンポジウム 8	複雑なニューロパチー病態の基幹プロセス解明と新規治療戦略の提言
----------	---------------------------------

5月30日（土）13:45～15:45 第3会場 和歌山城ホール 大会議室

- オーガナイザー：今井 哲司（和歌山県立医科大学 薬学部）
 木口 倫一（和歌山県立医科大学 薬学部）
 座長：今井 哲司（和歌山県立医科大学 薬学部）
 木口 倫一（和歌山県立医科大学 薬学部）
-
- S8-1 一次感覚神経を介したアンドロゲンによる新規疼痛制御機構
 木口 倫一（和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室）
- S8-2 多発ニューロパチーの本質的機序解明のための感覚神経の新規ラベリング・*in vivo* イメージング技術の開発
 小柳 円花（和歌山県立医科大学薬学部 医療開発薬学研究室）
- S8-3 末梢からの痛み入力が生み出す大脳一次体性感覚野の神経活動アンサンブル
 奥野 浩行（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 生化学・分子生物学）
- S8-4 ヒト iPS 由来感覚神経オルガノイドを基盤とする末梢神経障害の新規治療戦略
 芝田 晋介（新潟大学 大学院医歯学総合研究科組織学分野 医学部顕微解剖学、
 慶應義塾大学医学部 電子顕微鏡研究室）

シンポジウム 9	がん悪液質をめぐるミクロ・マクロ環境の理解：病態解明と新規治療戦略への展開
----------	---------------------------------------

5月30日(土) 13:45~15:15 第4会場 和歌山県立医科大学薬学部 大講義室

オーガナイザー：須田 雪明（星薬科大学 薬理学研究室）

座長：成田 年（星薬科大学 薬理学研究室）

光永 修一（国立がん研究センター東病院肝胆膵内科

/国立がん研究センター先端医療開発センターバイオマーカー探索 TR 分野）

S9-1 がん GDF-15 阻害療法の展望

光永 修一（国立がん研究センター先端医療開発センター バイオマーカー探索 TR 分野、国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科）

S9-2 中枢ストレス応答が再構築するがん悪液質のミクロ・マクロ環境と新規治療戦略

須田 雪明（星薬科大学 薬理学研究室、国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究ユニット）

S9-3 がん悪液質の診断および創薬に有用ながん悪液質患者由来「Patient-Derived Xenograft (PDX) モデル」の樹立ならびにその利活用

上園 保仁（東京慈恵会医科大学 疼痛制御研究講座、東京慈恵会医科大学 痛み脳科学センター）

シンポジウム 10	人生の最終章を支える Deprescribing ～薬剤師の専門性と”引き算の美学”と意思決定支援～
-----------	---

5月30日(土) 13:45~15:15 第5会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 301

オーガナイザー：相田 和希（佐野厚生総合病院 薬剤部）

座長：相田 和希（佐野厚生総合病院 薬剤部）

眞田 香帆里（ハーモニー薬局）

S10-1 なぜ薬は増え、やめられないのか？緩和ケアにおける Deprescribing の背景と課題

佐藤 良太（丸木記念福祉メディカルセンター 薬局）

S10-2 「やめる」と決めるとき ～急性期病院の緩和ケアにおける減薬の判断～

見目 英継（藤沢市民病院 薬局）

S10-3 在宅医療における挑戦：限られた情報で実践する、在宅療養支援薬剤師の減薬マネジメント術

山本 隆裕（さつきホームクリニック）

S10-4 主観と主観の間 ～「諦める」のではなく「生きる」選択とは～

儀賀 理暁（埼玉医科大学総合医療センター 緩和医療科・呼吸器外科）

シンポジウム 11

薬剤師も知っておきたいグリーフケア

5月30日(土) 13:45~15:15 第6会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 302

オーガナイザー：増田 多加子(東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター)

杉浦 宗敏(東京薬科大学 薬学部)

座長：増田 多加子(東京薬科大学 薬学部)

杉浦 宗敏(東京薬科大学 薬学部)

S11-1 父を看取って思ったこと

大谷 昌恵

S11-2 悲嘆と遷延性悲嘆症、そのケアについて—適切な遺族ケアを提供するために必要な視点とは—

大岡 友子(がん研有明病院 腫瘍精神科、武蔵野大学 認知行動療法研究所、武蔵野大学 心理臨床センター、武蔵野大学 通信教育部 人間科学部、柏駅前なかやまメンタルクリニック)

S11-3 遺族をケアするために大切なこと

清水 研(がん研有明病院腫瘍精神科)

シンポジウム 12

「緩和薬物療法の落とし穴から学ぶ —現場が教えてくれた次へのヒント—」

5月30日(土) 13:45~15:45 第13会場 ダイワロイネットホテル和歌山ブリエ

オーガナイザー：山田 正実(大阪府済生会野江病院 薬剤科)

壁谷 めぐみ(名古屋記念病院 薬剤部)

座長：山田 正実(大阪府済生会野江病院 薬剤科)

壁谷 めぐみ(名古屋記念病院 薬剤部)

S12-1 緩和薬物療法の落とし穴から学ぶ疼痛治療—メサドンを用いた薬物療法を中心に—

川名 真理子(医療法人鉄蕉会亀田総合病院 薬剤部)

S12-2 緩和薬物療法の落とし穴から学ぶ輸液ルート管理—低流量投与時の評価を中心に—

山本 泰大(小牧市民病院 薬局)

S12-3 緩和薬物療法の落とし穴から学ぶオピオイド副作用マネジメント

—導入時の悪心対策とケミカルコーピングへの対応を中心に—

宮崎 雅之(名古屋大学医学部附属病院 薬剤部)

S12-4 緩和薬物療法の落とし穴から学ぶ在宅緩和ケア—在宅診療所での思わぬつまずきを中心に—

天川 雅彦(緩和ケア診療所・いっぽ)

S12-5 緩和薬物療法の落とし穴から学ぶ退院時の連携

—緩和ケアへの注力とは？ デバイス変更に伴うインスリン過量投与のリスクを中心に—

橋村 孝博(めいぷる薬局)

シンポジウム 13	薬剤師が多職種と協働して開拓する地域における緩和薬物療法・在宅医療
-----------	-----------------------------------

5月30日(土) 16:00~18:00 第3会場 和歌山城ホール 大会議室

オーガナイザー：板井 進悟(金沢大学附属病院 薬剤部/医療安全管理部)

塩川 満(東京女子医科大学病院 薬剤部)

座長：板井 進悟(金沢大学附属病院 薬剤部)

塩川 満(東京女子医科大学病院 薬剤部)

S13-1 依頼が来る薬局はどう作るかー訪問看護との連携が生む在宅緩和ケア

丸一 泰雅(タイガー薬局)

S13-2 在宅緩和ケアにおける看護師と薬剤師の共創

ー「いつでもどこでも」を支える多職種連携の実践ー

浅瀬 季予子(訪問看護リハビリステーション OHANA)

S13-3 家族と過ごす最期の時間を支えるために

ー若手薬剤師の在宅緩和ケア実践から見た薬局薬剤師の役割ー

山瀬 寛大(パナプラス薬局 三ヶ根店、パナプラス薬局 能見店)

S13-4 患者の「生活の奥行き」を共に支える在宅医療

ー顔の見える関係と「薬局チーム」のマネジメントが創る持続可能な協働ー

石黒 剛(医療法人白青会 いしぐろ在宅診療所 岡崎)

シンポジウム 14	医療データを活用したがん緩和医療における臨床研究の新展開 ～いま、サステナブルな環境整備と次世代育成を考える～
-----------	--

5月30日(土) 16:00~18:00 第4会場 和歌山県立医科大学薬学部 大講義室

オーガナイザー：祝 千佳子(東京大学大学院医学系研究科 臨床疫学・経済学)

高橋 一栄(大阪府済生会野江病院薬剤科)

座長：祝 千佳子(東京大学大学院医学系研究科 臨床疫学・経済学)

高橋 一栄(大阪府済生会野江病院薬剤科)

S14-1 がん緩和医療における病院薬剤師のパラダイムシフト ～臨床と研究の融合が拓く新たな役割～

高橋 一栄(大阪府済生会野江病院 薬剤科)

S14-2 電子カルテ・診療録を活用したがん緩和医療・サポーターケア研究の実践と次世代の育成

川尻 雄大(九州大学病院 薬剤部)

S14-3 薬剤師が評価する ePRO の課題と若手育成を考える

藤堂 真紀(埼玉医科大学国際医療センター薬剤部)

S14-4 大規模診療データベースで日常診療の疑問を研究へつなげる

：研究デザインの考え方と実践、そして次世代育成

祝 千佳子(東京大学大学院医学系研究科 臨床疫学・経済学)

S14-5 これからの緩和医療を支える研究環境整備と次世代薬剤師研究者の育成

中川 貴之(和歌山県立医科大学 薬学部 病院薬学研究室、和歌山県立医科大学附属病院 薬剤部)

シンポジウム 15**緩和医療におけるスピリチュアルペインへの理解と薬剤師の関わり**

5月30日(土) 16:30~18:00 第5会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 301

オーガナイザー：嶽小原 恵 (淀川キリスト教病院 薬剤部)

岡本 禎晃 (敦賀市立看護大学)

座長：嶽小原 恵 (淀川キリスト教病院 薬剤部)

岡本 禎晃 (敦賀市立看護大学)

S15-1 薬剤師にとってのスピリチュアルペイン

岡本 禎晃 (敦賀市立看護大学)

S15-2 在宅緩和ケアにおけるスピリチュアルペインへの気づきと関わり

餅原 弘樹 (医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック)

S15-3 臨床で出会うスピリチュアルペイン—症例から考える関わり—

嶽小原 恵 (淀川キリスト教病院 薬剤部)

S15-4 多職種で育むスピリチュアルケア：看護の立場で考える

市原 香織 (淀川キリスト教病院 緩和ケアセンター)

シンポジウム 16**がん患者における感染症マネジメント
～治療期から終末期まで薬剤師が果たすべき役割～**

5月30日(土) 16:00~18:00 第7会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 303

オーガナイザー：吉成 徹 (獨協医科大学日光医療センター)

座長：吉成 徹 (獨協医科大学日光医療センター 薬剤部)

板垣 鈴香 (済生会宇都宮病院 薬剤部)

S16-1 発熱性好中球減少症(FN)の予防と治療：薬剤師によるリスク評価と早期介入

遠藤 美央 (KKR 札幌医療センター)

S16-2 緩和ケアにおける抗菌薬の皮下投与：薬剤選択、投与設計と安定性データ

大根田 亨 (栃木県済生会宇都宮病院 薬剤部)

S16-3 終末期がん患者における感染症：抗菌薬治療の判断とゴール設定

加納 亜由子 (上都賀総合病院 薬剤部)

S16-4 がん患者の感染症における検出菌：培養結果の解釈とその実践

田中 宏明 (杏林大学医学部付属病院 薬剤部 / 感染制御部)

シンポジウム 17**免疫チェックポイント阻害薬（ICI）の薬物間相互作用における最新エビデンス**

5月31日（日）9:00～10:30 第3会場 和歌山城ホール 大会議室

オーガナイザー：国分 秀也（湘南医療大学薬学部臨床薬理学研究室）

座長：国分 秀也（湘南医療大学薬学部臨床薬理学研究室）

矢野 琢也（住友別子病院薬剤部）

S17-1 ICI の臨床効果に影響を及ぼす最近の臨床データ

国分 秀也（湘南医療大学薬学部臨床薬理学研究室）

S17-2 免疫チェックポイント阻害薬（ICI）の薬物間相互作用における最新エビデンス

鈴木 賢一（東京薬科大学 臨床薬理学教室）

S17-3 ICI とオピオイドとの薬物間相互作用

炭本 隆宏（大分大学医学部附属病院 薬剤部）

S17-4 免疫チェックポイント阻害薬とオピオイド鎮痛薬の併用に伴う有害事象の探索的網羅解析

菅 裕亮（株式会社なの花北海道 なの花薬局若草店、株式会社メディカルシステムネットワーク 学術部）

シンポジウム 18**“生きる力”を支える薬学～地域連携によるナラティブ・アプローチ～**

5月31日（日）9:00～10:30 第6会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 302

オーガナイザー：土井 信幸（高崎健康福祉大学薬学部 地域医療薬学研究室）

池田 里江子（ふれあい薬局飯能店、(一社)埼玉県薬剤師会、公益社団法人日本薬剤師会）

座長：椎 崇（北里大学病院 薬剤部）

稲葉 一郎（薬局セントラルファーマシー長嶺）

S18-1 ACP (advanced care plan) の歴史とエビデンスを再確認

土井 信幸（高崎健康福祉大学薬学部 地域医療薬学研究室）

S18-2 病院の臨床現場におけるナラティブの試み ―患者理解とチームでの共有、そして教育へ―

小見 雄介（前橋赤十字病院 薬剤部）

S18-3 AYA 世代の女性 2 者の緩和医療について学んだこと

池田 里江子（ふれあい薬局飯能店）

シンポジウム 19**緩和医療薬学の新たな地平～非がん性疾患へ展開する薬剤師の専門性～**

5月31日(日) 9:00～10:30 第7会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 303

オーガナイザー：山崎 朋子（栃木県立がんセンター薬剤部）

座長：山崎 朋子（栃木県立がんセンター薬剤部）

吉成 徹（獨協医科大学日光医療センター薬剤部）

S19-1 薬剤師としての末期腎不全・肝硬変における症状緩和の役割

沢 仁美（川西市立総合医療センター 薬剤科）

S19-2 心不全の呼吸困難と倦怠感に対する薬学的マネジメント：エビデンスと実践

相田 和希（佐野厚生総合病院 薬剤部）

S19-3 COPD・間質性肺炎患者の呼吸困難：オピオイドと向精神薬の適正使用

藤村 昭太（自治医科大学地域医療学センター 地域医療学部門/自治医科大学附属病院薬剤部）

S19-4 神経難病（ALS・パーキンソン病）における多角的苦痛への薬学的アプローチ

新井 成牧（株式会社ツル薬局）

シンポジウム 20**緩和医療における睡眠障害とせん妄の新たな視座**

5月31日(日) 9:00～10:30 第8会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 304

オーガナイザー：南雲 康行（国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究ユニット）

座長：佐藤 哲観（静岡県立静岡がんセンター）

里見 絵理子（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科）

S20-1 視床・皮質による睡眠覚醒制御

本城 咲季子（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構）

S20-2 周術期睡眠管理と全身病態の科学的理解

南雲 康行（国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究ユニット）

S20-3 がん患者への緩和医療介入における睡眠・せん妄の課題

阿部 晃子（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科）

シンポジウム 21

羽ばたく子どもの未来と小児緩和ケア ～心をひとつにタスキをつなぐ地域連携～

5月31日(日) 10:45～12:15 第3会場 和歌山城ホール 大会議室

オーガナイザー：阿部 健太郎（国立がん研究センター東病院薬剤部）

座長：阿部 健太郎（国立がん研究センター東病院薬剤部）

鳥越 一宏（湘南医療大学 薬学部）

S21-1 小児がんの終末期医療と在宅緩和医療の実際、そして多職種連携

杉山 正仲（東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科、医療法人社団ときわ 赤羽在宅クリニック）

S21-2 小児がん専門病院における薬剤師の実践と多職種連携

歌野 智之（国立成育医療研究センター薬剤部）

S21-3 小児がん患者と家族を支える緩和ケアチームの役割

近藤 麗子（国立がん研究センター中央病院看護部）

S21-4 小児がん患者の在宅療養を支える薬局薬剤師の役割

～生活の場でタスキを受け取り、その子らしい時間を守るために～

原田 寿（日本調剤株式会社 在宅医療部 首都圏在宅管理チーム）

シンポジウム 22

腎不全患者の苦痛緩和に挑む -CKM時代の薬剤師の役割-

5月31日(日) 10:45～12:15 第4会場 和歌山県立医科大学薬学部 大講義室

オーガナイザー：城山 亮輔（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

金子 健（慶應義塾大学病院 薬剤部/緩和ケアセンター）

座長：城山 亮輔（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

金子 健（慶應義塾大学病院 薬剤部/緩和ケアセンター）

S22-1 CKM時代における薬剤師の役割～腎臓病薬物療法認定薬剤師の立場から～

荻上 尚樹（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

S22-2 CKM患者の在宅移行を支える薬剤師の役割

：ケアマネジャーの視点を交えた薬物療法マネジメントと地域連携

辻井 聡容（公立豊岡病院薬剤部）

S22-3 在宅療養における腎不全患者への関わり ～さらに薬剤師ができることは？～

村井 扶（株式会社ゆそえる あけぼの薬局）

シンポジウム 23**オピオイド不適正使用を防ぐ：ケミカルコーピングへの対応とハームリダクション**

5月31日（日）10:45～12:15 第5会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 301

オーガナイザー：熊井 正貴（北海道大学病院 薬剤部）

土井 真喜（株式会社 メディカルシステムネットワーク）

座長：熊井 正貴（北海道大学病院 薬剤部）

土井 真喜（株式会社 メディカルシステムネットワーク）

S23-1 そのレスキュー、本当に痛みのためですか？—調剤薬局から考えるケミカルコーピング

佐藤 由美（まちほけ薬局 名古屋医療センター前店）

S23-2 オピオイド適正使用を支える薬剤師の役割

～ハームリダクションの視点からケミカルコーピング症例にどう向き合うか～

伊藤 剛貴（草加市立病院 薬剤部）

S23-3 オピオイド不適正使用を抑えるために何が必要か ～ステートメントを読み解く～

敦賀 健吉（北海道大学病院 腫瘍センター）

シンポジウム 24**医療界の「二刀流」薬剤師 ～緩和医療を軸とした多職種連携の新たな可能性～**

5月31日（日）10:45～12:15 第7会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 303

オーガナイザー：藤村 昭太（自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門/自治医科大学附属病院薬剤部）

金田 崇文（株式会社ケイ・クリエイト）

座長：藤村 昭太（自治医科大学附属病院薬剤部）

金田 崇文（株式会社ケイ・クリエイト）

S24-1 ICU×緩和は相反するのか？：「治す」と「和らげる」の同時進行

島崎 洋平（埼玉医科大学病院 薬剤部）

S24-2 緩和医療×災害医療～苦痛緩和を途切れさせないために～

廣田 未彩（前橋赤十字病院 薬剤部）

S24-3 緩和医療における感染制御 — 患者の尊厳と社会的責任のはざままで —

中出 順也（金沢大学附属病院 薬剤部、金沢大学附属病院 感染制御部）

S24-4 「攻め」の緩和医療とがん薬物療法のトータルマネジメント

奥田 泰考（自治医科大学附属病院 薬剤部）

シンポジウム 25	がん支持療法と緩和医療のサイエンス
-----------	-------------------

5月31日(日) 10:45~12:15 第8会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 304

オーガナイザー：吉澤 一巳（東京理科大学薬学部 疾患薬理学研究室）

宗 可奈子（京都大学大学院薬学研究科 統合薬学教育開発センター）

座長：吉澤 一巳（東京理科大学薬学部 疾患薬理学研究室）

宗 可奈子（京都大学大学院薬学研究科 統合薬学教育開発センター）

S25-1 **がん化学療法における味覚障害の予防・治療法開発に向けたリバーストランスレーショナルリサーチ**

宗 可奈子（京都大学大学院薬学研究科 統合薬学教育開発センター）

S25-2 **がん関連疲労に対する栄養薬理学的アプローチ**

吉澤 一巳（東京理科大学薬学部 疾患薬理学研究室）

S25-3 **がん悪液質における骨髄単球系細胞の炎症応答とサルコペニア発症機構**

原田 浩徳（東京薬科大学生命科学部腫瘍医科学研究室、がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科）

シンポジウム 26	「がん患者におけるせん妄ガイドライン 2025 年版」から学ぶせん妄対策
-----------	--------------------------------------

5月31日(日) 14:00~16:00 第2会場 和歌山城ホール 小ホール

オーガナイザー：山本 泰大（小牧市民病院 薬局）

岡本 明大（三重大学医学部附属病院 薬剤部）

座長：岡本 禎晃（敦賀市立看護大学）

荒井 幸子（横浜市立大学附属病院 薬剤部）

S26-1 **せん妄の病態と非薬物療法の基本**

松田 能宣（国立病院機構近畿中央呼吸器センター）

S26-2 **がん患者のせん妄治療における抗精神病薬の特徴と使い分けの実際**

安田 俊太郎（東京科学大学病院 薬剤部）

S26-3 **がん患者におけるせん妄ガイドラインガイドライン 2025 年版**

～オピオイドスイッチングを含むせん妄の治療戦略～

山中 幸典（イワオ薬局）

S26-4 **ベンゾジアゼピン系薬のリスクとせん妄の予防方法**

仁木 一順（大阪大学大学院薬学研究科、市立芦屋病院薬剤科）

シンポジウム 27	白金製剤の現在地と未来図：有効利用と副作用低減をめざして — 臨床・基礎・薬物動態の視点から —
-----------	---

5月31日(日) 14:00~16:00 第3会場 和歌山城ホール 大会議室

オーガナイザー：徳山 尚吾（神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室）
加藤 剛（所沢慈光病院 薬剤部）
座長：徳山 尚吾（神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室）
加藤 剛（所沢慈光病院 薬剤部）

-
- S27-1 白金製剤の臨床使用の現状と今後の治療戦略
安藤 雄一（名古屋大学医学部附属病院 化学療法部）
- S27-2 白金製剤の副作用マネジメントとチーム医療における薬剤師の役割
-見えない副作用“しびれ”の可視化と治療強度最適化への介入-
武井 大輔（埼玉県立がんセンター 薬剤部）
- S27-3 白金製剤による毒性発現の分子機序と新たな制御標的
～末梢神経障害の発症機序を中心に深掘りする～
今井 哲司（和歌山県立医科大学 薬学部 医療開発薬学研究室）
- S27-4 白金製剤の薬物動態と副作用予測：個別化投与への挑戦
福島 恵造（神戸学院大学 薬学部）

シンポジウム 28	がん悪液質に対する多職種介入の意義と今後の治療方策
-----------	---------------------------

5月31日(日) 14:00~16:00 第4会場 和歌山県立医科大学薬学部 大講義室

オーガナイザー：大澤 匡弘（帝京大学 薬学部 臨床薬学講座 薬効解析学研究室）
二村 明彦（鈴鹿医療科学大学 薬学部 臨床薬学センター）
座長：大澤 匡弘（帝京大学 薬学部 臨床薬学講座 薬効解析学研究室）
二村 明彦（鈴鹿医療科学大学 薬学部 臨床薬学センター）

-
- S28-1 がん悪液質の病態理解と新規治療開発の最前線
内藤 立暁（静岡県立静岡がんセンター 支持医療科/呼吸器内科）
- S28-2 「食」を支える薬剤師の視点
二村 昭彦（鈴鹿医療科学大学薬学部）
- S28-3 高齢がん患者のがん悪液質に対する治療開始前からの支援
—看護師の視点から考える薬剤師との連携の重要性—
麻生 咲子（静岡県立静岡がんセンター 認定看護師教育課程）
- S28-4 多職種チームにおける臨床薬剤師の役割：悪液質の早期発見と薬物療法最適化
藤井 宏典（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）
- S28-5 がん悪液質の病態生理に基づいた最新知見：多職種介入における薬剤師の役割と実践的活用
大澤 匡弘（帝京大学 薬学部 臨床薬学講座 薬効解析学研究室）

シンポジウム 29 生を過ごす 死を過ごす 在宅医療での薬物療法をつなぐ

5月31日(日) 14:00~16:00 第5会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 301

オーガナイザー：大東 敏和 (広島大学病院 薬剤部)

岡本 明大 (三重大学医学部附属病院 薬剤部)

座長：宇野 達也 (CoMediCs 営業部 支援課 スギ薬局グループ)

石原 正志 (岐阜大学医学部附属病院 薬剤部)

S29-1 人生の最期を自宅で迎えるということ

大東 敏和 (広島大学病院 薬剤部)

S29-2 看取りに関わる薬剤師にできること ~病院から看取りへつなぐ~

須藤 宏文 (株式会社トゥモファ こうなん薬局)

S29-3 「生きる」に向き合う~訪問薬剤師の日々~

中村 三智子 (日本調剤株式会社 在宅医療部)

S29-4 緩和ケアのスキルをつなぐ

~地域緩和ケアネットワーク研修を通じて、地域での人材育成と向き合う~

高野 陽平 (砂川市立病院 薬剤部)

シンポジウム 30 在宅緩和ケアにおける質評価指標 (QI :Quality Indicators) の提案

5月31日(日) 14:00~16:00 第6会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 302

オーガナイザー：串田 一樹 (昭和薬科大学)

伊東 俊雅 (東京女子医科大学附属足立医療センター)

座長：串田 一樹 (昭和薬科大学)

伊東 俊雅 (東京女子医科大学附属足立医療センター)

S30-1 緩和医療医として在宅緩和ケアにおいて薬剤師に期待すること

月山 淑 (国立病院機構南和歌山医療センター)

S30-2 調剤報酬からみた訪問薬剤管理の質評価指標とは

天方 奉子 (薬局セントラルファーマシー長嶺)

S30-3 在宅医療における保険薬局の緩和ケア提供体制について

金子 雅好 (中央薬局)

S30-4 地域で育てる多職種連携 —西東京市における在宅療養支援の実践—

藤田 珠理 (株式会社田無薬品 薬局ホームケアファーマシー田無店)

シンポジウム 31

未来の緩和医療薬学を担う人材を育てる～指導者が見つめ直す教育の原点と実践～

5月31日(日) 14:00～15:30 第7会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 303

オーガナイザー：大野 凜太郎（栃木県済生会宇都宮病院 薬剤部）

眞田 香帆里（ハーモニー薬局）

座長：大野 凜太郎（栃木県済生会宇都宮病院 薬剤部）

眞田 香帆里（ハーモニー薬局）

S31-1 これからの緩和医療薬学教育：若者が学ぶべきスキルと指導者が行うべきサポートとは

佐藤 淳也（湘南医療大学 薬学部）

S31-2 若手薬剤師は指導者に何を求めるか：成長を促すフィードバックと環境づくり

沢 仁美（川西市立総合医療センター 薬剤科）

S31-3 「問い」を育む指導法：中堅薬剤師が実践するクリニカル・コーチング

大内 竜介（東北医科薬科大学薬学部病院薬剤学教室、東北医科薬科大学病院薬剤部）

S31-4 指導者のバーンアウトを防ぐために：「教える」ことの葛藤とセルフマネジメント

佐藤 良太（丸木記念福祉メディカルセンター 薬局）

シンポジウム 32

「地域医療を支える薬剤師の力と知 ～在宅緩和ケアの最前線を知る～」

5月31日(日) 14:00～16:00 第8会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 304

オーガナイザー：笠原 庸子（医療法人秋本クリニック 地域医療連携室）

座長：天川 雅彦（緩和ケア診療所 いっぽ）

笠原 庸子（医療法人秋本クリニック）

S32-1 在宅緩和ケアにおける、がん疼痛管理の実際

餅原 弘樹（医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック）

S32-2 在宅緩和ケアにおける心不全の実際

佐久間 詠理（医療法人社団淳友会 わたクリニック）

S32-3 在宅緩和ケアにおける輸血療法の実際について

石川 広章（仙台往診クリニック）

S32-4 在宅緩和ケアにおける鎮静の実際

笠原 庸子（医療法人秋本クリニック）

ワークショップ1

緩和支援療法における処方提案への生成AIの活用～AIとの最適な協働関係を探る～

5月30日(土) 10:00～12:00 第8会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 304

オーガナイザー：佐藤 淳也(湘南医療大学 薬学部)

座長：山崎 朋子(栃木県立がんセンター 薬剤部)

ファシリテーター：相田 和希(佐野厚生総合病院 薬剤部)

板垣 鈴香(済生会宇都宮病院 薬剤部)

加納 亜由子(上都賀総合病院 薬剤部)

眞田 香帆里(ハーモニー薬局)

藤田 康介(菅間記念病院 薬剤科)

藤村 昭太(自治医科大学)

山崎 朋子(栃木県立がんセンター 薬剤部)

吉成 徹(獨協医科大学日光医療センター 薬剤部)

大野 凜太郎(済生会宇都宮病院)

ワークショップ2

初学者のための～経験者と一緒に学ぼう！注射の麻薬処方せん

5月30日(土) 10:00～12:00 第10会場 和歌山県立医科大学薬学部 ラーニングcommons

オーガナイザー：大野 朋子(株式会社akホールディングス 上永谷薬局)

餅原 弘樹(医療法人社団 いぶきの森 のぞみの花クリニック)

座長：大野 朋子(株式会社akホールディングス 上永谷薬局)

餅原 弘樹(医療法人社団 いぶきの森 のぞみの花クリニック)

ファシリテーター：吾妻 美香(株式会社水戸薬局 在宅医療支援センター)

阿部 健太郎(国立がん研究センター東病院 薬剤部)

井手 良太(株式会社エム・エス経営企画サンヨー薬局グループ)

江口 真理子(株式会社 大賀薬局 野芥調剤店)

小澁 朝子(株式会社akホールディングス 上永谷薬局)

小西 順子(三豊総合病院 薬剤部)

細川 泰博(やすひろクラフト株式会社 教育研修部)

松井 美月(株式会社akホールディングス ak薬局西横浜在宅調剤センター店)

村井 扶(株式会社ゆそえる あけぼの薬局)

ワークショップ3

症例検討でつながる薬薬連携

—かんわ Café から広がる地域緩和ケアネットワーク—

5月30日(土) 13:45~15:45 第10会場 和歌山県立医科大学薬学部 ラーニングcommons

オーガナイザー：金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部/緩和ケアセンター)

伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部)

岸田 悦子(日本医科大学付属病院 薬剤部)

山田 正実(社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院 薬剤科)

飯田 真之(神戸大学医学部附属病院 薬剤部)

座長：金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部/緩和ケアセンター)

飯田 真之(神戸大学医学部附属病院 薬剤部)

ファシリテーター：石原 正志(岐阜大学医学部附属病院・薬剤部)

辻井 聡容(公立豊岡病院組合立豊岡病院 薬剤部)

鳥井 小莉(大阪府済生会野江病院 薬剤科)

鈴木 宣雄(大垣市民病院 薬剤部)

隅田 美紀(まるみはなの木薬局)

村井 扶(株式会社ゆそえる あけぼの薬局)

原 伸輔(しんすけ大阪大学医学部附属病院 薬剤部)

高子 優子(市立宝塚病院 薬剤部)

中村 豪志(兵庫医科大学病院 薬剤部)

佐久間 詠理(社団 淳友会 わたホームクリニック)

ワークショップ4

患者さん対応中の『モヤモヤ』を考える

5月30日(土) 16:00~18:00 第10会場 和歌山県立医科大学薬学部 ラーニングcommons

オーガナイザー：増田 多加子(東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター)

伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部/がん包括診療部緩和ケア室)

座長：増田 多加子(東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター)

伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部/がん包括診療部緩和ケア室)

ファシリテーター：的場 康德(鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 外科学講座 消化器外科学)

儀賀 理暁(埼玉医科大学総合医療センター 緩和医療科・呼吸器外科)

大岡 友子(武蔵野大学心理臨床センター/認知行動療法研究所/通信教育部人間科学部)

山木 照子(滋賀医科大学 医学部 社会医学講座/名古屋大学)

伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部/がん包括診療部緩和ケア室)

増田 多加子(東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター)

ワークショップ 5

口腔粘膜炎に漢方 ～ハンズオンセッション～

5月31日(日) 9:00～10:30 第10会場 和歌山県立医科大学薬学部 ラーニングcommons

オーガナイザー：渡邊 真一(松山大学 薬学部 医療薬学研究室)

宮野 加奈子(順天堂大学 薬学部 薬物治療学分野)

座長：：上園 保仁(東京慈恵会医科大学 痛み脳科学センター支持療法疼痛制御研究室)

宮野 加奈子(順天堂大学 薬学部 薬物治療学分野)

ファシリテーター：元雄 良治(福井県済生会病院 内科)

上野 尚雄(国立がん研究センター中央病院 歯科)

住吉 一浩(医療法人 乳腺ケア 泉州クリニック)

近藤 奈美(埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科)

ワークショップ 6

がん患者に関わる薬剤師のための精神心理的ケア

～医療用麻薬に抵抗感のある患者の精神心理を配慮したかわり～

5月31日(日) 10:45～12:15 第10会場 和歌山県立医科大学薬学部 ラーニングcommons

オーガナイザー：岡本 禎晃(敦賀市立看護大学)

工藤 浩史(国立国際医療研究センター病院)

田中 康裕(輝山会記念病院)

笠原 庸子(秋本クリニック)

岡本 明大(三重大学医学部附属病院)

座長：山崎 朋子(栃木県立がんセンター 薬剤部)

田中 康裕(輝山会記念病院)

ファシリテーター：高田 知世(国立病院機構栃木医療センター)

濱野 愛里(国立病院機構災害医療センター)

藤本 泰輔(アインファーマシーズ、アイン薬局鶴見店)

渡辺 裕貴(日本調剤 市大福浦薬局)

武智 宣佳(四国がんセンター)

森本 雅子(JCHO 東京山手メディカルセンター)

土屋 亜祐美(国立国際医療研究センター病院)

原田 優(横浜南共済病院)

工藤 浩史(国立国際医療研究センター病院)

5月31日(日) 14:00~16:00 第10会場 和歌山県立医科大学薬学部 ラーニングcommons

オーガナイザー：竹迫 秀和（鹿児島市立病院 薬剤部）

宮部 貴識（国立病院機構 大阪刀根山医療センター）

鈴木 慶介（台東区立台東病院・老人保健施設千束 薬剤室）

茂木 孝裕（草加市立病院 薬剤部）

相良 克海（吉川中央総合病院 薬剤科）

座長：川床 優子（相良病院 薬剤部）

伊藤 聡一郎（公立陶生病院 薬剤部）

ファシリテーター：吉田 貞夫（ちゅうざん病院 副院長 / 金城大学 客員教授）

熊谷 琴美（愛知学院大学 健康科学部 健康栄養学科）

片山 広美（碧南市民病院 薬剤部）

加藤 種子（あいまさ薬局）

辰巳 真穂（加古川中央市民病院）

豊田 義貞（若葉薬局グループ）

永瀬 怜司（済生会横浜市東部病院 薬剤部）

三浦 千智（あじさい薬局 北本町店）

宮田 祥一（東邦大学医療センター大森病院 薬剤部）

TIPS

TIPS1 薬剤師の視点で考える小児緩和ケア

5月31日(日) 9:00~9:30 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：中永 かおり（公立豊岡病院組合立豊岡病院薬剤部）

演者：笠原 庸子（医療法人秋本クリニック）

TIPS2 緩和医療における医療用麻薬の配合変化と注射薬配合マネジメント

5月31日(日) 9:30~10:00 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：仁木 一順（大阪大学大学院薬学研究科）

演者：近藤 匡慶（日本医科大学多摩永山病院 薬剤部）

TIPS3 認知症患者に対する緩和ケア

5月31日(日) 10:00~10:30 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：仁木 一順（大阪大学大学院薬学研究科）

演者：餅原 弘樹（医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック）

TIPS4 痒みの神経メカニズムと解析方法

5月31日(日) 10:45~11:15 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：葛巻 直子（星薬科大学薬学部）

演者：木口 倫一（和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室）

TIPS5 オピオイドが腫瘍微小環境に及ぼす影響

5月31日(日) 11:15~11:45 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：木口 倫一（和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室）

演者：葛巻 直子（星薬科大学薬学部）

TIPS6 抗うつ薬による疼痛抑制効果の基礎と臨床

5月31日(日) 11:45~12:15 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：木口 倫一（和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室）

演者：須藤 貴史（群馬大学大学院医学系研究科 麻酔神経科学、群馬大学医学部附属病院 麻酔・集中治療科）

TIPS7 その痛み、オピオイドで本当にいい？ — 鎮痛補助薬の使い方—

5月31日(日) 14:00~14:30 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：原 伸輔（大阪大学医学部附属病院薬剤部）

演者：嶽小原 恵（淀川キリスト教病院 薬剤部）

TIPS8 在宅医療

5月31日(日) 14:30~15:00 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：原 伸輔（大阪大学医学部附属病院薬剤部）

演者：村井 扶（株式会社ゆそえる あげぼの薬局）

TIPS9 心不全の緩和ケア

5月31日（日）15:00～15:30 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：辻井 聡容（公立豊岡病院組合立豊岡病院薬剤部）

演者：橋本 百世（市立芦屋病院）

TIPS10 緩和的鎮静の適正実施に向けて—薬剤師が押さえるべき適応・用量、意思決定—

5月31日（日）15:30～16:00 第11会場 和歌山県立医科大学薬学部 小講義室

座長：辻井 聡容（公立豊岡病院組合立豊岡病院薬剤部）

演者：山本 泰大（小牧市民病院 薬局）

メディカルセミナー

メディカルセミナー1 オピオイド鎮痛薬のうまい使い方 ―高齢者の臓器機能低下も考慮して―

5月30日(土) 12:30~13:30 第1会場 和歌山城ホール 大ホール

座長：内田 まやこ (九州大学病院 薬剤部 教授・薬剤部長)

演者：山口 崇 (甲南医療センター 緩和ケア内科)

共催：第一三共株式会社

メディカルセミナー2 在宅医療における薬剤師の役割とオピオイド適正使用に向けた取り組み

5月30日(土) 12:30~13:30 第2会場 和歌山城ホール 小ホール

座長：金子 健 (慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター 専任薬剤師)

演者：笠原 庸子 (医療法人 秋本クリニック 地域医療連携室)

共催：塩野義製薬株式会社

メディカルセミナー3 難治性がん疼痛に対する治療戦略

～メサペインを中心としたオピオイド治療と神経ブロックの役割～

5月30日(土) 12:30~13:30 第4会場 和歌山県立医科大学薬学部 大講義室

座長：岡本 明大 (三重大学医学部附属病院薬剤部)

演者：上野 博司 (パナソニック健康保険組合 松下記念病院 緩和ケア内科)

共催：テルモ株式会社

メディカルセミナー4 薬剤師が知っておきたいがん支持療法における漢方製剤の基礎と実践

―『がんサポーターケアのための漢方活用ガイド』に基づく処方選択支援と安全管理―

5月30日(土) 12:30~13:30 第5会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 301

座長：江頭 伸昭 (和歌山県立医科大学薬学部)

演者：元雄 良治 (福井県済生会病院 内科・集学的がん診療センター)

共催：株式会社ツムラ

メディカルセミナー5 「痛みの日記」から痛みの体験を知り治療に活かす

5月30日(土) 12:30~13:30 第6会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 302

座長：奥田 真弘 (大阪大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

演者：的場 元弘 (東京西徳洲会病院)

共催：祐徳薬品工業株式会社

メディカルセミナー6 “医師×薬剤師”の視点で考える”実践的”緩和ケア鎮痛管理戦略

5月31日(日) 12:30~13:30 第2会場 和歌山城ホール 小ホール

座長：奥田 真弘(大阪大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

多職種で取り組む、安全で理想的なオピオイド鎮痛薬の管理

演者：谷口 彩乃(京都府立医科大学附属病院 疼痛・緩和ケア科)

病薬連携によるオピオイドテレフォンプォロアアップ(TFU)が担う 疼痛管理向上と不適切使用防止への貢献

演者：田淵 祐輔(京都府立医科大学附属病院)

共催：丸石製薬株式会社

メディカルセミナー7 「とりあえず NSAIDs」からの脱却：心不全パンデミック時代の安全な疼痛マネジメント

5月31日(日) 12:30~13:30 第4会場 和歌山県立医科大学薬学部 大講義室

座長：栗山 俊之(和歌山県立医科大学附属病院 麻酔科 講師長 和歌山県立医科大学附属病院
緩和ケアセンター センター長)

演者：池田 安宏(山口県立総合医療センター)

共催：あゆみ製薬株式会社

メディカルセミナー8 緩和医療を支える薬剤師の専門性

5月31日(日) 12:30~13:30 第5会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 301

座長：所 昭宏(独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 緩和ケア内科 科長)

演者：内田 まやこ(九州大学病院 薬剤部)

共催：久光製薬株式会社

メディカルセミナー9 進行がんの薬物療法と骨転移治療：外来での説明と症状フォロアアップのポイント

5月31日(日) 12:30~13:30 第6会場 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 302

座長：岩本 卓也(三重大学医学部附属病院薬剤部 教授・薬剤部長)

演者：池末 裕明(名古屋大学医学部附属病院 薬剤部)

共催：日医工株式会社

一般演題(口頭発表)

口頭発表1 疼痛マネジメント・がん支持療法

5月30日(土) 10:00-11:36 第9会場 和歌山県立医科大学 薬学部 実習室 301

座長：江頭 伸昭(和歌山県立医科大学薬学部 医療薬剤学)
高橋 智恵子(大阪医科薬科大学病院 薬剤部)

3001-01 疼痛管理に難渋した悪性腸腰筋症候群の一例

○藤森 央基¹⁾, 宮崎 佑介¹⁾, 大木 健史¹⁾

1)君津中央病院 医療技術局 薬剤科

3001-02 多職種連携により難治性疼痛の緩和を行い在宅復帰に至った終末期がん患者の一例

○相良 克海¹⁾, 山岡 沙織¹⁾, 中野 宏美¹⁾, 海老根 卓也²⁾, 和田 将栄³⁾

1)吉川中央総合病院 薬剤科, 2)吉川中央総合病院 看護部, 3)吉川中央総合病院 緩和ケア科

3001-03 オピオイド誘発性便秘により鎮痛治療の継続が困難であった血液透析患者に麻子仁丸が奏効

○荘山 咲智子¹⁾, 大谷 拓也¹⁾, 畠山 愛珠¹⁾, 浦川 聖菜¹⁾, 室岡 邦彦¹⁾, 高瀬 久光¹⁾

1)順天堂大学医学部附属浦安病院

3001-04 ケミカルコーピングによりオピオイドタイトレーションに難渋しながらも施設退院した一例

○足立 萌¹⁾, 安達 光生²⁾, 長谷川 花³⁾, 牧野 あゆみ⁴⁾, 小林 栄美⁵⁾, 祖父江 彰¹⁾, 山本 桂子¹⁾, 阿部 純也¹⁾, 峯野 哲也¹⁾

1)静岡赤十字病院 薬剤部, 2)静岡赤十字病院 がん支持療法緩和ケア科, 3)静岡赤十字病院 精神神経科, 4)静岡赤十字病院 看護部, 5)静岡赤十字病院 栄養課

3001-05 症状緩和の早期改善を目的とした薬剤師主体による緩和ケアチーム介入体制の構築とその有用性

○田中 こずえ¹⁾, 橋本 拓巳¹⁾, 菊野 亜海¹⁾, 山村 智代¹⁾

1)野崎徳洲会病院 薬剤部

3001-06 重篤な上肢と舌の持続性過伸展 (Outstretched) が術後突発したフェンタニル離脱症候群の1例：分子構造学による先行モルヒネ退薬症候との比較理解

○吉本 鉄介¹⁾, 松田 燦徳¹⁾, 久田 純生²⁾, 浅野 貴裕¹⁾

1)JCHO 中京病院, 2)愛知国際病院

3001-07 抗 EGFR 抗体薬投与中の低マグネシウム血症に対する市販サプリメント併用の有効性：2症例報告

○沢 仁美¹⁾, 小牧 佐知子¹⁾, 平安 奈美子²⁾, 岸下 陽子²⁾, 美濃地 貴之³⁾, 中村 暢彦⁴⁾

1)川西市立総合医療センター 薬剤科, 2)川西市立総合医療センター 看護部, 3)川西市立総合医療センター 外科, 4)愛知学院大学薬学部 実践薬学講座

3001-08 薬剤師による爪障害アピアランスケア 薬剤指導を通じた継続的なフォローの重要性

○後藤 敏也¹⁾, 鈴木 直哉¹⁾, 廣瀬 和昭¹⁾, 高屋敷 奈々¹⁾, 太田 敦代¹⁾

1)磐田市立総合病院 薬剤部

口頭発表2 オピオイド鎮痛薬とその副作用（優秀賞エントリー）

5月30日(土) 13:45-14:57 第8会場 和歌山県立医科大学 薬学部 中講義室 304

座長：佐野 元彦(星薬科大学 実務教育研究部門)

森 理保(徳島市民病院 薬剤部)

3002-09 4剤併用療法の早期奏効に伴う相対的オピオイド過量に対しオピオイドタイトレーションを要した多発性骨髄腫

○加藤 真由美¹⁾, 岡山 裕介^{2,3)}, 小路 雪乃¹⁾, 今堀 友紀⁴⁾, 藤岡 章子⁴⁾, 山本 直美⁴⁾, 棚田 悠介²⁾, 日野 雅之^{2,3)}, 高桑 輝人^{2,3)}

1)社会医療法人若弘会 若草第一病院 薬剤部, 2)社会医療法人若弘会 若草第一病院 血液内科, 3)大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学, 4)社会医療法人若弘会 若草第一病院 看護部

3002-10 腎機能はヒドロモルフォンの投与量にどこまで影響するのか？—がん疼痛患者の実臨床データを用いた後方視的研究—

○鈴木 寛¹⁾, 中村 和代²⁾, 嘉屋 道裕²⁾, 山内 克哉¹⁾, 櫻井 和子²⁾

1)株式会社やまうち薬局, 2)静岡県立総合病院薬剤部

3002-11 悪性腫瘍に起因する腕神経叢障害に伴う難治性疼痛に対するメサドンの投与経験～23例の後方視的検討～

○佐藤 哲観^{1,3)}, 佐藤 哲²⁾, 賀茂 佳子^{2,3)}, 若林 茜^{2,3)}, 田口 諒^{2,3)}, 宮口 貴守^{2,3)}, 田中 怜⁴⁾

1)静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科, 2)静岡県立静岡がんセンター 薬剤部, 3)静岡県立静岡がんセンター 緩和ケアチーム, 4)湘南医療大学 薬学部

3002-12 腹部膨満感を伴うがん性疼痛に対する予防的レスキューの有効性と安全性の後方視的検討

○小林 真也^{1,2)}, 田中 怜³⁾, 田口 諒⁴⁾, 小瀬 英司⁵⁾, 内田 まやこ⁶⁾, 高瀬 久光⁷⁾, 田中 智也⁸⁾, 清遠 岳大⁸⁾, 阿部 真治⁸⁾

1)レリープ株式会社 トマト調剤薬局, 2)医療法人若葉会近藤内科病院 薬剤科, 3)湘南医療大学薬学部, 4)静岡県立静岡がんセンター 薬剤部, 5)順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部, 6)九州大学病院 薬剤部, 7)順天堂大学医学部附属浦安病院 薬剤科, 8)徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床薬学実務教育学分野

3002-13 オキシコドン使用開始後のせん妄発症に対する便秘の影響：診療録および医療ビッグデータを用いた後ろ向き解析

○宮本 朋佳¹⁾, 中村 豪志²⁾, 清水 忠³⁾, 細見 光一⁴⁾, 木村 健²⁾, 桂木 聡子¹⁾

1)兵庫医大 薬 臨床薬学, 2)兵庫医科大学病院 薬剤部, 3)兵庫医大 薬 臨床医薬品化学, 4)近畿大 薬 医薬品情報学分野

3002-14 入院患者の転倒事例から考えるオピオイドを含めた FRIDs 多剤併用と薬剤師介入の可能性

○木下 史一¹⁾, 星野 剛史¹⁾, 柳下 昂太¹⁾, 杉本 智恵子¹⁾

1)順天堂大学医学部附属静岡病院

口頭発表3 緩和医療の基礎研究（優秀賞エントリー）

5月30日(土) 13:45-14:57 第9会場 和歌山県立医科大学 薬学部 実習室 301

座長：溝口 広一(東北医科薬科大学 機能形態学)

中本 賀寿夫(神戸学院大学薬学部 臨床薬学部門 臨床薬学研究室)

3003-15 様々な痒みの伝達に関わる脊髄後角神経の機能解析

○山田 夏葵¹⁾, 宮嶋 萌¹⁾, 木口 倫一¹⁾

1)和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室

3003-16 膵がん悪液質進行期における視床下部摂食回路の反応性とアナモレリン治療効果の検討

○池田 莉琉¹⁾, 須田 雪明^{1,2)}, 浅野 克典¹⁾, 高田 優太郎^{1,2)}, 垣内 万菜香^{1,2)}, 本山 和¹⁾, 松山 富貴子^{1,3)}, 成田 道子²⁾, 濱田 祐輔^{1,2)}, 杉浦 悠毅⁴⁾, 葛巻 直子^{1,2)}, 成田 年^{1,2)}

1)星薬科大学 薬理学研究室, 2)国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究ユニット, 3)日本小動物医療センター, 4)京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター マルチオミクスプラットフォーム

3003-17 がん悪液質に先行する概日リズム破綻と身体活動リズムへの関与

○大野 鈴音¹⁾, 長瀬 あかり¹⁾, 佐々木 香音¹⁾, 御厨 麻衣¹⁾, 楊 一諾¹⁾, 吉澤 一巳¹⁾, 笠井 智香¹⁾

1)東京理科大学 薬学部 薬学科 疾患薬理学研究室

3003-18 高感度スーパーオキシド検出法による微量血液中での好中球数モニタリング技術の開発

○棕本 真生¹⁾, 大西 穂香¹⁾, 松本 みさき¹⁾, 抱 将史¹⁾, 土井 光則¹⁾, 宮本 篤²⁾, 速水 晋也²⁾, 川井 学²⁾, 前北 隆雄³⁾, 北野 雅之³⁾, 細井 祐樹⁴⁾, 園木 孝志⁴⁾, 中川 貴之⁴⁾

1)和歌山県立医科大学 薬学部 薬学科, 2)和歌山県立医科大学 医学部 外科学第二講座, 3)和歌山県立医科大学 医学部 内科学第二講座, 4)和歌山県立医科大学 医学部 血液内科学講座

3003-19 緩和医療における次世代型薬物療法の提案 : 知覚神経由来因子制御を指標とした鎮痛薬選択の有用性

○飯塚 慎^{1,2)}, 眞壁 一志^{1,2,3)}, 瀧瀬 示穂^{1,2)}, 吉澤 拓海^{1,2,4)}, 成田 道子²⁾, 濱田 祐輔^{1,2)}, 須田 雪明^{1,2)}, 南雲 康行²⁾, 葛巻 直子^{1,2)}, 成田 年^{1,2,4)}

1)星薬科大学 薬理学研究室, 2)国立がん研究センター 研究所 がん患者病態生理研究ユニット, 3)がん研究会有明病院 薬剤部, 4)東京理科大学 薬学部 疾患薬理学研究室

3003-20 内服困難な患者にも使用可能な全身作用型ミロガバリン外用剤の開発 : 各種基剤による皮膚浸透性の比較検討

○田中 怜¹⁾, 池上 大悟²⁾, 石田 歩羽¹⁾, 草皆 利帆¹⁾, 佐藤 淳也¹⁾

1)湘南医療大学 薬学部 医療薬学科 薬物治療学研究室, 2)湘南医療大学 薬学部 医療薬学科 薬理学研究室

口頭発表4 疼痛マネジメント（優秀賞エントリー）

5月30日(土) 15:03-16:15 第8会場 和歌山県立医科大学 薬学部 中講義室 304

座長：萬谷 摩美子(愛和会愛和病院 薬局)

長谷 圭悟(八尾市立病院 がん診療支援室)

3004-21 超高用量オピオイドにより痛覚過敏と精神依存的行動を呈した胸腺癌患者に対し、多角的なアプローチにより疼痛コントロールできた一例

○石坂 峻¹⁾，市田 裕之⁴⁾，岡 千奈美²⁾，門田 珠代²⁾，齋喜 尚子²⁾，竹内 保奈美⁴⁾，遠藤 勇司⁴⁾，大庭 宏子³⁾

1) 堺市立総合医療センター 薬剤部，2) 大阪市立十三市民病院 看護部，3) 大阪市立十三市民病院 緩和ケア内科，4) 大阪市立十三市民病院 薬剤部

3004-22 フェンタニルクエン酸塩貼付剤の中断により離脱症状を来した一例

○高橋 早織^{1,4)}，若林 晃汰¹⁾，山岸 淑恵¹⁾，川田 裕己¹⁾，北川 あさ美¹⁾，畠中 祐希¹⁾，山田 葵¹⁾，竹村 優里¹⁾，柳田 みずき^{3,4)}，矢野 有紀^{2,4)}，野村 まなみ^{2,4)}，的場 元弘^{2,4)}

1) 医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院 薬剤部，2) 医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院 緩和医療科，3) 医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院 歯科口腔外科，4) 医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院 緩和ケアチーム

3004-23 高用量のオピオイド使用によりオピオイド誘発性痛覚過敏(OIH)を発症した1例

○知念 ほのか¹⁾，水摩 ひかり¹⁾，又吉 嘉寿人¹⁾，徳城 雄大¹⁾，萩原 万祐¹⁾

1) 医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 薬剤部

3004-24 Buerger 病による難治性慢性疼痛管理に難渋した一症例

○田中 宏賢^{1,2)}，伊藤 泰斗³⁾，岩崎 佑哉⁴⁾，篠原 佳祐¹⁾，三浦 篤史⁵⁾，関戸 大司²⁾，林 美奈子⁴⁾，渡邊 将隆¹⁾

1) JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター 薬剤部，2) JA 長野厚生連 佐久総合病院小海分院 薬剤部，3) JA 長野厚生連 佐久総合病院 小海分院 内科，4) JA 長野厚生連 佐久総合病院 小海分院 看護部，5) JA 長野厚生連 佐久総合病院 本院 薬剤部

3004-25 人工呼吸器管理の終末期患者に対するオピオイド過量投与に薬剤師として対応した1症例

○杉田 望月¹⁾, 池田 芳久²⁾, 松田 恵利³⁾, 道見 尚平³⁾, 矢野 涼子¹⁾

1)国立病院機構 石川病院 薬剤科, 2)国立病院機構 石川病院 脳神経内科, 3)国立病院機構石川病院 看護部

3004-26 プレガバリンおよびミロガバリンの維持用量への到達率に関する実態調査

○中川 隼一¹⁾, 座間 美沙¹⁾, 財満 文¹⁾, 日高 あづみ¹⁾, 林 隼輔¹⁾, 蔭山 博之¹⁾

1)東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部

口頭発表5 がん患者の症状マネジメント (優秀賞エントリー)

5月30日(土) 15:03-16:27 第9会場 和歌山県立医科大学 薬学部 実習室 301

座長: 龍 恵美(長崎大学病院 薬剤部)

宮本 康敬(浜松医療センター 薬剤科)

3005-27 当院における終末期がん患者のせん妄に対するブロナンセリン経皮吸収製剤の使用実態調査について

○金安 真由子¹⁾, 藤居 藍¹⁾, 田中 雅子¹⁾, 岡田 悠加¹⁾, 藤永 仁美¹⁾, 磯元 啓吾¹⁾, 大前 隆広¹⁾, 佐倉 小百合¹⁾

1)兵庫県立がんセンター 薬剤部

3005-28 多職種協働によるせん妄・不眠時薬物療法の院内標準化 ―フローチャート作成の取り組み―

○安藤 寛子¹⁾, 野口 美幸¹⁾, 玉田 広明¹⁾, 飯田 遼¹⁾, 猪瀬 成史¹⁾

1)総合病院土浦協同病院

3005-29 がん患者のせん妄に対するブロナンセリン貼付剤の安全性に関する単施設後方視的調査

○五十嵐 隆志¹⁾, 篠原 旭¹⁾, 村田 優太¹⁾, 酒向 あずみ¹⁾, 阿部 健太郎¹⁾, 中西 芽依¹⁾, 小田 亜貴子¹⁾, 古川 洗平¹⁾, 服部 友歌子²⁾, 三浦 智史²⁾, 米村 雅人¹⁾, 近藤 直樹¹⁾

1)国立がん研究センター東病院 薬剤部, 2)国立がん研究センター東病院 緩和医療科

3005-30 非がん終末期における抗不安薬・鎮静薬の新規処方パターンと身体的拘束の実態—がん患者との後方視的比較検討—

○大信 紀明¹⁾, 色川 正憲¹⁾, 浮谷 聡¹⁾, 興野 裕汰¹⁾, 遠西 雅恵¹⁾, 大谷 俊裕¹⁾

1)地域医療振興協会 石岡第一病院

3005-31 終末期がん患者の倦怠感に対するヒドロキシジン塩酸塩注射液による間欠的鎮静の効果およびせん妄発現リスクの検討

○大田 歩¹⁾, 高野 陽平²⁾, 横田 良一³⁾, 須田 範行¹⁾

1)国家公務員共済組合連合会 斗南病院 薬剤部, 2)砂川市立病院 薬剤部, 3)砂川市立病院 緩和ケア外科

3005-32 Enfortumab Vedotin による皮膚障害に対してグリチルリチン・グリシン・システイン配合注射液が有効であった1例

○畠山 愛珠¹⁾, 大谷 拓也¹⁾, 荘山 咲智子¹⁾, 浦川 聖菜¹⁾, 室岡 邦彦¹⁾, 高瀬 久光¹⁾

1)順天堂大学医学部附属浦安病院

3005-33 頭頸部癌患者における化学放射線療法に伴う有害事象対策への取り組み

○座間 美沙¹⁾, 財満 文¹⁾, 日高 あづみ¹⁾, 中川 隼一¹⁾, 林 隼輔¹⁾, 蔭山 博之¹⁾

1)東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部

口頭発表6 地域連携、緩和ケアチームなど（優秀賞エントリー）

5月30日(土) 16:32-17:56 第9会場 和歌山県立医科大学 薬学部 実習室 301

座長：伊勢 雄也(日本医科大学付属病院 薬剤部)

岩根 裕紀(京都桂病院 薬剤科)

3006-34 内服困難となりメサドンを中止した膵癌患者に対しトラマドール注持続併用で在宅療養が可能となった1例

○近岡 伸悟¹⁾, 梶浦 新也³⁾, 屋木 佑太¹⁾, 龍 伸和¹⁾, 松下 孝子²⁾, 黒川 真美²⁾, 金井 菜穂子⁴⁾, 水野 洋子³⁾, 林 龍二³⁾, 加藤 敦¹⁾

1)富山大学附属病院 薬剤部, 2)富山大学附属病院 看護部, 3)富山大学附属病院 腫瘍内科 緩和ケア内科, 4)富山大学附属病院 総合がんセンター

3006-35 嚔下機能低下患者に対しアレクチニブの経管投与を導入し在宅移行を支援した一例

○松浦 友美¹⁾, 荒木 秀仁¹⁾, 奥 龍一¹⁾

1)総合病院松江生協病院 薬剤部

3006-36 終末期患者の在宅支援に関するアンケート調査～退院前カンファレンスにおける薬薬連携を妨げる要因の報告と今後の取り組みへの提案～

○土屋 貴^{1,2)}, 仁木 一順^{2,3,4)}, 近藤 匡慶^{2,5)}, 平井 俊明^{2,6)}, 山中 幸典^{2,7)}, 宮崎 百合^{2,8)}, 萬谷 摩美子^{2,9)}, 原田 奈津子^{2,10)}, 江口 真理子^{2,11)}, 内田 まやこ^{2,12)}, 高瀬 久 光^{2,13)}

1)地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 薬剤部, 2)日本緩和医療薬学会先端学術緩和医療薬学タスクフォース, 3)大阪大学大学院 薬学研究科, 4)市立芦屋病院 薬剤科, 5)日本医科大学多摩永山病院 薬剤部, 6)JA 広島総合病院薬剤部, 7)イワオ薬局日赤病院前ミタス伊勢店, 8)横浜市立みなと赤十字病院薬剤部, 9)医療法人愛和会愛和病院 薬局, 10)医療法人平和の森ピースホームケアクリニック, 11)株式会社大賀薬局野芥調剤店, 12)九州大学病院 薬剤部, 13)順天堂大学医学部附属浦安病院薬剤科

3006-37 医療用麻薬管理業務の効率化の取り組み（麻薬管理支援システムによる注射用麻薬補助簿廃止の試み）【第2報】

○平野 明穂¹⁾, 山田 良江¹⁾, 木下 敦子¹⁾, 山村 康比古¹⁾, 藤波 薫¹⁾, 肥沼 理映子¹⁾, 後藤 総太郎¹⁾, 松尾 拓馬¹⁾, 添田 侑希¹⁾

1)地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立駒込病院

3006-38 緩和ケアチームと緩和ケア病棟における薬剤師レジデントの介入とその評価に関する観察研究

○古川 洸平¹⁾, 阿部 健太郎¹⁾, 五十嵐 隆志¹⁾, 酒向 あずみ¹⁾, 小田 亜貴子¹⁾, 竹内 瑞枝²⁾, 服部 友歌子²⁾, 三浦 智史²⁾, 龍島 靖明¹⁾, 近藤 直樹¹⁾

1)国立がん研究センター東病院 薬剤部, 2)国立がん研究センター東病院 緩和医療科

3006-39 医療用麻薬の「患者向医薬品ガイド」および「くすりのしおり」における記載内容に関する実態調査

○村田 優太¹⁾, 阿部 健太郎¹⁾, 五十嵐 隆志¹⁾, 篠原 旭¹⁾, 三浦 智史²⁾, 近藤 直樹¹⁾

1)国立がん研究センター東病院 薬剤部, 2)国立がん研究センター東病院 緩和医療科

3006-40 オピオイド注射剤の院内フォーミュラリ導入を目的とした緩和ケア病棟における使用状況調査と導入に伴う経済効果の試算

○中島 誠^{1,2)}, 馬見塚 勝郎³⁾, 山下 修司²⁾, 林 秀樹²⁾

1)鹿児島市医師会病院 薬剤部, 2)岐阜薬科大学 地域医療実践薬学, 3)鹿児島市医師会病院 緩和ケア科

口頭発表7 在宅緩和ケア（優秀賞エントリー）

5月31日(日) 9:00-10:24 第9会場 和歌山県立医科大学 薬学部 実習室 301

座長：前田 桂吾(日本調剤株式会社 在宅医療部)
白石 丈也((有)メディックス白石けや木薬局)

3007-41 癌末期在宅患者に対する注射剤を用いた持続鎮痛及び調節型鎮静に在宅薬剤師が介入した症例及び今後の在宅医療の課題

○高塚 雄太¹⁾, 田川 有希²⁾, 神庭 隆³⁾, 大谷 裕子⁴⁾, 大谷 誠司⁴⁾

1)(有)アド調剤薬局 西部薬局, 2)(有)アド調剤薬局 桔梗堂薬局, 3)(有)アド調剤薬局 リブ調剤薬局, 4)(有)アド調剤薬局

3007-42 積極的治療を終了した終末期がん患者の海外旅行支援

○山本 侑記¹⁾

1)一般社団法人泉州メディカ 在宅医療チーム

3007-43 在宅緩和医療において当薬局で介入した一症例 一病院から在宅へ PCA ポンプをつなぐ

○福島 知美¹⁾, 小齊平 智恵^{1,2)}, 沼田 真由美¹⁾

1)福元薬局, 2)たいよう薬局 西始良

3007-44 地域における在宅緩和ケア事例の共有と薬剤師の役割 一朝霞地区在宅緩和ケア推進ネットワークの症例検討会を中心に

○石田 理香¹⁾, 金井 良晃²⁾, 米田 武史³⁾, 高田 幸代⁴⁾

1)かくの木野火止薬局, 2)医療法人社団 武蔵野会 TMG あさか医療センター, 3)医療法人循和会 朝霞中央クリニック, 4)朝霞地区医師会 地域包括ケア支援室

3007-45 在宅終末期医療における病院と在宅の薬剤対応に関する課題 一薬局薬剤師の実務経験から考える在宅医療への関与一

○島田 菜巳¹⁾

1)株式会社はーとふる ミヤケ薬局

3007-46 在宅医療の現場から見る CGA の実践～困難事例における薬剤師の役割～

○前園 崇仁¹⁾

1)有限会社トゥーアローズ 大手町調剤薬局

3007-47 終末期心不全在宅医療において薬剤師が果たすべき役割：在宅ドブタミン持続静注を要した一例

○森 満希子¹⁾，服部 雄介²⁾，小泉 安香里³⁾，村上 大希¹⁾，鈴木 寛¹⁾，
山内 克哉¹⁾

1)株式会社やまうち薬局，2)服部クリニック，3)訪問看護ステーションなのはな

口頭発表8 チーム医療、地域連携、病棟薬剤業務など

5月31日(日) 10:30-12:06 第9会場 和歌山県立医科大学 薬学部 実習室 301

座長：杉原 弘記(尾道市立市民病院 薬剤部)

柏原 由佳(昭和大学江東豊洲病院 薬剤部)

3008-48 北海道大学病院小児緩和ケアチームにおける薬剤師の役割

○武田 芙蓉¹⁾，加藤 信太郎¹⁾，平林 真介²⁾，長 祐子²⁾，真部 淳²⁾，武隈 洋¹⁾，菅原 満^{1,3)}

1)北海道大学病院 薬剤部，2)北海道大学病院 小児科，3)北海道大学大学院 薬学研究院

3008-49 急性期病院から在宅医療へ、シームレスな緩和医療の提供に向けて薬剤師が薬剤調整に関与した一症例

○赤星 一恵¹⁾

1)大分岡病院 薬剤部

3008-50 緩和ケア病棟における病棟薬剤業務導入の実践 ―療養病棟・地域包括病棟を併設する体制下での役割構築と課題―

○掛谷 純子¹⁾，加藤 真子¹⁾，藍原 佳子¹⁾，安保 真由美¹⁾，佃 満理子¹⁾，
植松 志帆¹⁾，塩飽 良枝²⁾，井上 卓治³⁾，古口 契児⁴⁾，前原 弘江⁴⁾

1)前原病院 薬剤課，2)前原病院 看護部，3)沼隈病院 薬剤課，4)前原病院 緩和ケア内科

3008-51 退院前カンファレンスを通じた円滑な薬薬連携を目指す取り組み

○上田 真隆¹⁾，北田 知里¹⁾，綿谷 純奈¹⁾，畑 裕基¹⁾，米田 勝晃¹⁾

1)市立奈良病院 薬剤室

3008-52 シームレスな緩和ケアを支える薬剤管理サマリ：薬薬連携の実践と評価

○畑中 真理¹⁾, 三輪 明子¹⁾, 千阪 智美¹⁾, 末田 光恵²⁾, 船橋 英樹²⁾,
山賀 昌治²⁾, 小池 香苗²⁾, 西村 亜希²⁾, 平原 康寿¹⁾, 池田 龍二¹⁾

1)宮崎大学医学部附属病院 薬剤部, 2)緩和ケアチーム

3008-53 病院薬剤師が在宅医療現場の見学で得られた成果

○林 隼輔¹⁾, 座間 美沙¹⁾, 財満 文¹⁾, 日高 あづみ¹⁾, 中川 隼一¹⁾, 関
拓海²⁾, 高柳 論也³⁾, 餅原 弘樹⁴⁾, 蔭山 博之¹⁾

1)東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部, 2)あけぼの薬局学園の森店, 3)有限会社松栄堂薬
局, 4)医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック

3008-54 周術期担当薬剤師と緩和ケアチームの協働で周術期のオピオイド離脱症候群
回避に寄与できた一症例

○満尾 明恵¹⁾, 屋地 慶子¹⁾, 有馬 太陽^{1,2)}, 福司山 典子¹⁾, 川添 信忠¹⁾,
倉園 千穂¹⁾, 野田 美弥子³⁾, 菅原 英輝¹⁾, 末次 王卓^{1,2)}, 寺園 英之^{1,2)}

1)鹿児島大学病院 薬剤部, 2)鹿児島大学医歯研 薬物動態制御学, 3)鹿児島大学病院 緩和
ケアセンター

3008-55 外来緩和ケアにおける薬剤師連携により在宅療養の継続に寄与できた一例

○大内 友季江¹⁾, 佐藤 千穂¹⁾, 安達 寛成¹⁾

1)一般財団法人やまとコミュニティホスピタル光ヶ丘スパーマン病院

一般演題(ポスター発表)

ポスター発表1 緩和医療の基礎研究

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P1-001 2型糖尿病モデルマウスにおける末梢神経炎症の性差解析

○山田 菜葉¹⁾, 木口 倫一¹⁾

1)和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室

30P1-002 神経障害性疼痛の病態を担う後根神経節マクロファージの性差解析

○高田 菜緒¹⁾, 木口 倫一¹⁾

1)和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室

30P1-003 痛み感受性の性差における CGRP 陽性神経の関与

○久保田 桃¹⁾, 木口 倫一¹⁾

1)和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室

30P1-004 FAERS を用いた抗悪性腫瘍薬関連末梢神経障害における併用時報告シグナルの探索的解析

○慶 元箕^{1,2)}, 植沢 芳広¹⁾

1)明治薬科大学 医療分子解析学研究室, 2)東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部

30P1-005 マウス脳波・筋電図解析を中心とした神経障害性疼痛下における不安および睡眠障害の病態解明に向けた研究

○仙波 未唯¹⁾, 山下 哲¹⁾, 中田 瑞希¹⁾, 山川 穰¹⁾, 小柳 円花¹⁾, 今井 哲司¹⁾

1)和歌山県立医科大学 薬学部 医療開発薬学研究室

30P1-006 術後せん妄モデルマウスにおける脳内炎症関連分子の発現変化

○井上 嘉之¹⁾, 抱 将史¹⁾, 土井 光則¹⁾, 松本 みさき¹⁾, 中川 貴之¹⁾

1)和歌山県立医科大学 薬学部 病院薬学研究室

30P1-007 膵がん悪液質におけるストレス神経-グリア関連異常を伴った視床下部-下垂体-副腎 (HPA) 軸機構破綻と遠心性免疫制御異常

○本山 和¹⁾, 須田 雪明^{1,2)}, 垣内 万菜香^{1,2)}, 高田 優太郎^{1,2)}, 中村 龍斗¹⁾, 池田 莉琉¹⁾, 松山 富貴子^{1,3)}, 成田 道子²⁾, 濱田 祐輔^{1,2)}, 葛巻 直子^{1,2)}, 成田 年^{1,2)}

1)星薬科大学 薬理学研究室, 2)国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究ユニット, 3)日本小動物医療センター

30P1-008 Lewis 肺がん細胞移植によるがん悪液質モデルマウスの解析

○谷口 富美¹⁾, 松本 みさき¹⁾, 抱 将史¹⁾, 土井 光則¹⁾, 中川 貴之¹⁾

1)和歌山県立医科大学 大学院 医学薬学総合研究科 病院薬学研究室

30P1-009 末梢性 μ オピオイド受容体が制御する免疫チェックポイント阻害薬の抗腫瘍効果

○板垣 美咲¹⁾, 濱田 祐輔^{1,2)}, 岩切 菜摘¹⁾, 成田 道子²⁾, 須田 雪明^{1,2)}, 葛巻 直子^{1,2)}, 成田 年^{1,2)}

1)星薬科大学 薬理学研究室, 2)国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究ユニット

30P1-010 パクリタキセル誘発性末梢神経障害ラットモデルにおける加味逍遙散の抑制作用

○山根 洋香¹⁾, 関谷 知樹¹⁾, 大久保 怜¹⁾, 平尾 咲優香¹⁾, 川尻 雄大²⁾, 江頭 伸昭¹⁾

1)和歌山県立医科大学 薬学部 医療薬剤学研究室, 2)九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野

30P1-011 鎮痛効果を指標としたジクロフェナク薬物動態/薬力学モデル構築と有効血中濃度の探索

○青山 隆彦¹⁾, 前田 優¹⁾, 国分 秀也²⁾, 辻 泰弘¹⁾

1)日本大学 薬学部 臨床薬物動態学研究室, 2)湘南医療大学 薬学部 臨床薬理学研究室

30P1-012 実臨床ビッグデータ解析と動物実験の組み合わせによるがん関連認知機能障害 (ケモブレイン) の解析

○抱 将史¹⁾, 長島 卓也²⁾, 井上 嘉之¹⁾, 菱田 菜摘¹⁾, 土井 光則¹⁾, 松本 みさき¹⁾, 中川 貴之¹⁾

1)和歌山県立医科大学 薬学部, 2)日本大学 医学部

30P1-013 オピオイド間の併用による副作用リスクの網羅的評価：FAERS を用いた薬剤相互作用分析

○細谷 龍一郎¹⁾，寺島 朝子¹⁾，国分 秀也³⁾，植沢 芳広²⁾，加賀谷 肇¹⁾

1)湘南医療大学薬学部 臨床薬剤学研究室，2)明治薬科大学 医療分子解析学研究室，3)湘南医療大学薬学部 臨床薬理学研究室

ポスター発表2 疼痛マネジメント

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P2-014 血液透析施行中の急性骨髄性白血病患者における不穏を伴う難治性疼痛に対し調節型鎮静による管理を要した1例

○西田 未奈¹⁾，澤井 麻記¹⁾，漣 航平¹⁾，中津川 瑛美¹⁾，小林 由佳¹⁾，菱澤 方勝²⁾，清水 正樹³⁾

1)社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院 薬剤科，2)社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院 血液内科，3)社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院 緩和ケア科

30P2-015 多発下肢潰瘍の慢性疼痛に対してフェンタニル貼付剤で疼痛コントロールを行い、最終的に完全脱離に至った一例

○柚木 卓実¹⁾

1)平田薬局

30P2-016 神経障害性疼痛に使用するカプサイシン軟膏の有効性と有害事象についての患者アンケート調査

○藤田 昌紀¹⁾，高橋 祐美子¹⁾，水谷 大輝¹⁾，太田 早苗¹⁾，安田 佳奈¹⁾，高橋 佳代¹⁾，古林 真緒¹⁾，正木 知宏¹⁾，前田 倫²⁾

1)西宮市立中央病院 薬剤部，2)西宮市立中央病院 ペインクリニック科・麻酔科

30P2-017 くも膜下出血術後頭痛管理の現状と課題—非オピオイド鎮痛薬中心治療の限界を示唆する後方視的検討—

○金沢 優¹⁾，向井 優太郎¹⁾，加藤 あい¹⁾，山口 弥久¹⁾，中藏 伊知郎¹⁾，小原 直紘¹⁾，山西 香織¹⁾，朴 俊勇²⁾，北川 純子²⁾，小倉 健紀³⁾，片岡 大治³⁾，畝 佳子¹⁾

1)国立循環器病研究センター 薬剤部，2)国立循環器病研究センター 看護部，3)国立循環器病研究センター 脳神経外科部

30P2-018 当院におけるがん化学療法に伴う末梢神経障害に対する薬物療法介入の強化に向けた使用状況調査

○茂原 圭佑¹⁾, 中川 隼一²⁾, 佐藤 彩佳¹⁾, 坂本 理咲子¹⁾, 高橋 苑子¹⁾, 榎 茂典¹⁾, 奥津 利晃¹⁾, 平島 徹¹⁾

1)東京慈恵会医科大学西部医療センター, 2)東京慈恵会医科大学附属柏病院

30P2-019 先行オピオイド併用下に導入されたメサドンの処方実態および安全性に関する後ろ向き調査

○小林 雅人¹⁾, 奥津 雄人¹⁾, 有山 智博¹⁾, 石田 耕太¹⁾, 細谷 治¹⁾

1)日本赤十字社医療センター 薬剤部

30P2-020 レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) オープンデータに基づく外来院外処方における医療用麻薬使用量の実態調査 (2019-2023 年度)

○宮崎 琴音¹⁾, 阿部 健太郎¹⁾, 五十嵐 隆志¹⁾, 酒向 あずみ¹⁾, 中西 芽依¹⁾, 真野 泰成²⁾, 三浦 智史³⁾, 服部 友歌子³⁾, 龍島 靖明¹⁾, 近藤 直樹¹⁾

1)国立がん研究センター東病院 薬剤部, 2)東京理科大学薬学部 臨床薬剤情報学, 3)国立がん研究センター東病院 緩和医療科

30P2-021 当院におけるメサドンへのオピオイドスイッチング方法の調査

○吉田 ひかり^{1,2)}, 伊藤 聡一郎^{1,2)}, 深津 昌弘^{1,2)}, 郷治 久美¹⁾, 山田 哲也¹⁾, 長谷川 和美²⁾, 水元 弥生²⁾, 萩本 聡³⁾, 澤田 憲朗³⁾

1)公立陶生病院 医療技術局 薬剤部, 2)公立陶生病院 緩和ケアセンター, 3)公立陶生病院 緩和ケア内科

30P2-022 肺腺がん患者に QOL を考慮したフェンタニル貼付剤と PCA ポンプを用いたオキシコドン注の併用にて、離島への自宅退院が可能となった 1 例

○末吉 真樹^{1,2)}, 高橋 成美^{1,2)}, 大井 初江²⁾, 奥平 正美¹⁾, 永田 治¹⁾

1)JA 愛知厚生連 知多厚生病院 薬剤部, 2)JA 愛知厚生連 知多厚生病院 緩和ケアチーム

30P2-023 嚥下困難時のがん疼痛緩和に対する介入の検討～オピオイドの投与経路変更の実態調査～

○海老根 香里¹⁾, 高村 優太¹⁾, 平井 利幸¹⁾

1)株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 薬務局

30P2-024 透析終了前後の疼痛悪化に対してオキシコドン注を持続皮下投与した一例

○川井 彩加^{1,2)}, 満友 良介¹⁾, 日下部 聖美²⁾, 曾和 晃正²⁾

1)医療法人南労会 紀和病院 薬剤部, 2)医療法人南労会 紀和病院 緩和ケアチーム

30P2-025 当院におけるオピオイド持続皮下注射（以下 CSI）のシリンジ交換ルール見直し
が麻薬廃棄に与えた影響とメニュー変更の実態

○山崎 史子¹⁾、大岩 裕子¹⁾、遠藤 真一郎²⁾、進藤 喜予²⁾

1)医療法人成和会ほうせんか病院 薬剤科, 2)医療法人成和会ほうせんか病院 緩和ケア科

30P2-026 自動車運転を希望する患者に対してオピオイドの使用方法を緩和ケアチーム
で検討した S 状結腸癌の一症例

○堀 有美子¹⁾、新山 千尋¹⁾、佐藤 史織¹⁾、大野 英治²⁾、陸丸 幹男¹⁾

1)大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部, 2)大分市医師会立アルメイダ病院 緩和ケア内科

30P2-027 食道癌患者における放射線性食道炎に対するミロガバリンの効果に関する検
討

○加納 日南子¹⁾、古田 光寛²⁾、中野間 紘²⁾、濱 崇哲²⁾、大西 美沙²⁾、
石川 俊太郎²⁾、櫻井 学¹⁾

1)神奈川県立がんセンター 薬剤科, 2)神奈川県立がんセンター 消化器内科

30P2-028 精神的不安を伴う疼痛コントロールに難渋する患者に、エチゾラムを併用す
ることでレスキューの使用回数を減らすことができた 1 例

○藤平 和花¹⁾、平田 一耕^{1,2)}、大場 啓貴^{1,2)}、舟越 亮寛^{2,3)}

1)社会医療法人愛仁会 高槻病院

30P2-029 自己免疫性疾患患者における慢性疼痛に対するオピオイド処方の実態調査

○今西 絢子¹⁾、舩友 美緒¹⁾、福本 哲也¹⁾、矢敷 祐子¹⁾、木村 真策¹⁾

1)医療法人鉄蕉会 亀田クリニック 薬剤室, 2)医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部, 3)
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 医療管理本部 薬剤管理部

ポスター発表 3 鎮痛薬の適正使用

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P3-030 在宅から入院、そして再入院へ繋ぐ緩和医療の質向上：高用量オピオイド使
用患者における実服用量把握の意義

○浅田 美咲¹⁾、樋口 文子¹⁾、松尾 尚美¹⁾、千田 祥子¹⁾、前田 祐香¹⁾、
仲田 浩成¹⁾、嶋本 正弥²⁾、松元 俊博¹⁾

1)独立行政法人 国立病院機構 九州がんセンター 薬剤部, 2)独立行政法人 国立病院機構
九州がんセンター 緩和治療科

30P3-031 医療用麻薬の自己管理運用に向けた当院での取り組み

○三塚 健司¹⁾

1)仙台市立病院

30P3-032 婦人科開腹手術におけるアセトアミノフェン定時投与が術後疼痛に与える影響

○太崎 恵¹⁾

1)医療法人創起会 くまもと森都総合病院

30P3-033 薬剤師介入がミロガバリンの適切な用量調節に与える影響

○秋山 真葵¹⁾, 葛谷 真理¹⁾, 今井 視保子¹⁾, 高原 悠子¹⁾, 高木 裕介¹⁾, 渡邊 ちひろ¹⁾, 田宮 真一¹⁾, 木全 司¹⁾

1)日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院 薬剤部

30P3-034 乳がんの大腿骨転移による疼痛に対しロコサミドが著効した1症例

○荒神 一博¹⁾, 武良 卓也¹⁾, 小倉 千奈¹⁾, 川崎 元弘¹⁾, 西澤 修一¹⁾

1)独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター

30P3-035 末梢神経障害治療薬の増量の有無による有効性の違いに関する検討

○船津 妃杜美¹⁾

1)聖隷浜松病院 薬剤部

30P3-036 緩和ケアチームによるオピオイド適正使用ラウンド活動と課題

○廣田 未彩¹⁾, 小見 雄介¹⁾, 小屋 紘子²⁾

1)前橋赤十字病院 薬剤部, 2)前橋赤十字病院 緩和支援医療科

30P3-037 モルヒネ持続静注開始量が1日量20mgとなる場合の安全性・有効性に関する検討

○清川 明慶¹⁾

1)むつ総合病院 薬剤部 薬剤科

30P3-038 フェンタニル注出荷制限に伴う代替薬としてのブプレノルフィン注の使用状況とその有用性

○大音 三枝子¹⁾, 薩摩 由香里¹⁾, 吉野 新太郎¹⁾, 木村 拓哉²⁾, 三好 祐輔²⁾, 新城 拓也^{2,3)}, 西本 哲郎²⁾, 室井 延之¹⁾

1)神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部, 2)神戸市立医療センター中央市民病院 緩和ケア内科, 3)しんじょう医院

30P3-039 当院における持ち込み麻薬の実態調査

○近藤 美咲¹⁾, 望月 瞭¹⁾

1)益田地域医療センター医師会病院

30P3-040 鎮痛薬の投与経路に難渋した食道胃接合部癌・頸部リンパ節転移の一症例

○井上 悠¹⁾, 山田 直輝¹⁾, 青山 瑛里子¹⁾, 池下 和敏²⁾, 仲村 光世²⁾,
今西 真奈美³⁾, 朴 祐希⁴⁾

1)八尾徳洲会総合病院 薬剤部, 2)八尾徳洲会総合病院 麻酔科, 3)八尾徳洲会総合病院 看護部, 4)八尾徳洲会総合病院 医局

30P3-041 緩和ケア病棟の終末期がん患者における死前時オピオイド使用量の検討

○高橋 典哉¹⁾, 太田 祐輝¹⁾, 石川 沙絵¹⁾, 澤口 元伸¹⁾, 星野 彰²⁾

1)岩手県立中部病院 薬剤科, 2)岩手県立中部病院 緩和ケア科

30P3-042 緩和ケア病棟と一般病棟での注射用オピオイド開始時の投与方法の違いについて

○丸山 昌広¹⁾, 伊藤 優花¹⁾, 伊藤 春香¹⁾, 門井 実¹⁾, 定盛 理純¹⁾

1)明陽会 成田記念病院 薬局

ポスター発表4 オピオイドスイッチング、タイトレーション

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P4-043 当院における注射用オキシコドン導入時の投与量割合と疼痛アウトカムの後方視的検討

○平野 美菜¹⁾, 黒田 祥嗣¹⁾, 佐藤 文勇¹⁾, 信田 磨堯¹⁾, 早坂 望¹⁾, 伊藤 楓¹⁾, 谷地 真亜子¹⁾, 矢羽々 俊¹⁾, 竹澤 信也¹⁾, 佐藤 克生¹⁾, 佐藤 秀樹¹⁾

1)岩手県立久慈病院 薬剤科

30P4-044 当院緩和ケア病棟における医療用麻薬の使用状況およびオピオイドローテーションの実態調査

○倉股 大稀¹⁾, 豊田 倫之¹⁾, 須賀 宏之¹⁾, 浦川 雅己²⁾

1)深谷赤十字病院 薬剤部, 2)深谷赤十字病院 支持緩和医療科

30P4-045 不完全な交差耐性を考慮したオピオイドスイッチングによりオピオイド投与量 9 割減と良好な痛みコントロールを得た 1 症例

○伊藤 友梨^{1,2)}, 植田 亮^{2,3)}, 小林 徳子^{1,2)}, 江嵐 充治⁴⁾, 荒井 美栄⁴⁾, 鈴木 隆子^{2,5)}, 田中 千恵^{2,5)}, 竹村 佳記^{2,6)}

1)富山西総合病院 薬剤科, 2)富山西総合病院 緩和ケアチーム, 3)富山西総合病院 消化器内科, 4)富山西総合病院 乳腺外科, 5)富山西総合病院 看護部, 6)富山西総合病院 麻酔科

30P4-046 タペンタドールからメサドンへ変更後に疼痛増悪を認め、フェンタニル貼付剤で症状緩和を得た 1 例

○新井 聖子^{1,2)}, 中西 英世^{2,3)}, 安藤 喬登士¹⁾, 関塚 大¹⁾, 榎本 史子^{2,5)}, 岩田 柚里奈^{2,4)}, 冬木 晶子^{2,3)}, 田辺 義明^{2,6)}

1)新百合ヶ丘総合病院 薬剤科, 2)新百合ヶ丘総合病院 緩和ケアチーム, 3)新百合ヶ丘総合病院 緩和ケア内科, 4)新百合ヶ丘総合病院 精神科, 5)新百合ヶ丘総合病院 看護部, 6)新百合ヶ丘総合病院 外科

30P4-047 終末期にメサドンからモルヒネ皮下注へオピオイドスイッチングした 1 例

○藤高 浩輝^{1,2)}, 岡田 淳芳^{1,2)}, 石井 一也¹⁾, 河本 敏貴^{1,2)}, 大塚 識稔¹⁾, 田原 由季²⁾, 大塚 由有子²⁾, 宇根 秀則³⁾

1)公立学校共済組合 中国中央病院 薬剤部, 2)公立学校共済組合 中国中央病院 緩和ケアチーム, 3)公立学校共済組合 中国中央病院 歯科口腔外科

30P4-048 メサドン塩酸塩錠が内服困難となり、注射剤へオピオイドスイッチングを行った 3 症例

○平尾 彩香¹⁾, 城 亜希²⁾, 田崎 亜希子²⁾, 大槻 秀樹³⁾, 小林 遊⁴⁾, 林一喜⁵⁾, 喜田 裕介⁵⁾, 松浦 佳代²⁾, 三宅 健文²⁾, 堀 泰祐⁶⁾

1)淡海医療センター 薬剤部, 2)淡海医療センター 看護部, 3)淡海医療センター 心療内科, 4)淡海医療センター 消化器内科, 5)淡海医療センター 呼吸器外科, 6)淡海医療センター 緩和ケア内科

30P4-049 フェンタニル貼付剤, ヒドロモルフォン徐放錠, オキシコドン徐放錠による鎮痛耐性の形成を疑い, 塩酸モルヒネ水和物の持続皮下注射 (MHH-CSCI) へ変更し疼痛が改善した 1 例

○岡本 満¹⁾, 山下 和宏¹⁾, 尾崎 正吾¹⁾, 藤野 裕美¹⁾, 松尾 亜希子¹⁾, 川田 若菜¹⁾, 大西 将統¹⁾, 川崎 元敬¹⁾, 多田 文彦¹⁾, 森近 俊之¹⁾

1)独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 薬剤部

30P4-050 オピオイドの部分スイッチングにより QOL/ADL の向上・維持に貢献した 1 例

○星田 唯史¹⁾, 木村 佳世¹⁾, 渡辺 亜紀²⁾, 筑後 英紀³⁾, 阿部 哲也^{4,5)}, 野田 明宏¹⁾

1)日本赤十字社和歌山医療センター 薬剤部, 2)日本赤十字社和歌山医療センター 看護部, 3)日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科, 4)日本赤十字社和歌山医療センター 心療内科, 5)日本赤十字社和歌山医療センター 緩和ケア内科

ポスター発表5 鎮痛薬の副作用

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P5-051 ナルデメジン服用後の下痢発現に関連する因子の検討

○田中 勇輔¹⁾, 川上 有彩¹⁾, 今中 翔一¹⁾, 光永 義治¹⁾, 渡部 多真紀^{1,2)}, 長瀬 幸恵^{1,2)}, 有賀 悦子³⁾, 安野 伸浩^{1,2)}

1)帝京大学医学部附属病院 薬剤部, 2)帝京大学 薬学部 病院薬学研究室, 3)帝京大学医学部附属病院 緩和ケア内科

30P5-052 ナルデメジントシル酸塩錠の投与開始時期がオピオイド誘発性便秘症に与える影響

○飯島 こころ¹⁾, 岸本 大裕²⁾, 小田島 楓菜¹⁾, 村上 実沙樹¹⁾, 清海 杏奈¹⁾, 吉田 謙介¹⁾, 田中 嘉一²⁾, 杉浦 宗敏¹⁾

1)東京薬科大学 薬学部 医薬品安全管理学教室, 2)千葉県済生会習志野病院薬剤部

30P5-053 福岡徳洲会病院におけるがん性疼痛に対するオピオイド開始時の下剤予防投与の実態調査

○永野 万菜香¹⁾, 村田 智弘¹⁾, 山本 貴一¹⁾, 秦 晃二郎¹⁾, 田中 博和¹⁾, 宮津 大輔¹⁾, 渡邊 裕之¹⁾

1)医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 薬剤部

30P5-054 オキシコドン投与時に発現したと考えられるミオクローヌスに、クロナゼパムが有効であった一症例

○真田 貴義¹⁾, 辻 功汰¹⁾, 明石 靖子²⁾, 佐藤 謙二郎³⁾, 田尾 修⁴⁾, 大友 悠太郎⁵⁾, 松井 孝至³⁾

1)市立青梅総合医療センター 薬剤部, 2)市立青梅総合医療センター 看護局, 3)市立青梅総合医療センター 疼痛緩和内科, 4)市立青梅総合医療センター 脳神経内科, 5)市立青梅総合医療センター 呼吸器内科

30P5-055 オキシドロン増量に伴う運動症状の変動を認めたパーキンソン病を有するがん患者の一症例

○直良 知美¹⁾, 米原 葉月¹⁾, 栢木 啓介¹⁾, 秦 英司¹⁾, 藤吉 正哉¹⁾

1)鳥取大学医学部附属病院

30P5-056 悪性リンパ腫に伴う難治性疼痛に対し頻回のレスキュー使用を要した一例：ケミカルコーピングとの鑑別に苦慮した背景と経過についての検討

○佐藤 彩佳¹⁾, 茂原 圭佑¹⁾, 山田 海帆¹⁾, 奥津 利晃¹⁾, 平島 徹¹⁾

1)東京慈恵会医科大学西部医療センター

30P5-057 薬物乱用およびアルコール依存歴を有する終末期がん患者へ医療用麻薬を使用した一症例

○金森 太郎¹⁾, 笹田 美和²⁾, 藤村 操¹⁾, 野村 務³⁾

1)令和あらかわ病院 薬剤科, 2)令和あらかわ病院 メンタルヘルス科, 3)令和あらかわ病院 外科

30P5-058 オピオイド誘発性神経毒性の対応に難渋した一例

○高橋 周平¹⁾, 守田 和憲¹⁾, 柴田 啓智¹⁾, 徳永 晃巳¹⁾, 山下 園加¹⁾, 田上 治美¹⁾, 金光 敬一郎²⁾

1)済生会熊本病院 薬剤部, 2)済生会熊本病院 緩和ケアセンター

30P5-059 医薬品有害事象報告データベース (JADER) を用いた強オピオイドによる尿閉リスク評価と発現時期解析

○田中 祐介¹⁾, 木村 正彦¹⁾, 大塚 潔¹⁾

1)自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部

30P5-060 当院における弱オピオイド使用時の副作用対策の実態

○沼澤 恵子¹⁾

1)社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院 薬剤科

30P5-061 オピオイド誘発搔痒感に対してオピオイドスイッチが有効であった1症例

○菊田 奨之¹⁾, 宮沢 祐太¹⁾, 柴 さや香¹⁾, 須田 奈美¹⁾, 塩田 祐子²⁾, 川久保 孝¹⁾

1)東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部, 2)東京慈恵会医科大学附属病院 緩和ケア診療部

30P5-062 メサドンとハロペリドールの併用によりQT延長を起こした一例

○志保 美月¹⁾, 佐藤 公彦¹⁾, 中橋 勇典²⁾, 小井土 啓一¹⁾, 新藤 学¹⁾

1)国立病院機構横浜医療センター 薬剤部, 2)緩和ケア内科

ポスター発表6 痛み以外の症状マネジメント

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P6-063 ブロナンセリン経皮吸収型製剤の悪心嘔吐に対する使用状況調査

○飯島 いづみ^{1,2)}, 折原 正和^{1,2)}, 棚山 学^{1,2)}, 関根 克敏^{2,4,5)}, 深澤 義輝^{2,3,4)}

1)さいたま市立病院 薬剤科, 2)さいたま市立病院 緩和ケアチーム, 3)さいたま市立病院 緩和ケア科, 4)さいたま市立病院 内科, 5)さいたま市立病院 腫瘍センター

30P6-064 がん患者のがん関連悪心に対するアセナピン舌下錠の効果の検討

○宮原 強¹⁾, 草葉 一友¹⁾

1)佐賀県医療センター好生館 薬剤部

30P6-065 病院フォーミュラリに基づく薬剤師介入によりビンクリスチン誘発性便秘の症状緩和を認めた1例

○坂上 進¹⁾, 柴田 海斗¹⁾, 松尾 純¹⁾, 河西 風菜¹⁾, 内藤 隆文¹⁾

1)信州大学 医学部 附属病院 薬剤部

30P6-066 緩和ケア病棟に入院した肺癌患者に対して呼吸困難の緩和のため使用した医療用麻薬の検討

○石川 真帆¹⁾, 船田 佳苗¹⁾, 台野 佳代¹⁾, 山崎 恵美²⁾, 高瀬 和也³⁾, 竹中 淳子³⁾, 仲田 文造⁴⁾

1)市立柏原病院 医療技術部 薬剤科, 2)市立柏原病院 地域医療連携室, 3)市立柏原病院 看護部, 4)市立柏原病院 外科

30P6-067 吸入薬のデバイス選択により終末期気管支喘息患者のQOL向上に貢献できた一例

○畠山 万理恵^{1,3)}, 時田 圭子¹⁾, 越村 裕美^{2,3)}

1)地方独立行政法人 市立秋田総合病院 薬剤部, 2)地方独立行政法人 市立秋田総合病院 緩和ケア内科, 3)地方独立行政法人 市立秋田総合病院 緩和ケアチーム

30P6-068 がん緩和ケアにおけるせん妄に対する薬剤師介入の特徴と文献の現状 - J
STAGE および PubMed を用いたスコーピングレビュー -

○岸本 真^{1,2)}, 徳丸 章佳¹⁾, 徳永 楓果¹⁾, 後藤 若菜¹⁾, 上野 菜巳¹⁾, 前
田 裕太¹⁾, 六田 晃士¹⁾, 北園 幸大¹⁾, 屋敷 大輔¹⁾, 長ヶ原 琢磨¹⁾, 荻
尾 夕起子¹⁾, 徳永 仁²⁾

1)霧島市立医師会医療センター 薬剤部, 2)九州医療科学大学 大学院 臨床薬学第一講座

30P6-069 プラトレキサート投与時にクライオセラピーを実施した末梢性 T 細胞リン
パ腫の 2 例

○飯田 早紀¹⁾, 伊藤 佳織^{1,2,3)}, 森 舞子^{2,3)}, 槇尾 海斗²⁾, 後藤 尚絵³⁾,
入山 智沙子³⁾, 守作 美咲²⁾, 山田 成樹²⁾, 早川 伸樹¹⁾, 冨田 章裕³⁾

1)名城大学 薬学部 薬学科, 2)藤田医科大学病院 薬剤部, 3)藤田医科大学医学部 血液内
科学

30P6-070 非小細胞肺癌患者におけるアナモレリン投与時の栄養・炎症マーカー (PNI
および mGPS) と全生存期間の関連について

○木村 昂起¹⁾, 和田 翼¹⁾, 松本 拓真¹⁾, 長谷部 匡史¹⁾, 延平 早美¹⁾,
仙波 靖士¹⁾

1)独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター 薬剤部

30P6-071 アナモレリンの早期中止に関連する背景因子の検討

○杉野 歩美¹⁾, 平井 和成¹⁾, 米野 綾乃¹⁾, 佐藤 啓¹⁾, 佐藤 直子¹⁾, 土
井 啓員¹⁾

1)東邦大学 医療センター 佐倉病院 薬剤部

30P6-072 癌悪液質患者におけるアナモレリン塩酸塩の使用実態と有効性に関わる因子
の検討

○大池 貞治¹⁾, 清水 良美¹⁾, 西村 一宣²⁾

1)社会医療法人シマダ嶋田病院 薬剤部, 2)社会医療法人シマダ嶋田病院 診療部

30P6-073 電子トレーシングレポートを活用し、アナモレリンの処方提案により食事量
の改善がみられた 1 例

○鈴木 祥¹⁾

1)ウエルシア薬局 流山おおたかの森店

30P6-074 院内製剤メトロニダゾール軟膏から後発品ゲル製剤への切り替え時の取り組みについて

○和泉 早智子¹⁾, 臼田 里絵²⁾, 宮崎 美雪²⁾, 千崎 可奈子¹⁾, 加藤 遥平¹⁾

1)医療法人 東札幌病院 薬剤課, 2)医療法人 東札幌病院 看護部

30P6-075 薬剤師によるナッジを取り入れた患者指導とがん患者のスキンケア行動との関連：薬剤師主導ランダム化比較試験のプロトコルおよび活動報告

○伊藤 由佳¹⁾, 鈴木 光路¹⁾, 羽鳥 正浩²⁾, 八木 貴彦³⁾, 宮本 康敬³⁾, 佐藤 聖¹⁾, 渡部 秀一²⁾, 柴田 直樹²⁾, 八木 達也¹⁾, 川上 純一¹⁾

1)浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部, 2)公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部, 3)浜松医療センター 薬剤科

30P6-076 乳がん患者の妊孕性温存について薬剤師が関与した一例

○佐藤 公彦¹⁾, 志保 美月¹⁾, 関口 華乃¹⁾, 小井土 啓一¹⁾, 木村 安希²⁾, 新藤 学¹⁾

1)国立病院機構 横浜医療センター 薬剤部, 2)国立病院機構 横浜医療センター 外科

30P6-077 終末期がん患者の難治性掻痒症にミルタザピンが奏功し QOL 改善につながった一例

○天野 絵里花¹⁾, 藤井 祐次²⁾

1)盛岡友愛病院 薬剤科, 2)盛岡友愛病院 緩和ケア外科

30P6-078 ハロペリドールおよびミダゾラム併用により発症した薬剤性低体温症に対し薬剤師が介入した1例

○林 詩乃^{1,2)}, 神原 諒¹⁾, 山川 拓也²⁾, 早川 太郎¹⁾

1)地方独立行政法人 市立大津市民病院 薬剤部, 2)地方独立行政法人 市立大津市民病院 消化器外科

30P6-079 病状進行によりケミカルコーピングに陥った患者へ介入し、苦痛への包括的アセスメントの重要性を痛感した1例

○富吉 博也¹⁾, 山岡 彩¹⁾, 石原 友貴¹⁾, 脇谷 由美子¹⁾, 藤城 泰磨²⁾, 高橋 元³⁾

1)廿日市記念病院 診療支援部 臨床薬剤科, 2)廿日市記念病院 診療部 呼吸器内科, 3)廿日市記念病院 診療部 外科

ポスター発表7 がん治療と緩和ケア、がん支持療法

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P7-080 造血幹細胞移植患者に対するオピオイド使用状況調査

○立石 健史¹⁾, 山海 陽菜¹⁾, 松矢 宏実¹⁾, 向井 妙子¹⁾, 峠 正義²⁾, 船木 康二郎²⁾, 近藤 恭夫³⁾

1)富山県立中央病院 薬剤部, 2)富山県立中央病院 緩和ケア科, 3)富山県立中央病院 血液内科

30P7-081 訪問診療において抗がん薬注射剤を用いた化学療法を施行した症例の後方視的実態調査

○松下 尚弘¹⁾, 白川 剛¹⁾, 桑山 美幸¹⁾, 八木 一満¹⁾, 阿部 菜保子¹⁾, 美澄 剛生¹⁾, 井崎 美優¹⁾, 鶴田 展大¹⁾

1)医療法人展大会 鶴田クリニック

30P7-082 レストレスレッグス症候群の原因としてオキサリプラチンの末梢神経障害が疑われた一例

○鶴貝 芽衣子¹⁾, 小澤 有輝¹⁾, 西 知彦²⁾, 吉田 理¹⁾

1)一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部, 2)一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 外科

30P7-083 ジヌツキシマブによる顕著な疼痛にプレガバリンの追加が奏功した小児症例

○赤澤 麻衣子^{1,2)}, 重面 雄紀¹⁾, 川勝 和子^{2,3)}, 松山 直美^{2,3)}, 窪田 博仁^{2,4)}, 寺田 智祐¹⁾, 嶋田 和貴^{2,5,6)}

1)京都大学 医学部附属病院 薬剤部, 2)京都大学 医学部附属病院 小児緩和ケアチーム, 3)京都大学 医学部附属病院 看護部, 4)京都大学 医学部附属病院 小児科, 5)京都大学 医学部附属病院 緩和医療科, 6)京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻

30P7-084 オキサリプラチンの過敏反応として発熱のみを生じた一例

○大津 真依^{1,2)}, 小澤 有輝¹⁾, 松田 睦史²⁾, 吉田 理¹⁾

1)一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院 薬剤部, 2)一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院 外科

30P7-085 がん疼痛患者におけるオピオイド鎮痛薬と免疫チェックポイント阻害薬との併用に関する多施設共同後方視的観察研究

○宮里 明芽^{1,9)}, 飛鷹 範明^{2,9)}, 船渡 三結^{3,9)}, 中村 和代^{4,9)}, 大内 竜介^{5,9)}, 淡路 健作^{6,9)}, 青山 隆彦^{7,9)}, 国分 秀也^{8,9)}

1)東京医科大学病院 薬剤部, 2)愛媛大学医学部附属病院 薬剤部, 3)岐阜大学医学部附属病院 薬剤部, 4)静岡県立総合病院 薬剤部, 5)東北医科薬科大学 薬学部 病院薬剤学教室, 6)日本医科大学多摩永山病院 薬剤部, 7) 日本大学 薬学部 臨床薬物動態学研究室, 8) 湘南医療大学 薬学部 臨床薬理学研究室, 9) 日本緩和医療薬学会研究推進委員会

30P7-086 免疫関連有害事象 (irAE) 治療歴を有する終末期がん患者のステロイド治療の実際：単施設後ろ向き観察研究

○永田 圭耶¹⁾, 津田 陽子¹⁾, 北村 和香子¹⁾, 高橋 慧¹⁾, 越川 貴史²⁾

1)医療法人社団 杏順会 越川病院 薬剤部, 2)医療法人社団 杏順会 越川病院 一般内科 / 消化器科 / 緩和ケア科

30P7-087 担がんロングサバイバーへの介入から考える疼痛管理の在り方

○辻 茉莉香¹⁾, 江上 彩映香¹⁾, 塚川 麻利子¹⁾, 五十嵐 文¹⁾, 五十嵐 俊¹⁾, 山本 郁生¹⁾

1)横浜市立市民病院

30P7-088 化学放射線療法実施に伴い、がん性疼痛に対する鎮痛薬の調整に対し薬剤師が積極的に介入した 1 例

○石黒 太造¹⁾, 田瀬 徹¹⁾, 羽鳥 正浩¹⁾, 館合 慶一¹⁾, 山口 正和¹⁾

1)公益財団法人がん研究会 有明病院

30P7-089 治療抵抗性統合失調症患者におけるクロザピン併用下抗がん剤治療に対し、薬剤師介入により精神症状の安定を保ち治療完遂に至った一例

○長戸 大空¹⁾, 白木 小百合¹⁾, 吉田 加代¹⁾, 鎌田 理紗子¹⁾, 酒井 欣嗣²⁾, 竹尾 恵理子¹⁾, 千崎 康司¹⁾, 伊藤 功治¹⁾

1)社会医療法人大雄会 総合大雄会病院 薬剤科, 2)社会医療法人大雄会 大雄会第一病院 薬剤科

30P7-090 タルラタマブ(イムデトラ点滴静注用)初回投与後に IL-6 上昇を伴うサイトカイン放出症候群(CRS)を発現し、原発部位における一過性の疼痛増強を認めた小細胞肺がんの一症例

○武嶋 常^{1,2)}, 饗庭 成美¹⁾, 木澤 隆介⁵⁾, 岩田 英之^{2,6)}, 中尾 真隆¹⁾, 齋藤 善也⁵⁾, 野村 恭子¹⁾, 畠山 禎¹⁾, 渡部 通章^{2,3)}, 斎藤 恭正¹⁾, 鈴木 正泰⁴⁾

1)厚木市立病院 薬剤部門 薬剤科, 2)厚木市立病院 緩和ケアチーム, 3)厚木市立病院 診療部門 外科, 4)厚木市立病院 診療部門 泌尿器科, 5)厚木市立病院 診療部門 呼吸器内科, 6)厚木市立病院 医療技術部門 リハビリテーション技術科

30P7-091 当院における薬剤師のがん患者に関わる業務分担の経過と介入実態調査

○村上 幸恵¹⁾, 桑原 里菜¹⁾, 樋口 理恵¹⁾, 山岸 良寛¹⁾, 山本 剛¹⁾

1)新潟県厚生連上越総合病院 薬剤部

30P7-092 抗がん剤支持療法にて処方されたミロガバリンの中止時期の調査と終末期医療への影響の検討

○宇野 健一¹⁾, 小関 俊成¹⁾

1)岩見沢市立総合病院

30P7-093 悪性リンパ腫に対するビンクリスチン投与による便秘発症リスク因子の検討

○上村 咲菜¹⁾, 石野 由莉¹⁾, 矢部 勝茂¹⁾

1)聖隷浜松病院

30P7-094 アミバンタマブ+ラゼルチニブ治療中の疼痛・皮膚症状に対して ePRO により早期介入した進行期肺腺癌の一例

○八木 貴彦¹⁾, 小澤 雄一²⁾, 平野 公美¹⁾, 瀬尾 未来¹⁾, 中村 拓哉¹⁾, 野木村 藍¹⁾, 鈴木 香帆¹⁾, 丸山 紋子¹⁾, 戸塚 弘幸¹⁾, 藤森 可純¹⁾, 川口 千香¹⁾, 宮本 康敬¹⁾

1)浜松医療センター 薬剤科, 2)浜松医療センター 腫瘍内科 呼吸器内科

30P7-095 Afatinibによる皮膚・粘膜障害管理のための多職種連携と支持療法・薬剤師介入の工夫ならびに症例報告

○成田 綾香¹⁾, 曾根 崇¹⁾

1)石川県立中央病院

30P7-096 がん悪液質に対するアナモレリンの継続に関与する因子の検討

○黒部 健太郎¹⁾, 仲 真美恵¹⁾, 山内 健²⁾, 草葉 一友¹⁾

1)佐賀県医療センター好生館 薬剤部, 2)佐賀県医療センター好生館 小児外科

ポスター発表8 小児、心不全の緩和ケア、ACP、苦痛緩和

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P8-097 NICUにおける拘束性皮膚障害を有する乳児の疼痛管理に経口モルヒネを使用した1症例

○小島 晴美¹⁾, 丸山 真一¹⁾, 平賀 建¹⁾, 南雲 まい¹⁾, 朝倉 有希子¹⁾,
金井 麻子¹⁾, 西村 友希²⁾, 中村 久理子²⁾, 五十嵐 崇¹⁾, 菅野 浩¹⁾

1) 済生会横浜市東部病院 薬剤部, 2) 済生会横浜市東部病院 小児科

30P8-098 緩和病棟におけるミダゾラム持続注射使用開始から終了までの時間及び使用量調査

○日高 幸恵¹⁾, 上垣 千波¹⁾, 別所 加那子¹⁾, 北 愛美¹⁾, 三木 友紀¹⁾,
岡田 麻子¹⁾, 吉岡 有斗¹⁾, 竹本 好成²⁾

1) 西奈良中央病院 薬剤科, 2) 西奈良中央病院 緩和ケア科

30P8-099 心不全における呼吸困難に対するオピオイド導入マニュアルの構築と運用

○山下 大輔¹⁾, 久保田 理恵¹⁾, 竹治 智²⁾, 大岡 千寿子¹⁾, 野淵 孝二¹⁾

1) 市立長浜病院 薬剤局, 2) 市立長浜病院 腫瘍内科

30P8-100 心不全緩和ケアに用いられる薬剤の簡易懸濁法を含む経管投与への適応の可否に関する調査

○宇波 奈央子¹⁾, 伊勢 雄也¹⁾

1) 日本医科大学付属病院

30P8-101 医療療養病棟入院中の終末期心不全患者の治療抵抗性呼吸困難へ塩酸モルヒネ注射液を導入し、症状改善を得た一症例～病棟薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師の協働～

○秋山 幸子¹⁾, 荒井 麻衣¹⁾, 竹山 千晶¹⁾, 後藤 彩奈¹⁾, 北崎 麻美子²⁾

1) 医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院 診療技術部 薬剤科, 2) 医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院 診療部

30P8-102 アドバンス・ケア・プランニングに対する薬剤師心理の質的研究

○竹平 理恵子¹⁾, 正村 優子¹⁾, 有田 悦子¹⁾

1) 北里大学 薬学部 薬学教育研究センター 医療心理学部門

30P8-103 在宅 ACP 支援における薬局薬剤師の関わり～患者の生活の質を優先した緩和ケア薬学管理の 1 症例

○木下 宏美¹⁾, 阿部 洸大²⁾, 伊藤 将²⁾, 月岡 良太²⁾, 長谷川 佳孝²⁾, 大石 美也²⁾

1)株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 神戸永手町店, 2)株式会社アインホールディングス

30P8-104 在宅終末期心不全患者におけるカテコラミン持続投与に薬局薬剤師が関与した一例

○大山 拓也¹⁾

1)協和調剤薬局 本局

ポスター発表9 緩和ケア病棟・緩和ケアチーム

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P9-105 当院緩和ケア病棟における抗精神病薬、新規睡眠薬およびトラゾドンの処方量の変化の調査

○松西 葵¹⁾, 向井 めぐみ¹⁾, 大道 淳二¹⁾, 浅野 志津²⁾, 森 英樹¹⁾

1)岡山赤十字病院 薬剤部, 2)岡山赤十字玉野病院 薬剤課

30P9-106 医療麻薬の静注・皮下注併用オーダー運用についての実態調査

○宮田 知世¹⁾, 滝本 典夫¹⁾, 菅原 さやか¹⁾, 榎原 隆志¹⁾, 江崎 秀樹¹⁾, 傍島 悠¹⁾, 鳥居 昌太¹⁾, 千葉 佐和子¹⁾

1)刈谷豊田総合病院 薬剤部

30P9-107 ハンセン病療養所に従事する看護師に対する緩和ケアの知識、実践、困難感に関する実態調査

○加茂 章弘¹⁾, 笹村 眞由美²⁾, 山下 克也³⁾, 高田 正温¹⁾

1)国立病院機構 鹿児島医療センター 薬剤部, 2)国立療養所 沖縄愛楽園 看護部, 3)国立療養所 星塚敬愛園 薬剤科

30P9-108 緩和ケア外来診察時に同席する薬剤師の役割

○松野 優紀¹⁾, 嶽小原 恵¹⁾, 金剛 圭佑¹⁾, 市原 香織²⁾, 船瀬 満裕佳²⁾, 早川 晶^{2,3)}

1)淀川キリスト教病院 薬剤部, 2)緩和ケアセンター, 3)緩和医療内科

30P9-109 医療用麻薬に抵抗を示す患者に対する緩和ケアチームの関わり

○臼井 崇¹⁾, 野竹 秀幸¹⁾, 曾根 美代子²⁾, 朝日 恵美²⁾, 藤吉 健史³⁾, 浅野 寿利⁴⁾

1)静岡済生会総合病院 薬剤部, 2)静岡済生会総合病院 看護部, 3)静岡済生会総合病院 診療支援部 リハビリテーション科, 4)静岡済生会総合病院 診療部 緩和医療科

30P9-110 緩和ケアチームのデルマトーム評価が脊柱管内髄外造血の診断と治療に貢献した原発性骨髄線維症の一例

○佐藤 美樹¹⁾, 高山 俊輔¹⁾, 石川 真穂²⁾, 内田 望³⁾, 伊藤 護之¹⁾

1)埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部, 2)埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科, 3)埼玉医科大学国際医療センター 支持医療科

30P9-111 当院の緩和チームにおける STAS-J 導入による業務改善の検討

○都司 恵里花¹⁾, 山田 麻里子¹⁾, 松本 芳信¹⁾, 山田 涼子²⁾, 田上 修司³⁾

1)大阪府済生会茨木病院 薬剤科, 2)大阪府済生会茨木病院 看護部, 3)大阪府済生会茨木病院 消化器外科

30P9-112 患者・家族の「家に帰りたい」を支える緩和ケアチームによる訪問診療の取り組み

○佐々木 歩美¹⁾, 奥山 奈穂子¹⁾, 水溜 浩弥^{1,2)}

1)JA 秋田厚生連 平鹿総合病院 緩和ケアチーム, 2)胃腸科内科 高橋クリニック

30P9-113 がん患者と非がん患者における緩和ケアニーズの相違と薬剤師の役割

○佐々木 静香^{1,2)}, 下口谷 貴^{1,2)}, 鈴木 智子⁴⁾, 原口 文彦^{2,3)}, 井藤 達也¹⁾

1)独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院 薬剤部, 2)独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院 緩和ケアチーム, 3)独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院 麻酔科, 4)ほろか薬局

30P9-114 緩和ケアチーム発足による薬剤師介入の変化とその有用性

○脇下 大樹¹⁾, 高田 健司¹⁾, 渡邊 裕太¹⁾, 臼井 理央¹⁾, 後藤 克樹¹⁾

1)神戸掖済会病院 薬剤部

30P9-115 ホスピス病棟での多職種による薬剤自己管理支援体制の構築 ―薬剤自己管理フローチャートを活用した症例報告―

○冲中 厚介¹⁾

1)札幌南徳洲会病院 薬剤部

ポスター発表10 病棟・外来薬剤業務

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P10-116 入院中の医療用麻薬自己管理マニュアルの改訂

○姫野 紘政¹⁾, 島袋 朝太郎¹⁾, 杉本 陽菜¹⁾

1)中頭病院 薬剤部

30P10-117 オピオイド鎮痛薬切り替え時における Excel を用いた投与量自動計算システムの構築と院内普及

○山本 麻千子¹⁾, 柴田 嘉洋¹⁾, 豊田 美咲¹⁾

1)みさと健和病院 薬剤課

30P10-118 ICANS 発症後の抗腫瘍治療選択に対する薬剤師の意思決定支援

○諫見 圭佑¹⁾, 鳥山 陽子¹⁾, 福德 聡²⁾

1)国立病院機構鹿児島医療センター 薬剤部, 2)国立病院機構鹿児島医療センター 血液内科

30P10-119 薬剤師診察前面談により強オピオイド導入が円滑に行えた外来がん患者の2症例

○柘植 友考¹⁾

1)名鉄病院 薬剤部

30P10-120 外来患者におけるがん疼痛薬剤師外来の有用性の検討

○米山 萌¹⁾, 清水 真弓¹⁾, 荒川 大輔¹⁾, 上村 咲菜¹⁾, 船津 妃杜美¹⁾, 鈴木 悠太¹⁾, 矢部 勝茂¹⁾

1)聖隷浜松病院 薬剤部

30P10-121 外来がん治療患者への医師診察の前後での面談状況とトレーシングレポートの運用改善に向けた取り組み

○宮脇 未来¹⁾, 田部井 彰¹⁾, 大野 貴之¹⁾, 後藤 友美子¹⁾, 近野 健一¹⁾

1)国立病院機構 高崎総合医療センター 薬剤部

30P10-122 市立豊中病院における外来での医療用麻薬使用患者に対する取り組み

○藤井 佑紀¹⁾, 相澤 聡子¹⁾, 小平 明美¹⁾, 椎葉 有樹¹⁾, 宇佐美 順子¹⁾

1)市立豊中病院 薬剤部

30P10-123 がん薬物療法体制充実加算導入による薬剤提案の現状

○上田 綾佳¹⁾, 黒岩 勇人¹⁾, 橋本 知樹¹⁾, 仲宗根 千佳¹⁾, 塚本 泰彦¹⁾,
眞継 賢一¹⁾

1)関西電力病院 薬剤部

30P10-124 入院から退院後までシームレスな薬剤師の介入が治療継続と疼痛改善に繋がった一症例

○北川 あさ美¹⁾, 高橋 早織¹⁾, 岩井 大¹⁾

1)東京西徳洲会病院 薬剤部

ポスター発表 1 1 緩和ケアに関連する薬剤業務

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P11-125 入院患者の医療用麻薬の自己管理推進に向けた医療者の意識と課題—緩和医療における多職種調査—

○小林 沙夜子¹⁾, 土田 隼之祐¹⁾, 相澤 智香¹⁾

1)医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院

30P11-126 輸液混注の安定性について

○櫛部 周平¹⁾, 鶴野 なつき¹⁾, 上山 綾音¹⁾, 佐藤 恵亮²⁾, 立浪 良介²⁾,
太田 夏樹²⁾, 桑原 宏昌⁴⁾, 石川 達也³⁾

1)株式会社ケアフェイン 在宅ケア薬局, 2)北海道科学大学, 3)株式会社エスファーマシー,
4)株式会社エスファーマシー 在宅支援薬局おとくに

30P11-127 プレアボイドデータ解析からみた鎮痛薬・緩和医療領域における薬剤師介行動と経験・専門性

○太刀川 悠¹⁾

1)東京女子医科大学附属足立医療センター

30P11-128 緩和ケア外来に薬剤師が同席するための取り組み

○日下部 鮎子^{1,4)}, 伊佐治 麻里子¹⁾, 前田 直大^{1,4)}, 谷岡 哲^{1,4)}, 村上 真貴^{2,4)}, 鶴谷 勝実¹⁾, 和智 純子^{3,4)}

1)小樽市立病院 薬剤部, 2)看護部, 3)麻酔科, 4)緩和ケアチーム

30P11-129 医療用麻薬インシデントの重症化因子の特定とその対策

○米山 悠子¹⁾, 葛谷 真理¹⁾, 今井 視保子¹⁾, 高木 裕介¹⁾, 秋山 真葵¹⁾,
田宮 真一¹⁾, 木全 司¹⁾

1)日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部

30P11-130 医療用麻薬管理業務に関するタスクシフト及び RPA を活用した業務効率化への取り組み

○成田 千津¹⁾, 春原 悠希¹⁾, 川村 恵美¹⁾, 清家 慧¹⁾, 大舘 亜祐¹⁾, 松田 亜莉沙¹⁾, 上野 未樹¹⁾, 富沢 咲良¹⁾, 坂本 好美¹⁾

1)社会医療法人社団三思会 東名厚木病院 薬剤部

30P11-131 緩和ケア病棟における定期処方締切後の薬剤師代行入力業務の導入とそのニーズに関する検討

○船越 康太¹⁾, 吉田 要芽¹⁾, 松本 知子¹⁾, 後藤 渉¹⁾

1)製鉄記念八幡病院 薬剤部

30P11-132 緩和ケアチーム介入におけるポリファーマシーの継時的調査

○水田 康裕¹⁾, 三角 紳博¹⁾, 小園 亜希¹⁾, 齋藤 巨樹¹⁾, 中尾 佳世¹⁾, 馬場 結子¹⁾, 最勝寺 雅広¹⁾, 西嶋 友里乃¹⁾, 大塚 美里²⁾, 榮 達智³⁾

1)独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部, 2)独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター 看護部, 3)独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター 腫瘍内科

30P11-133 オピオイド導入による併用薬剤数変化の実態に関する検討

○関 なつ美¹⁾, 青木 竣哉¹⁾, 君和田 貢¹⁾

1)成田赤十字病院

ポスター発表12 地域連携

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P12-134 Patient Controlled Analgesia (PCA) ポンプ投与で在宅移行後にせん妄を発症した一例

○綿谷 純奈¹⁾, 北田 知里¹⁾, 上田 真隆¹⁾, 畑 裕基¹⁾, 山崎 邦夫¹⁾, 米田 勝晃¹⁾

1)市立奈良病院 薬剤室

30P12-135 腎機能情報共有ツールである腎臓シールによってリリカの過量投与を回避できた症例

○廣瀬 達也¹⁾, 廣瀬 絵里奈¹⁾, 棚瀬 友啓¹⁾

1)たなせ調剤薬局

30P12-136 在宅医療への円滑な移行を目指した退院時薬剤情報提供の充実—在宅療養支援診療所との連携によるテンプレートの構築

○江川 朱季¹⁾, 坂本 麻衣子¹⁾, 向井 晴香¹⁾, 高橋 真一¹⁾, 高澤 千重理¹⁾, 伊東 充¹⁾, 加藤 潤一郎¹⁾, 佐久間 詠理²⁾, 渡邊 淳子²⁾

1)東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 薬剤部, 2)医療法人社団淳友会 わたクリニック

30P12-137 魚津市薬業連携の取組みと外来がん化学療法患者用トレーシングレポートの使用状況

○上島 聖秀¹⁾, 稲村 勝志¹⁾

1)独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院 薬剤部

30P12-138 医療用麻薬の患者指導に関する薬業連携の課題（厚木薬剤師会会員薬局へのアンケート調査より）

○宇井 可奈枝¹⁾, 斎藤 恭正²⁾, 小高 忍²⁾, 岩田 英之³⁾, 渡部 通章⁴⁾, 鈴木 正泰⁵⁾, 野村 恭子¹⁾, 畠山 禎¹⁾

1)厚木市立病院 薬剤科, 2)厚木市立病院 がん相談支援センター, 3)厚木市立病院 リハビリテーション技術科, 4)厚木市立病院 外科, 5)厚木市立病院 泌尿器科

30P12-139 当院における医療用麻薬用トレーシングレポート作成に向けた課題

○渡部 聡子¹⁾, 田中 裕子¹⁾

1)新潟市民病院 薬剤部

30P12-140 在宅療養支援診療所薬剤師の業務を見学し得られた知見と病院薬剤部への応用

○向井 晴香¹⁾, 坂本 麻衣子¹⁾, 江川 朱季¹⁾, 高橋 真一¹⁾, 高澤 千重理¹⁾, 伊東 充¹⁾, 石井 賀津二¹⁾, 加藤 潤一郎¹⁾, 佐久間 詠理²⁾, 渡邊 淳子²⁾

1)東京慈恵会医科大学葛飾医療センター, 2)わたクリニック

30P12-141 医療用麻薬専用トレーシングレポートを活用した薬業連携により、メサドンへの切替を安全に完遂し得た一症例

○秋元 里菜¹⁾, 茂原 圭佑¹⁾, 佐藤 彩佳¹⁾, 奥津 利晃¹⁾, 平島 徹¹⁾

1)東京慈恵会医科大学西部医療センター

ポスター発表13 緩和医療薬学教育

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P13-142 緩和ケア分野における病院薬剤師の知識と学習背景の実態調査

○齋藤 亜利紗¹⁾, 寺館 圭祐¹⁾, 前田 健太¹⁾, 宮崎 公爾¹⁾, 星 貴薫²⁾,
浅利 伸朗¹⁾

1)札幌徳洲会病院 薬剤部, 2)北海道科学大学 薬学部

30P13-143 緩和ケアにおける薬剤師による看護師への教育に関するアンケート調査

○波多江 沙織¹⁾, 藤堂 朱香¹⁾, 町田 聖治¹⁾, 餘永 真奈美²⁾

1)平成紫川会 小倉記念病院 薬剤部, 2)平成紫川会 小倉記念病院 看護部

30P13-144 薬学生の病院実務実習におけるがん疼痛緩和ケア分野の学習効果に関する検討

○渡邊 美菜子¹⁾, 宮崎 雅之¹⁾, 松崎 哲郎¹⁾, 溝口 博之¹⁾, 池末 裕明¹⁾

1)名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

30P13-145 高校生を対象としたカード学習教材を用いたがん教育の実施およびその教育効果の評価

○千葉 ゆうか¹⁾, 石黒 聖悟¹⁾, 河内 正二¹⁾, 横山 郁子¹⁾

1)神戸薬科大学

30P13-146 大麻事犯の現状と今後の課題

○関本 明子¹⁾, 上島 健太郎¹⁾, 福島 栄¹⁾

1)日本大学 医学部 附属 板橋病院 薬剤部

30P13-147 研修医を対象としたACP教育セミナーの内容と認識の変化 —緩和ケアに携わる薬剤師による実践報告—

○相澤 康子¹⁾

1)公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立市民病院 薬剤部

30P13-148 「がん患者の代謝変化と栄養管理について、多職種の見点を交えてディスカッションするワークショップ（第18回日本緩和医療薬学会年会）」の成果報告

○茂木 孝裕¹⁾，相良 克海²⁾，鈴木 慶介³⁾，熊谷 琴美⁴⁾，吉田 貞夫⁵⁾，竹迫 秀和⁶⁾

1)草加市立病院 薬剤部，2)吉川中央総合病院 薬剤科，3)台東区立台東病院 老人保健施設千束，4)愛知学院大学 健康科学部 健康栄養学科，5)ちゅうざん病院 副院長，6)鹿児島市立病院 薬剤部

30P13-149 緩和ケアにおける薬局薬剤師育成を目的とした短期実地研修の実施

○茂木 孝裕¹⁾，相良 克海²⁾，鈴木 慶介³⁾，熊谷 琴美⁴⁾，吉田 貞夫⁵⁾，竹迫 秀和⁶⁾

1)草加市立病院 薬剤部，2)吉川中央総合病院 薬剤科，3)台東区立台東病院 老人保健施設千束，4)愛知学院大学 健康科学部 健康栄養学科，5)ちゅうざん病院 副院長，6)鹿児島市立病院 薬剤部

30P13-150 緩和ケアにおける薬剤師の活動に対する新人薬剤師の意識調査

○星野 剛史¹⁾，木下 史一¹⁾，柳下 昂太¹⁾，植松 卓也¹⁾

1)順天堂大学医学部附属静岡病院 薬剤科

30P13-151 卒後教育における緩和ケア研修プログラムの実践

○坪谷 綾子^{1,2)}，徳永 愛美^{1,2)}，市倉 大輔^{1,2)}，島守 知子³⁾，山田 佐世子⁴⁾，西木戸 修⁴⁾，岡本 健一郎⁴⁾，縄田 修一^{1,2)}

1)昭和医科大学横浜市北部病院 薬剤部，2)昭和医科大学 薬学部 病院薬剤学講座，3)昭和医科大学横浜市北部病院 看護部，4)昭和医科大学横浜市北部病院 緩和医療科

30P13-152 急性期病院と地域包括ケア病院での緩和薬物療法認定薬剤師の活動報告

○宮永 幸実¹⁾

1)神奈川県済生会横浜若草病院

30P13-153 国立がん研究センター東病院における緩和医療専門薬剤師の施設外研修報告：新制度の導入の実際と課題について

○阿部 健太郎¹⁾，餅原 弘樹²⁾，五十嵐 隆志¹⁾，酒向 あずみ¹⁾，中西 芽衣¹⁾，小田 亜貴子¹⁾，古川 洗平¹⁾，三浦 智史³⁾，龍島 靖明¹⁾，近藤 直樹¹⁾

1)国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 薬剤部，2)医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック，3)国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 緩和医療科

30P13-154 がん教育における外部講師活用に対する障壁調査

○芝崎 由美子^{1,6)}, 伊藤 剛貴^{2,6)}, 川田 亮^{3,6)}, 中山 季昭^{4,6)}, 佐野 元彦^{5,6)}

1)さいたま市民医療センター 薬剤科, 2)草加市立病院 薬剤部, 3)羽生総合病院 薬局, 4)埼玉県立がんセンター 薬剤部, 5)星薬科大学 臨床薬学研究室 III, 6)埼玉がん薬物療法研究会(SSOP)

ポスター発表14 医療経済、流通

5月30日(土) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説① 16:00-17:00 演題番号【奇数】

ポスター示説② 17:00-18:00 演題番号【偶数】

30P14-155 北里大学病院における医療用麻薬廃棄額の現状調査

○武道 涼平^{1,2)}, 本間 雅士¹⁾, 平塚 公己¹⁾, 中込 梢¹⁾, 川村 充史¹⁾, 熊田 柚月¹⁾, 川野 千尋²⁾, 金井 昭文³⁾, 尾鳥 勝也^{1,2)}

1)北里大学病院 薬剤部, 2)北里大学 薬学部, 3)北里大学 医学部附属新世紀医療開発センター

30P14-156 当センターにおけるジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用状況調査

○高橋 愛未¹⁾, 松岡 里枝¹⁾, 友井 理恵子¹⁾, 木村 貴¹⁾, 木澤 成美¹⁾, 山東 真寿美¹⁾

1)地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター 薬局

30P14-157 医療用麻薬流通の問題点と解決策に関する、薬剤師・医師・卸業者への質的調査

○川添 哲嗣¹⁾, 堀内 若奈²⁾, 藤田 健二³⁾, 渡邊 文之²⁾

1)武庫川女子大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター, 2)日本大学 薬学部 地域医療薬学研究室, 3)シドニー大学 医学・健康学部 Kolling 医学研究所

30P14-158 当院における医療用麻薬の処方動向

○小嶋 恭平¹⁾, 土橋 和久¹⁾, 中込 尉哲¹⁾

1)公益財団法人 山梨厚生会 山梨厚生病院 薬剤室

30P14-159 緩和ケア病棟における死亡前2週間の薬剤使用状況に関する実態調査

○松岡 未紗¹⁾, 後藤 義之¹⁾, 森戸 敏志¹⁾

1)石川県済生会金沢病院 薬剤部

30P14-160 フェンタニル注射液出荷制限に伴う薬剤選択の変化と医療費への影響

○三浦 伸晃¹⁾, 小倉 次郎¹⁾, 山口 亜耶子¹⁾, 兼平 幸宗¹⁾, 松浦 優²⁾,
飯澤 和恵^{2,3)}, 外山 裕章²⁾, 山口 浩明¹⁾

1)山形大学医学部附属病院 薬剤部, 2)山形大学医学部附属病院 麻酔科, 3)山形大学医学部
附属病院 疼痛緩和内科

30P14-161 当院における持参麻薬廃棄の実態調査と課題

○鈴木 貴洋¹⁾, 太田 妃香¹⁾, 尾形 勉¹⁾

1)医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

ポスター発表15 疼痛マネジメント

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P15-162 外来がん化学療法患者の疼痛コントロールへの薬局薬剤師の介入が患者の
QOL 向上に功を奏した一症例

○柴田 富美子¹⁾, 永野 悠馬²⁾, 前田 守²⁾, 月岡 良太²⁾, 長谷川 佳孝²⁾,
大石 美也²⁾

1)株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 川口店, 2)株式会社アインホールディングス

31P15-163 慢性腸管 GVHD に伴う神経障害性疼痛に対し緩和ケアチームが介入した一例

○加藤 あゆみ¹⁾, 福島 与詩香¹⁾, 金澤 裕子¹⁾, 矢島 領¹⁾, 岡村 由美子²⁾,
井熊 優香³⁾, 保利 陽子⁴⁾, 岩崎 雅江⁴⁾

1)日本医科大学付属病院薬剤部, 2)日本医科大学付属病院看護部, 3)日本医科大学付属病院麻
酔科, 4)日本医科大学付属病院緩和ケア科

31P15-164 ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用実態調査

○澁谷 恵美子¹⁾

1)IHI 播磨病院 薬剤科

31P15-165 大腸全摘後の下痢による肛門潰瘍に対する疼痛に対してのマネジメントに難
渋した一例

○坂井 隆太^{1,5)}, 田中 りかえ^{1,5)}, 鎌田 千秋^{2,5)}, 家守 愛²⁾, 杉本 龍士
郎^{3,5)}, 村尾 直樹⁴⁾

1)国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 薬剤科, 2)国家公務員共済組合連合会 呉共済病
院 看護部, 3)国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 呼吸器外科, 4)国家公務員共済組合
連合会 呉共済病院 外科, 5)国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 緩和ケアチーム

31P15-166 メサドン内服中に増悪した体動時突出痛の再評価により前皮神経絞扼症候群
と診断された一例

○畝本 由貴^{1,2)}, 萬光 沙紀^{1,2)}, 佐藤 一求^{1,2)}, 別所 千枝^{1,2)}, 中布 龍一
^{2,3)}, 小田原 めぐみ²⁾, 藤原 ちえみ²⁾, 中上 小百合²⁾, 則行 敏生²⁾

1)JA 広島厚生連 尾道総合病院 薬剤科, 2)JA 広島厚生連 尾道総合病院 緩和ケアチーム,
3)JA 広島厚生連 尾道総合病院 麻酔科

31P15-167 がん性疼痛に対するジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用実態調
査

○菅 詩歩¹⁾, 森本 詩乃¹⁾, 植田 有希¹⁾, 富士 芳美¹⁾, 口分田 章典¹⁾,
藤田 敬子¹⁾

1)地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター

31P15-168 当院におけるジクトルテープの使用実態調査

○今牧 健一郎¹⁾

1)埼玉県 済生会 川口総合病院

31P15-169 がん疼痛に対するジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用状況調査

○蓮井 萌¹⁾, 林 恵里¹⁾, 木村 友美¹⁾, 岡野 愛子¹⁾

1)高松赤十字病院 薬剤部

31P15-170 ケタミン注からメサドン錠へ切り替えて、在宅移行が可能となった一症例

○横田 有希¹⁾, 武藤 芳和¹⁾, 菊地 洋平¹⁾, 渡部 寿康¹⁾

1)福島赤十字病院

31P15-171 頸部リンパ節転移を伴う舌癌でコントロール不良の疼痛に対してケタミン注
を使用した症例

○重元 萌子¹⁾, 平石 禎子²⁾, 杉浦 美恵子²⁾, 高尾 斎昭¹⁾, 林 由紀子¹⁾,
大沢 幸嗣¹⁾, 並木 路広¹⁾

1)東京通信病院 薬剤部, 2)東京通信病院 麻酔科

ポスター発表16 オピオイド鎮痛薬

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P16-172 外来通院下で高用量オキシコドンからメサドン併用での疼痛コントロールへ移行した一例

○森 祥史¹⁾, 仲野 宏紀¹⁾, 島内 美紀²⁾, 井後 彩加¹⁾, 折方 琴音¹⁾, 小玉 美希子¹⁾, 植田 裕美¹⁾, 中野 一也¹⁾, 櫛田 宏幸¹⁾, 佐光 留美¹⁾, 川村 知裕³⁾

1)国立病院機構 大阪南医療センター 薬剤部, 2)国立病院機構 大阪南医療センター 看護部, 3)国立病院機構 大阪南医療センター 緩和ケア内科

31P16-173 疼痛コントロール不良により在宅復帰に難渋した乳がん術後再発患者に介入した経験

○梅村 弘毅¹⁾

1)重工記念長崎病院 薬剤部

31P16-174 長岡赤十字病院におけるメサペイン使用実態について

○近藤 祐也¹⁾, 小島 佳浩¹⁾

1)長岡赤十字病院 薬剤部

31P16-176 医療用麻薬の使用に不慣れな高齢者医療に特化した病院で、薬剤師の介入により自宅退院することができた1例

○草信 晴美¹⁾, 丹下 真由²⁾, 矢部 佑香里²⁾, 藤原 真亜子²⁾, 滝波 昇悟¹⁾, 監物 英男²⁾

1)川崎医科大学高齢者医療センター, 2)川崎医科大学総合医療センター

31P16-177 メサドンから他オピオイドへの切り替えにおける換算比率の検討

○宮城 明実¹⁾, 高科 嘉章¹⁾, 石塚 雅人¹⁾, 栗原 啓輔¹⁾, 中道 秀徳¹⁾

1)聖隷三方原病院 薬剤部

31P16-178 フェンタニル注供給低下時における疼痛管理の工夫 ―当院で経験した2症例の報告―

○岩下 航平¹⁾, 保ヶ辺 美月¹⁾

1)国際医療福祉大学成田病院 薬剤部

31P16-179 当院におけるヒドロモルフォン徐放錠の使用状況

○萩原 里美¹⁾, 畑 加奈子¹⁾, 久保田 丈太¹⁾, 佐藤 彰洋²⁾, 細瀧 喜代志³⁾

1)くまもと県北病院 薬剤部, 2)くまもと県北病院 総合診療科, 3)くまもと県北病院 外科

31P16-180 フェンタニル舌下錠用量調節期の対応について

○山田 桃佳¹⁾, 伊藤 健一郎¹⁾, 仁平 幸子¹⁾, 吉田 直弘¹⁾

1)社会福祉法人恩賜財団済生会支部 茨城県済生会 龍ヶ崎済生会病院 薬剤部

31P16-181 オピオイド皮下注射の速度変更により疼痛コントロールが改善した症例

○伊藤 優花¹⁾, 丸山 昌広¹⁾

1)社会医療法人 明陽会 成田記念病院

31P16-182 当院におけるメサドン塩酸塩の使用状況に関する調査

○鈴木 利規¹⁾, 佐藤 文美¹⁾, 上杉 拓弥¹⁾, 寺澤 美琴¹⁾

1)豊橋市民病院

31P16-183 オピオイド使用歴のない肝機能低下患者への添付文書量のヒドロモルフォン注開始により傾眠や呂律困難を認め、減量により改善が見られた症例

○有富 航平¹⁾, 島内 柊人²⁾, 畑瀬 圭佐¹⁾

1)地方独立行政法人大牟田市立病院 薬剤部, 2)地方独立行政法人大牟田市立病院 内科

31P16-184 高用量ヒドロモルフォン内服から持続皮下注への変更で用量適正化を経験した一例

○佐藤 麻理¹⁾, 岩井 峻一¹⁾, 畠山 朋樹¹⁾

1)戸田中央総合病院

31P16-185 当院のメサドン使用実態調査と今後の課題

○宇野 恵梨子^{1,2)}, 邑岡 俊明^{1,2)}, 上池 和子^{1,2)}, 古郡 夏子²⁾, 永野 江里子²⁾, 溝渕 美智子²⁾, 西川 薫²⁾, 神原 哲也²⁾

1)高知赤十字病院 薬剤部, 2)高知赤十字病院 緩和ケアチーム

31P16-186 当院の販売中止までのタベンタドールのスイッチングの調査

○平川 寛之¹⁾, 鈴木 直人¹⁾, 岡田 浩司^{1,2)}

1)東北医科薬科大学病院 薬剤部, 2)東北医科薬科大学 病院薬剤学教室

31P16-187 ベースオピオイドの導入提案とフォローアップにより疼痛コントロールに寄与した一例

○木村 尚統¹⁾, 寺山 香織²⁾

1)なの花東日本 なの花薬局さつき店, 2)なの花東日本 人材開発部

31P16-188 精神疾患を有し疼痛評価が困難な乳がん患者に対し、薬学的介入により周術期にオピオイド中止が可能であった一症例

○天間 歩¹⁾, 宇野 健一¹⁾, 佐藤 香奈²⁾

1)岩見沢市立総合病院 薬剤部, 2)岩見沢市立総合病院 看護部

31P16-189 腎機能低下患者に対する当院でのモルヒネ注射の使用状況

○畑 加奈子¹⁾, 萩原 里美¹⁾, 細瀧 喜代志²⁾, 久保田 丈太¹⁾, 佐藤 彰洋³⁾

1)一般地方独立行政法人 くまもと県北病院 薬剤部, 2)一般地方独立行政法人 くまもと県北病院 外科, 3)一般地方独立行政法人 くまもと県北病院 総合診療科

31P16-190 新薬ヒドロモルフォンの客観的評価の試み

○山田 晶子¹⁾, 青木 彩夏¹⁾, 井上 汐音¹⁾, 竹村 純佳¹⁾, 馬目 亜季¹⁾, 遊佐 茜¹⁾, 畠山 奈美¹⁾, 秋山 祐子¹⁾, 清水 瑠衣¹⁾, 斎藤 顕宜²⁾, 出雲 貴文¹⁾, 小茂田 昌代¹⁾

1)医療法人徳洲会 千葉西総合病院, 2)東京理科大学 薬学部

31P16-191 アヘン系オピオイドアレルギーを有する患者がフェンタニル注と貼付剤を組み合わせ難治性疼痛管理を行った一症例

○田村 有美^{1,2)}, 大川 裕子^{1,2)}, 澤井 麻記^{1,2)}, 岩根 裕紀^{1,2)}, 漣 航平²⁾, 福島 文子¹⁾, 清水 正樹¹⁾, 小林 由佳²⁾

1)社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 緩和ケアチーム, 2)社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 薬剤科

31P16-192 腎不全患者に対する緩和ケア診療の実態調査

○西山 由紀子¹⁾, 田代 匠¹⁾, 中出 恵里奈¹⁾, 山田 桃子¹⁾, 山森 ゆみ²⁾, 安達 尚哉¹⁾, 山本 吉章¹⁾, 小室 龍太郎³⁾, 八田 裕之¹⁾

1)国立病院機構 金沢医療センター, 2)国立病院機構 金沢医療センター 看護部, 3)国立病院機構 金沢医療センター 緩和ケア内科

ポスター発表17 オピオイドスイッチング、タイトレーション

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P17-193 呼吸抑制を伴う高用量モルヒネ使用患者に対して、薬剤師介入により適切に減量できた1例

○林 克剛¹⁾, 田仲 光¹⁾, 江刺 晶央¹⁾, 武田 郁央²⁾, 清川 裕道²⁾, 猪岡 京子¹⁾

1)宮城県立がんセンター, 2)宮城県立がんセンター 緩和医療内科

31P17-194 神経障害性疼痛を有するがん患者におけるオピオイドスイッチング後の疼痛コントロールの検討

○大城 美希¹⁾, 井幡 圭佑¹⁾, 花房 美穂¹⁾, 小林 正司¹⁾, 寺本 有里¹⁾, 藤尾 みどり¹⁾, 村田 久枝¹⁾

1)社会医療法人大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院

31P17-195 終末期にメサドンとヒドロモルフォンからモルヒネ塩酸塩注射液に切り替えた1症例

○山崎 智世¹⁾, 堀越 久仁恵¹⁾, 豊田 真史¹⁾, 黒木 あかね¹⁾, 櫻谷 陽一¹⁾, 宮城 昌子¹⁾, 城田 幹生¹⁾

1)東京都立病院機構 東京都立豊島病院 薬剤科

31P17-196 当院におけるオピオイドスイッチングの実態調査

○増山 翠¹⁾, 沼生 千秋¹⁾, 石塚 和美¹⁾, 眞原 達男¹⁾

1)地方独立行政法人 新小山市市民病院

31P17-197 ترامドールから強オピオイドへの切り替えにおける換算比の検討 ―がん性疼痛患者を対象とした後ろ向き観察研究―

○田中 志遠¹⁾, 山本 泰大¹⁾, 田中 慶二²⁾, 松浦 克彦²⁾, 浦野 公彦²⁾, 和田 翔²⁾, 出口 裕子¹⁾

1)小牧市民病院, 2)愛知学院大学 薬学部

31P17-198 メサドン舌下投与にて疼痛コントロールを行った一例

○石野 愛弓¹⁾, 村上 とよみ¹⁾, 佐野 篤¹⁾

1)耳原総合病院

31P17-199 薬剤師の介入により、フェンタニルクエン酸塩貼付剤からのオピオイドスイッチングによって疼痛軽減が得られた1例

○池上 孝明¹⁾, 堀尾 美世¹⁾, 黒澤 凛²⁾, 牛島 智子¹⁾, 稲葉 恵²⁾

1)国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 薬剤科, 2)国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 呼吸器内科

31P17-200 高用量オピオイドスイッチングを複数回実施し疼痛コントロールに難渋した一例

○山岡 美聖¹⁾, 守作 美咲¹⁾, 岩崎 仁志¹⁾, 石川 絵理奈¹⁾, 蟹江 孝樹¹⁾, 伊藤 佳織^{1,2)}, 牧原 俊康¹⁾, 小出 欣和³⁾, 臼井 正信³⁾, 山田 成樹¹⁾

1)藤田医科大学病院 薬剤部, 2)名城大学 薬学部, 3)藤田医科大学医学部 外科・緩和医療学

31P17-201 メサドン上乘せ(add-on)により先行オピオイドを減量し得た一例

○平山 大樹¹⁾, 大野 凛太郎¹⁾, 石井 幹世¹⁾

1)済生会宇都宮病院

31P17-202 当院におけるトラマドール・アセトアミノフェン配合錠から強オピオイドへの換算量に関する後方視的検討

○杉田 昌子¹⁾, 井上 巳喜子²⁾, 土田 ルリ子²⁾

1)社会医療法人同心会 古賀総合病院 薬剤部, 2)社会医療法人同心会古賀総合病院 看護部

31P17-203 オピオイドスイッチングにおける投与量と介入職種についての後方視的調査

○船水 祐里¹⁾, 米村 匡平¹⁾, 嶽間澤 拓也¹⁾, 佐々木 宣好¹⁾, 伊藤 由美²⁾

1)盛岡市立病院 薬剤部, 2)盛岡市立病院 看護科

31P17-204 当院緩和ケア病棟におけるメサドンの使用実績 —多職種連携及び薬剤師の介入による安全性と経済性の評価—

○山岡 沙織¹⁾, 相良 克海¹⁾, 海老根 卓也¹⁾

1)吉川中央総合病院 薬剤科

31P17-205 喫煙状況の変化がオキシコドンの用量調整に影響した一例

○武富 海志¹⁾, 金城 遥奈¹⁾, 譜久原 朝也¹⁾, 上門 由梨奈¹⁾, 國分 千代¹⁾

1)社会医療法人友愛会 友愛医療センター 薬剤科

31P17-206 モルヒネ塩酸塩の持続皮下投与による硬結に対しヒドロモルフォン塩酸塩への変更が有効であった一例

○中丸 和則¹⁾, 湯川 仁²⁾

1)仁天堂薬局 戸塚町店, 2)仁天堂薬局 本店

ポスター発表18 鎮痛薬の副作用

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P18-207 オキシコドン導入時における併用薬剤の総抗コリン薬負荷スコアがおよぼす便秘とせん妄への影響

○畠山 智明¹⁾, 大森 悠翔¹⁾, 檜山 美春¹⁾, 玉木 慎也¹⁾

1)KKR 札幌医療センター

31P18-208 がん性疼痛患者におけるナルデメジン開始タイミングと排便回数の変化

○川田 彩季¹⁾, 福島 みなみ¹⁾, 新海 愛子¹⁾, 矢島 功¹⁾, 井上 博章¹⁾

1)防衛医科大学校病院

31P18-209 オピオイド鎮痛薬使用時の副作用対策として選択される便秘薬に関する使用状況調査

○沼田 奈央子¹⁾, 鈴木 大吾¹⁾, 有馬 亮輔¹⁾, 高橋 由加利¹⁾, 中村 敏史¹⁾, 坂田 洋¹⁾, 服部 芳明¹⁾

1)春日井市民病院 薬剤局薬剤科

31P18-210 ナルデメジンの使用実態調査

○藤原 真亜子¹⁾, 丹下 真由¹⁾, 矢部 佑香里¹⁾, 草信 晴美^{1,2)}, 監物 英男¹⁾

1)川崎医科大学総合医療センター 薬剤部, 2)川崎医科大学高齢者医療センター 薬剤室

31P18-211 ترامadolからヒドロモルフォン製剤へ変更したがん患者の中樞抑制への影響の調査報告

○尾形 美絵¹⁾, 近藤 和宏¹⁾, 羽生 智宏¹⁾, 新関 みどり¹⁾, 長澤 欣弘¹⁾, 中村 慎一郎¹⁾, 鈴木 美裕¹⁾, 田村 和彦¹⁾

1)大分県済生会日田病院 薬剤部

31P18-212 がん患者におけるミロガバリン及びプレガバリン投与時の眠気に及ぼす因子に関する研究

○小池 慶彦^{1,2)}, 相川 さやか²⁾, 吉田 小百合²⁾, 田畑 ひろみ²⁾, 林 美貴子²⁾, 貫井 勇介²⁾, 今川 貴仁^{1,2)}, 千葉 達夫¹⁾, 白根 尚子¹⁾, 木村 麗砂¹⁾, 日浦 寿美子¹⁾, 小林 加寿子¹⁾

1)東邦大学 医療センター 大橋病院 薬剤部, 2)東邦大学 医療センター 大橋病院 緩和ケアチーム

31P18-213 ケミカルコーピングに対し代替薬と精神的ケアでオピオイド鎮痛薬の不適切使用を改善することができた症例

○東江 海都¹⁾

1)沖縄協同病院

31P18-214 キャンサーフリー後の慢性疼痛治療からオピオイド依存となり重複受診を来した一症例

○熊井 正貴^{1,2)}, 敦賀 健吉²⁾, 山口 優花^{1,2)}, 加藤 信太郎¹⁾, 西田 真理²⁾, 山本 円香²⁾, 三浦 基嗣²⁾, 武隈 洋¹⁾, 菅原 満¹⁾

1)北海道大学病院 薬剤部, 2)北海道大学病院 緩和ケアチーム

31P18-215 オピオイド誘発性神経障害(OIN)によりオピオイド用量調節に苦渋した一例

○石嶋 麗¹⁾, 長尾 嘉真¹⁾, 林田 悠佳¹⁾, 武井 颯¹⁾, 長山 佳之¹⁾, 福富寿展²⁾, 軍司 剛宏¹⁾

1)国立病院機構 東京医療センター 薬剤部, 2)国立病院機構 東京医療センター 緩和ケア内科

31P18-216 オピオイド誘発性痛覚過敏を疑い、オピオイドスイッチングにより疼痛緩和が得られた一症例

○林田 悠佳¹⁾, 石嶋 麗¹⁾, 武井 颯¹⁾, 長山 佳之¹⁾, 長尾 嘉真¹⁾, 福富寿典²⁾, 軍司 剛宏¹⁾

1)国立病院機構東京医療センター 薬剤部, 2)国立病院機構東京医療センター 緩和ケア内科

31P18-217 疼痛コントロールにおいてアセトアミノフェン錠が原因で全身性皮疹を生じた症例

○南里 本¹⁾, 小杉 寿文²⁾, 池田 智子²⁾, 久保 麻悠子²⁾, 柳瀬 正平³⁾, 草葉 一友¹⁾

1)佐賀県医療センター好生館 薬剤部, 2)佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科, 3)佐賀県医療センター好生館 皮膚科

ポスター発表19 痛み以外の症状マネジメント

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P19-218 投与経路選択に難渋した膀胱癌患者の悪心に対するデキサメタゾン皮下投与例

○浦川 聖菜¹⁾, 大谷 拓也¹⁾, 荘山 咲智子¹⁾, 畠山 愛珠¹⁾, 室岡 邦彦¹⁾, 高瀬 久光¹⁾

1)順天堂大学医学部附属浦安病院

31P19-219 小脳転移に伴う悪心嘔吐に対しヒドロキシジン注で症状緩和を図った一症例

○上之園 咲^{1,2)}, 鳥山 陽子¹⁾, 加茂 章弘^{1,2)}, 馬籠 さつき²⁾, 松崎 勉²⁾

1)国立病院機構 鹿児島医療センター 薬剤部, 2)国立病院機構 鹿児島医療センター 緩和ケアチーム

31P19-220 非がん患者の呼吸困難に対するモルヒネ塩酸塩注使用の実態調査

○横山 あずさ¹⁾, 島本 一志^{3,6)}, 大日方 瞳^{2,6)}, 寺澤 知子⁴⁾, 三井 奈緒^{1,6)}, 永尾 美智瑠^{1,6)}, 佐々木 康⁵⁾, 田中 広紀^{1,6)}, 藤原 久登^{2,6)}

1)昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 薬局, 2)昭和医科大学藤が丘病院 薬剤部, 3)昭和医科大学病院 薬剤部, 4)昭和医科大学藤が丘病院 看護部, 5)昭和医科大学藤が丘病院 産婦人科, 6)昭和医科大学薬学部 病院薬剤学講座

31P19-221 非癌性難治性疼痛に対するケタミン使用により症状改善を認めた一例

○柳下 昂太¹⁾

1)順天堂大学医学部附属静岡病院 薬剤科

31P19-222 サージカル手袋圧迫療法下でのアルブミン懸濁型パクリタキセルによる化学療法誘発性末梢神経障害の発現時期及び重症度の評価

○藤田 淳志¹⁾, 米北 浩人¹⁾, 津野 侑子¹⁾, 今村 惟果¹⁾, 中村 英治¹⁾

1)山口県済生会下関総合病院 薬剤部

31P19-223 他院で継続処方されていたベンゾジアゼピン(BZ)系薬剤を入院中に減量・中止し、重症筋無力症(MG)の急性増悪を回避した1症例

○宮沢 祐太¹⁾, 菊田 奨之¹⁾, 柴 さや香¹⁾, 須田 奈美¹⁾, 塩田 祐子²⁾, 川久保 孝¹⁾

1)東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部, 2)緩和ケア診療部

31P19-224 せん妄を有するがん患者に対するブレクスピプラゾール（レキサルティ）の有効性・安全性

○山岸 由佳¹⁾, 山本 泰大¹⁾, 田中 志遠¹⁾, 出口 裕子¹⁾

1)小牧市民病院 薬局

31P19-225 易怒性に対し抑肝散・クエチアピン・オピオイド鎮痛薬の調整で対応した一例

○上西 真理子¹⁾, 皆元 文恵¹⁾, 稲員 慎¹⁾, 梅田 勇一¹⁾

1)飯塚病院 薬剤部

31P19-226 せん妄に対するアセナピンの使用に関する文献調査

○三浦 篤史¹⁾, 宮下 貴浩¹⁾

1)JA 長野厚生連 佐久総合病院 薬剤部

31P19-227 当院における高用量骨吸収抑制薬（ARA）導入時の事前歯科紹介実施状況調査

○草野 由記美¹⁾, 中西 真之¹⁾, 田中 歩¹⁾, 廣岡 賢輔¹⁾, 西村 清孝¹⁾, 米田 栄子¹⁾, 小寺 悟¹⁾, 大竹 史浩²⁾

1)鳥取赤十字病院 薬剤部, 2)鳥取赤十字病院 歯科口腔外科

31P19-228 緩和ケア病棟入院患者における錠剤嚥下困難感の把握 —PILL-5を用いた薬剤師初回面談の検討—

○後藤 義之¹⁾, 松岡 未紗¹⁾, 角 紀一郎¹⁾, 清水 翔子¹⁾, 森戸 敏志¹⁾

1)石川県済生会金沢病院

31P19-229 化学療法による有害事象と自己対策

○堀 敦雄¹⁾, 高木 麻衣¹⁾, 杉江 善樹¹⁾

1)長浜赤十字病院 薬剤部

31P19-230 アナモレリン開始後の高血糖に対して持効型インスリンイコデクに FGM を併用し投与を継続し得た一例

○市川 有未¹⁾, 小川 大介¹⁾, 松田 忠和²⁾

1)医療法人天和会 松田病院 診療支援部 薬剤科, 2)医療法人天和会 松田病院 外科

31P19-231 肺がん患者でのアナモレリン導入時 PNI と投与継続性および導入後生存期間の検討

○宮部 貴識¹⁾, 間 麻里¹⁾, 西田 神奈¹⁾, 野崎 美紀¹⁾, 稲石 千陽¹⁾, 寺内 涼音¹⁾, 塚谷 真由¹⁾, 藤井 大和¹⁾, 水津 智樹¹⁾

1)国立病院機構大阪刀根山医療センター

31P19-232 アナモレリン早期導入後、食欲不振改善と体重増加となった1例

○大槻 明日香¹⁾, 近藤 智幸¹⁾, 簗島 弓未子¹⁾, 西村 栄一¹⁾, 荻野 健吾¹⁾

1)旭川赤十字病院 薬剤部

31P19-233 膵頭部癌患者の食欲不振に対して血糖管理を行いながらアナモレリンを導入した結果食事摂取量の改善が得られ自宅退院に繋がった症例

○加美山 遼^{1,2)}, 田 紗永子^{1,2)}, 大貫 敏明¹⁾, 吉田 佳織²⁾, 五十嵐 礼奈²⁾, 大原 泰斗²⁾, 笹本 果穂²⁾, 國安 弘樹²⁾, 矢嶋 美樹²⁾

1)AMG 船橋総合病院 薬剤科, 2)AMG 船橋総合病院 PCT

31P19-234 腎機能低下を伴うエンホルツマブ ベドチンおよびペムブロリズマブ投与中の掻痒感に対し、薬剤師介入による支持療法が奏功した一例

○鈴木 悠里¹⁾, 石井 友也¹⁾, 木村 純子¹⁾, 漆原 爽稀²⁾, 黒川 友博³⁾

1)公益財団法人ときわ会 常磐病院 薬剤部, 2)公益財団法人ときわ会 常磐病院 泌尿器科, 3)公益財団法人ときわ会 常磐病院 外科

31P19-235 独立型ホスピスでの褥瘡軟膏に関する意識調査および院内使用方針策定

○菅田 佳子¹⁾, 堀 美保¹⁾, 徳永 亜希子²⁾, 小林 理絵²⁾, 堺 千代²⁾, 久松 靖史³⁾, 中野 美紀³⁾, 一万田 正彦³⁾

1)医療法人明和会 大分ゆふみ病院 薬剤部, 2)看護部, 3)医局

31P19-236 がん患者における非ステロイド性抗炎症薬使用が悪性腹水に及ぼす影響

○森 あさひ¹⁾, 飯田 真之¹⁾, 大村 友博¹⁾, 高橋 美賀¹⁾, 志田 有里¹⁾, 伊藤 雄大¹⁾, 糸原 光太郎¹⁾, 北廣 優実¹⁾, 矢野 育子¹⁾

1)神戸大学 医学部 附属病院 薬剤部

31P19-237 抗精神病薬投与下の高齢認知症患者が術後に呈した急性ジストニアに対し薬剤師介入が有用であった一例

○山本 貴一¹⁾, 村田 智弘¹⁾, 永野 万菜香¹⁾, 秦 晃二郎¹⁾, 宮津 大輔¹⁾, 田中 博和¹⁾, 渡邊 裕之¹⁾

1)医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 薬剤部

31P19-238 当院緩和ケア病棟における終末期がん患者の治療抵抗性の苦痛に対する持続的鎮静の施行状況調査～適正な鎮静を目指して～

○宮武 望¹⁾, 長谷川 喜一²⁾, 岡部 崇記²⁾, 池田 和世³⁾, 佃 博²⁾

1)和泉市立総合医療センター 看護部, 2)和泉市立総合医療センター 腫瘍内科, 3)和泉市立総合医療センター 緩和医療科

ポスター発表20 終末期ケア、苦痛緩和

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P20-239 一般病棟における終末期がん患者の鎮静の施行状況に関する後方視的カルテ調査

○金本 卓^{1,4)}, 牧 陽介^{1,4)}, 藪内 由里香^{1,4)}, 衛藤 智章¹⁾, 古海 和博¹⁾, 井本 あゆみ^{2,4)}, 倉本 麻美^{2,4)}, 河邊 顕^{3,4)}

1)独立行政法人 国立病院機構 小倉医療センター 薬剤部, 2)独立行政法人 国立病院機構 小倉医療センター 看護部, 3)独立行政法人 国立病院機構 小倉医療センター 消化器内科, 4)独立行政法人 国立病院機構 小倉医療センター 緩和ケアチーム

31P20-240 終末期がん患者における持続的深い鎮静時のミダゾラム投与量と関連因子—探索的実態調査—

○森島 恵理佳^{1,2)}, 藤本 愛理^{1,2)}, 嘉村 有紗^{1,2)}, 後藤 舞美²⁾, 児玉 健介²⁾, 福山 誠一²⁾, 山形 真一¹⁾

1)国立病院機構 別府医療センター 薬剤部, 2)国立病院機構 別府医療センター 緩和ケアチーム

31P20-241 在宅緩和ケアにおける PCA 導入患者のオピオイド用量変更時期と背景因子の後方視的調査

○飯田 亜希¹⁾, 平田 一耕^{2,3)}, 大場 啓貴^{2,3)}, 川名 真理子³⁾, 大川 薫⁴⁾, 舟越 亮寛^{3,5)}

1)クオール株式会社, 2)医療法人鉄蕉会 亀田クリニック 薬剤室, 3)医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部, 4)医療法人鉄蕉会 亀田クリニック 在宅診療科, 5)医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 医療管理本部 薬剤管理部

31P20-242 肺がんを伴う透析患者に対し、ヒドロモルフォン塩酸塩徐放錠を用いて呼吸困難の緩和を図った1例

○田島 由依¹⁾, 所 千晶¹⁾, 伊奈 研次¹⁾

1)社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院

31P20-243 ミダゾラムによる苦痛緩和の為の鎮静に難渋し、デクスメトミジンを使用した一例

○細川 栞¹⁾, 藤城 儀幸²⁾, 熊谷 恵¹⁾

1)八潮中央総合病院 薬剤部, 2)八潮中央総合病院 緩和ケア科

31P20-244 当院における終末期持続鎮静に対するミダゾラムの使用状況と課題の後方視
的検討

○杉山 奈津子¹⁾, 山本 健太¹⁾, 石川 怜¹⁾, 間宮 伸幸¹⁾, 矢木 美幸¹⁾

1)同愛記念病院 薬剤科

31P20-245 非がん患者の苦痛緩和に対する強オピオイドの効果について検討

○藤森 可純¹⁾, 八木 貴彦¹⁾, 森田 奈々¹⁾, 宮崎 真一郎¹⁾, 小笠原 隆¹⁾,
比良 洸太¹⁾, 吉川 陽子¹⁾, 川口 千香¹⁾, 宮本 康敬¹⁾

1)浜松医療センター

31P20-246 一般病棟におけるがん患者の予後予測指標の妥当性と予測乖離因子の検討

○小林 雅子¹⁾, 新谷 智則¹⁾, 仁木 一順³⁾, 岡本 禎晃^{2,4)}

1)市立敦賀病院 薬剤部, 2)敦賀市立看護大学 薬理学, 3)大阪大学大学院 薬学研究科, 4)
市立敦賀病院 緩和ケアチーム

ポスター発表21 心不全の緩和ケア

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P21-247 高度腎機能障害のある末期心不全患者の呼吸困難に対するモルヒネの使用経
験 ～塩酸モルヒネ注を低用量(2.5mg/日)から開始した症例について検証す
る～

○松波 寿雄¹⁾, 北岡 華奈¹⁾, 中村 千里¹⁾, 長井 英夫²⁾, 大川 浩子¹⁾

1)金沢赤十字病院 薬剤部, 2)金沢赤十字病院 循環器内科

31P21-248 心不全患者の終末期におけるオピオイド使用実態調査と課題の検討

○山野邊 裕子¹⁾, 金子 誠¹⁾, 金子 智一¹⁾, 長峰 守¹⁾

1)川口市立医療センター 薬学部

31P21-249 終末期心不全患者へのカテコラミン持続投与とオピオイド持続投与を同時
に行った一例

○加藤 彩乃¹⁾

1)日本調剤株式会社 三鷹南口薬局

31P21-250 ショック状態となった重症心不全患者が在宅看取りに至った一例

○西村 脩作¹⁾, 瀬戸 聡¹⁾, 平田 恵里¹⁾

1)株式会社エルマノ すばる中央薬局大船店

31P21-251 心不全チームとの連携体制構築と呼吸困難に対するモルヒネ使用マニュアルの作成

○江田 未来¹⁾, 尾上 裕太¹⁾

1)新小文字病院 薬剤科

ポスター発表22 小児・若年者、家族ケア、ACP

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P22-252 消化管 GVHD に対して塩酸モルヒネ注を投与していたが症状改善に伴い減量中止したことにより退薬症状が出現した一例

○梅原 聡子¹⁾, 安藤 里奈¹⁾, 中長 容子⁴⁾, 樋口 紘平³⁾, 平山 哲²⁾, 井上 聡子¹⁾

1)大阪母子医療センター 薬局, 2)大阪母子医療センター 子どものこころの診療科, 3)大阪母子医療センター 血液・腫瘍科, 4)大阪母子医療センター 看護部

31P22-253 気管支軟化症を伴う 18 トリソミー症候群の患児の呼吸苦の緩和に介入した1症例

○須田 奈美¹⁾, 菊田 奨之¹⁾, 宮沢 祐太¹⁾, 柴 さや香¹⁾, 山田 早彌²⁾, 塩田 祐子³⁾, 川久保 孝¹⁾

1)東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部, 2)東京慈恵会医科大学附属病院 小児科, 3)東京慈恵会医科大学附属病院 緩和ケア診療部

31P22-254 ACP を通してオピオイドスイッチに介入した一症例

○小寺 菜月¹⁾, 田邊 美菜¹⁾, 若林 厚史¹⁾, 坂本 依利¹⁾, 高橋 彩¹⁾, 向一美¹⁾, 田畑 寛明¹⁾, 猿谷 淳¹⁾

1)国家公務員共済組合連合会 北陸病院

31P22-255 病棟薬剤師が ACP に関わる利点と問題点

○高橋 未来¹⁾, 中田 和宏¹⁾, 小林 淳子¹⁾

1)越谷市立病院 薬剤科

31P22-256 在宅緩和ケアにおいてモルヒネ持続皮下鎮痛管理下で患者 ACP により別皮下ルートを用い鎮静を導入した一例

○竹原 幹太¹⁾, 鎌滝 真永¹⁾

1)日本調剤株式会社 ユーカリ薬局

31P22-257 家族ケアの視点を持つ薬剤師が多職種と連携して患者の身体の症状緩和および在宅での支援を行った一例

○渡邊 崇¹⁾, 大島 順子¹⁾, 山田 幸¹⁾, 笹川 嵩孔¹⁾

1)大賀薬局 粕屋別府店

ポスター発表 23 緩和ケア病棟・緩和ケアチーム

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P23-258 緩和ケアチームによるオピオイド使用患者への支援内容の可視化

○横山 敦¹⁾, 原田 優¹⁾, 長尾 茂輝²⁾, 政岡 数紀³⁾, 佐藤 久美恵⁴⁾, 西岡 寛子³⁾

1)国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 薬剤科, 2)国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 緩和支援療法科, 3)国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 精神科, 4)国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 看護部

31P23-259 中小病院における緩和ケアチームの取り組みと活動実績

○百瀬 智恵¹⁾, 川田 景子¹⁾

1)社会医療法人財団仁医会牧田総合病院

31P23-260 緩和ケア病棟を併設する急性期病院における終末期がん患者に対する持続鎮静の施行状況に関する調査

○真田 栄輝¹⁾, 間瀬 悟¹⁾, 村松 雅人²⁾, 中村 和行¹⁾, 近藤 有¹⁾, 志賀 有雅¹⁾, 金井 彩音¹⁾, 菅野 真奈¹⁾

1)JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 薬剤部, 2)JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 緩和ケア内科

31P23-261 緩和ケア専門医不在の当院における緩和ケアチーム主導のがん終末期患者鎮静前カンファレンスの運用実態調査

○澤井 健太^{1,4)}, 松岡 実和^{3,4)}, 前田 知人^{2,4)}, 多賀野 正嗣¹⁾, 堀 哲史¹⁾, 竹田 和也¹⁾

1)国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院 薬剤科, 2)国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院 消化器外科, 3)国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院 看護部, 4)国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院 緩和ケアチーム

31P23-262 豊島病院における緩和ケア病棟薬剤師の活躍

○黒木 あかね¹⁾, 豊田 真史¹⁾, 堀越 久仁恵¹⁾, 山崎 智世¹⁾, 城田 幹生¹⁾

1)東京都立病院機構 東京都立豊島病院 薬剤科

31P23-263 緩和ケア病棟における薬剤師の薬剤管理指導業務の実態調査

○金井 彩音¹⁾, 近藤 有¹⁾, 真田 栄輝¹⁾, 間瀬 悟¹⁾

1)豊田厚生病院 薬剤部

31P23-264 専門医不在になった後の緩和ケアチーム活動

○宮崎 佑介¹⁾, 藤森 央基¹⁾, 大木 健史¹⁾

1)君津中央病院

31P23-265 オピオイド回診の有用性についての検討

○鳥越 真衣¹⁾, 川田 哲史¹⁾, 内山 将伸^{1,2)}, 柴田 志保³⁾, 静永 紘実¹⁾, 井上 竜一¹⁾, 兼重 晋⁴⁾, 神村 英利⁴⁾

1)福岡大学病院 薬剤部, 2)福岡大学 薬学部 腫瘍・感染症薬学研究室, 3)福岡大学病院 医学部 麻酔科学教室, 4)福岡大学 薬学部 病院薬学研究室

31P23-266 緩和ケアチーム薬剤師主導の PCA ポンプ関連マニュアル整備による緩和医療継続効果

○筑田 理絵¹⁾, 小林 路子¹⁾, 吉田 謙一²⁾, 森田 真理²⁾, 坂本 理恵³⁾, 大城 絵里奈³⁾, 菊池 恵理華³⁾, 嘉山 郁未³⁾, 竹永 悠司⁴⁾, 川口 祥子⁴⁾

1)国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 薬剤科, 2)国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 緩和ケア内科, 3)国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 看護部, 4)社会福祉法人日本医療伝導会 総合病院 衣笠病院 薬剤科

31P23-267 緩和薬物療法認定薬剤師による非がん患者支援拡大とチーム活動への影響

○中尾 夕美¹⁾, 千原 里美¹⁾

1)市立伊丹病院 薬剤部

ポスター発表24 チーム医療、多職種連携

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P24-268 骨転移による難治性疼痛に対し、ケミカルコーピングを考慮した多職種連携により自宅退院が可能となった一例

○大谷 崇仁¹⁾, 吉田 勝好¹⁾, 土佐 めぐみ²⁾, 黒田 博彦³⁾, 郷原 学¹⁾

1)益田赤十字病院 薬剤部, 2)益田赤十字病院 看護部, 3)益田赤十字病院 外科

31P24-269 ケミカルコーピングを伴う終末期がん疼痛管理に多職種で挑んだ一例

○加藤 悠¹⁾, 関口 直子²⁾, 細川 泰博³⁾

1)クラフト株式会社 さくら薬局 壬生店, 2)クラフト株式会社 さくら薬局 古河店, 3)クラフト株式会社 教育研修部

31P24-270 多職種介入によりセルペルカチニブ服用を再開できた1症例

○小牧 佐知子¹⁾, 水野 綾乃¹⁾, 沢 仁美¹⁾, 高寺 章代¹⁾, 中井 佐知子²⁾, 三村 亜理紗³⁾, 寺本 明世³⁾, 杉本 圭司⁴⁾

1)川西市立総合医療センター 薬剤科, 2)同 栄養科, 3)同 看護部, 4)同 外科

31P24-271 疼痛コントロール難渋患者に対する緩和ケアチーム介入依頼を受け薬剤調整により自宅退院を実現した1症例

○小林 義典¹⁾

1)富士宮市立病院 薬剤部

31P24-272 がん性疼痛緩和指導管理料の算定状況と電子カルテ用テンプレートの使用状況報告

○越智 啓介¹⁾, 原田 嵩大¹⁾, 末廣 拓¹⁾, 宮内 美菜子¹⁾, 西畑 友尋¹⁾, 玉井 宏一¹⁾, 倉田 知久¹⁾, 松岡 葉子²⁾, 渡部 早苗³⁾, 山下 広恵⁴⁾, 池内 靖恵⁴⁾, 武田 千津⁴⁾

1)愛媛県立中央病院 薬剤部, 2)愛媛県立今治病院 薬剤部, 3)愛媛県立新居浜病院 薬剤部, 4)愛媛県立中央病院 看護部

31P24-273 緩和ケアチーム薬剤師と外来担当薬剤師の連携から早期に疼痛緩和が得られたオピオイド使用中の外来がん患者の1症例

○森田 奈々¹⁾, 八木 貴彦¹⁾, 藤森 可純¹⁾, 宮崎 真一郎¹⁾, 吉川 陽子¹⁾, 平野 公美¹⁾, 川口 千香¹⁾, 宮本 康敬¹⁾

1)浜松医療センター

31P24-274 薬剤師の介入により高用量オピオイド投与中の患者の症状コントロールをはかり、入院支援を行った1例

○坂田 光平¹⁾

1)特定医療法人萬生会熊本第一病院

31P24-275 在宅緩和ケアにおける訪問看護師のデバイスに対する不安解消に向けた薬剤師の介入と評価

○水谷 めぐみ¹⁾, 藤田 龍¹⁾

1)日本調剤株式会社 尾山台南口薬局

31P24-276 フェンタニル注射液の限定出荷に対する薬剤部の取り組み

○玉井 宏一¹⁾, 越智 啓介¹⁾, 原田 嵩大¹⁾, 古田 光平¹⁾, 末廣 拓¹⁾, 十亀 将輝¹⁾, 宇都本 孝夫¹⁾, 織田 高子¹⁾, 渡部 佳子¹⁾, 西畑 友尋¹⁾, 倉田 知久¹⁾, 中西 和雄²⁾

1)愛媛県立中央病院 薬剤部, 2)愛媛県立中央病院 麻酔科

31P24-277 未経験薬局で初めて対応したPCAポンプ麻薬持続投与症例における多職種連携と薬剤師の積極的関与

○吉田 さくら¹⁾

1)クオール薬局 つくば桐の葉モール店

ポスター発表25 医療安全、医薬品安全管理

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P25-278 麻薬注射の指示標準化に向けた初回オーダー時の実態調査

○小川 実華¹⁾, 奥田 和貴¹⁾, 高橋 里沙¹⁾, 坂本 拓也¹⁾, 河井 良智¹⁾

1)独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院 薬剤部

31P25-279 当院で発生した誤調剤による麻薬事故とその後の対策

○芳賀 若菜¹⁾, 野竹 秀幸¹⁾, 大石 勝康¹⁾

1)静岡済生会総合病院 薬剤部

31P25-280 中小病院における入院患者の医療用麻薬自己管理導入に向けた薬剤師主導の教育と意識調査

○藤田 康介^{1,4)}, 佐藤 友香^{2,4)}, 竹内 丙午^{3,4)}

1)社会医療法人博愛会 菅間記念病院 薬剤科, 2)社会医療法人博愛会 菅間記念病院 看護部, 3)社会医療法人博愛会 菅間記念病院 消化器外科, 4)社会医療法人博愛会 菅間記念病院 緩和ケア委員会

31P25-281 当院で起こった医療用麻薬事故について

○笹木 洋¹⁾

1)森下病院 薬局

31P25-282 がん患者の疼痛・呼吸困難に対する麻薬持続注射マルチセットの有用性に関する検討

○宮崎 早苗^{1,2)}, 水津 苑香^{1,2)}, 松山 純子²⁾, 内田 幸子²⁾, 白井 薫¹⁾, 橋本 裕数¹⁾

1)健和会 大手町病院 薬剤部, 2)健和会 大手町病院 緩和ケアチーム

31P25-283 当院における医療用麻薬関連インシデントの発生状況調査

○渡辺 彩里華¹⁾, 加藤 遥¹⁾, 平野 貴志¹⁾, 横田 学¹⁾

1)地方独立行政法人 知多半島総合医療機構 知多半島総合医療センター 薬剤局

ポスター発表 26 その他の薬剤業務

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P26-284 口腔内悪臭に対するメトロニダゾール粉末懸濁液（院内製剤）の有用性と薬剤師の臨床的役割

○森本 明美¹⁾, 和田 健太郎²⁾, 大浜 布由^{3,4)}, 小松 早希^{3,4)}, 下平 晶子^{3,4)}, 植村 未奈子⁴⁾, 吉田 絵里^{3,4)}, 柄池 真規子⁵⁾, 岡田 佳也⁶⁾, 石丸 英三郎²⁾

1)社会医療法人きつこう会 多根総合病院 薬剤部, 2)社会医療法人きつこう会 多根総合病院 緩和医療科, 3)社会医療法人きつこう会 多根総合病院 緩和ケア病棟, 4)社会医療法人きつこう会 多根総合病院 看護部, 5)社会医療法人きつこう会 多根総合病院 外科, 6)社会医療法人きつこう会 多根総合病院 腫瘍内科

31P26-285 麻薬管理システム導入による業務効率化の評価

○小林 裕平¹⁾, 永瀬 怜司¹⁾, 香取 史菜¹⁾, 中西 美恵¹⁾, 菅野 浩¹⁾

1)済生会横浜市東部病院 薬剤部

31P26-286 がん終末期患者の減薬について考える-薬剤部へのアンケートを中心に-

○森川 沙樹¹⁾, 中村 仁美¹⁾, 深井 靖大¹⁾, 安部 英治²⁾

1)熊本地域医療センター 薬剤部, 2)熊本地域医療センター 緩和ケア科

31P26-287 小規模薬局におけるPCA処方設計の取り組み

○斉藤 智人¹⁾, 斉藤 明子¹⁾

1)藤薬局

31P26-288 外来でのメサドン治療に対して薬局薬剤師によるオンラインフォローアップツールでの副作用モニタリングを実施した一例

○梅野 美智瑠¹⁾

1)株式会社スギ薬局 阪神調剤薬局 草津矢橋店

31P26-289 薬局薬剤師のがん性疼痛管理に関する項目に対する重要性認識と実施状況

○山下 悠作¹⁾, 伊藤 将²⁾, 月岡 良太²⁾, 長谷川 佳孝²⁾, 大石 美也²⁾

1)(株)アインファーマシーズ アイン薬局 富田林病院店, 2)(株)アインホールディングス

31P26-290 患者・家族および医療従事者の安全を守るための曝露対策：環境モニタリングに基づく調製・清掃手順の最適化

○河野 渉¹⁾

1)JA 徳島厚生連 吉野川医療センター 薬剤部

31P26-291 在宅がん患者の医療用麻薬注射剤導入における薬局機能と課題～無菌調剤可能薬局に集中した5年間・432名の事例～

○大澤 歩実¹⁾, 藤澤 哲也¹⁾, 木村 智美¹⁾

1) (株) オール・プラン社 もみじ薬局

31P26-292 複数医療機関受診の外来がん患者の疼痛管理に対し、フォローアップにより薬学的介入を行った1症例

○杉浦 聡¹⁾, 太田 仁美¹⁾, 新留 香二²⁾

1)おかやま薬局 上道店, 2)株式会社オカイ・メディカル・ファーマシー

ポスター発表27 在宅緩和ケア

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P27-293 在宅緩和ケアにおける高用量オピオイドの安定供給に多職種連携が寄与した症例

○茨木 貴子¹⁾, 茨木 透¹⁾

1)あんず薬局

31P27-294 当院のPCA付きシリンジポンプを用いた在宅におけるスイッチングの1例

○吉田 勝好¹⁾, 大谷 崇仁¹⁾, 田原 明子¹⁾, 郷原 学¹⁾

1)益田赤十字病院 薬剤部

31P27-295 在宅がん患者における薬局薬剤師の訪問指導回数増加要因の分析

○谷江 良崇¹⁾, 田窪 真行²⁾

1)株式会社スギ薬局 在宅調剤センター安城店, 2)株式会社スギ薬局 中部調剤サポート課

31P27-296 セロトニン遮断再取り込み阻害薬使用患者でオピオイド増量時にセロトニン症候群が疑われた一例

○山田 行徳¹⁾, 山岸 優太¹⁾, 河村 晃司¹⁾, 山下 祐佳¹⁾, 松田 公昭¹⁾, 藤井 遼¹⁾, 小下 和也²⁾, 桐谷 領²⁾, 土ヶ内 悠人²⁾, 高見 学³⁾, 高崎 幹敏³⁾, 古屋 裕一⁴⁾

1)すずらん薬局 舟入店, 2)すずらん薬局 川内店, 3)すずらん薬局 五日市店, 4)株式会社ホロンすずらん薬局グループ

31P27-297 医療用麻薬注射剤を使用する患者の在宅移行における緩和ケアチーム薬剤師の貢献

○近藤 有¹⁾, 志賀 有雅¹⁾, 真田 栄輝¹⁾, 金井 彩音¹⁾, 酒井 幹康¹⁾, 菅野 真奈¹⁾, 小嶋 亮太¹⁾, 小田切 由梨¹⁾, 間瀬 悟¹⁾

1)JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 薬剤部

31P27-298 在宅サポート店舗として終末期がん患者の円滑な在宅移行支援が奏功した事例

○能登 啓介¹⁾, 天野 清明²⁾, 井上 正浩¹⁾, 國永 均味¹⁾, 中西 萌¹⁾, 森田 梨奈¹⁾, 森田 健之¹⁾

1)サン薬局平群店, 2)サン薬局郡山東店

31P27-299 在宅緩和ケアにおける CADD-Legacy 使用時の操作・設定ミスに起因するトラブル事例の分析

○鍋木 美穂子¹⁾, 原田 寿²⁾, 前田 桂吾²⁾, 木村 有希¹⁾

1)日本調剤尾山台南口薬局, 2)日本調剤株式会社 在宅医療部

31P27-300 在宅緩和ケアにおいて訪問看護師との連携でせん妄を改善し家族の介護負担を軽減した肺がん患者の一例

○五條 元量¹⁾, 渡邊 崇²⁾, 江口 真理子³⁾

1)大賀薬局 福岡早良在宅調剤センター, 2)大賀薬局 粕屋別府店, 3)大賀薬局 野芥調剤店

31P27-301 在宅緩和ケアを支える薬局薬剤師の 24 時間対応一時間外コールの実態と負担の検討一

○覺知 哲美¹⁾

1)日本調剤株式会社 尾山台南口薬局

31P27-302 地域介護施設における医療用麻薬使用がん患者への対応に関する探索的調査

○中西 順子^{1,2)}, 篠永 浩¹⁾, 原田 典和¹⁾, 白川 律子²⁾, 加地 努¹⁾

1)三豊総合病院 薬剤部, 2)三豊総合病院 緩和ケアチーム

31P27-303 在宅移行時のオピオイド注射薬処方再設計における薬剤師の専門的役割

○西依 恭平¹⁾, 天方 奉子¹⁾, 稲葉 一郎¹⁾

1)薬局セントラルファーマシー長嶺

31P27-304 在宅緩和ケアにおける薬剤師主導のオピオイドスイッチングが患者の希望実現とQOL向上に貢献した一症例

○金子 恵子¹⁾

1)アイン薬局 すみさか店

31P27-305 終末期在宅医療における多施設・多職種で構成する地域緩和ケアチームの法人化活動

○宮澤 正幸^{1,6)}, 奥野 滋子^{2,6)}, 奥野 記代子^{3,6)}, 土屋 恵^{4,6)}, 石原 晴生^{5,6)}, 鈴木 研^{5,6)}, 松本 万紀子⁶⁾

1)藤沢市民病院 薬局, 2)ホームケアクリニック大庭, 3)ゆいまーる訪問看護ステーション, 4)東海岸 めぐみ薬局, 5)特定医療法人社団若林会, 6)一般社団法人地域ケアネット ほっとかんわ湘南

31P27-306 多職種と連携することで、患者と患者家族の希望に沿った在宅看取りができた一症例

○大森 聖之¹⁾, 細川 泰博²⁾

1)クラフト株式会社 さくら薬局御茶ノ水駅前店, 2)クラフト株式会社 教育研修部

31P27-307 せいぶ緩和ケアやくやくミーティング（鳥取県西部医療圏）の立ち上げ、初年度の活動及び今後の活動について

○田川 有希¹⁾, 高塚 雄太²⁾, 大野 史織³⁾, 直良 知美⁴⁾, 栢木 啓介⁴⁾, 加藤 淳一³⁾, 大谷 誠司⁵⁾

1)有限会社アド調剤薬局 桔梗堂薬局, 2)有限会社アド調剤薬局 西部薬局, 3)博愛病院薬剤部, 4)鳥取大学医学部付属病院薬剤部, 5)有限会社アド調剤薬局

31P27-309 麻薬服用拒否のある患者に対して訪問薬剤師による介入がうまくいった一症例

○橋場 剛¹⁾, 山崎 健吾¹⁾, 宮本 智子¹⁾, 増子 ひとみ¹⁾, 菊池 俊¹⁾, 對馬 凜¹⁾, 宮坂 善之¹⁾, 兼好 真里¹⁾, 猪苺 良祐¹⁾, 田口 圭三¹⁾

1)リジョン薬局 厚別

31P27-310 在宅緩和ケアに関わる薬剤師の知識自信度と学習ニーズに関する横断的調査

○松本 優太¹⁾, 近井 優斗²⁾, 濱口 尚美²⁾, 島貫 英二²⁾

1)クオール株式会社 クオール薬局取手店, 2)クオール株式会社

31P27-311 在宅緩和ケアにおける保険薬局の無菌調剤対応推進活動—長岡市薬剤師会の取り組み—

○金子 睦志^{1,3)}, 小島 佳浩^{2,3)}, 樋口 貴子¹⁾, 小林 由依³⁾, 星 尚寛³⁾, 田邊 香織³⁾, 上村 宏³⁾, 近藤 宏^{1,3)}

1)JA 新潟厚生連 長岡中央総合病院 薬剤部, 2)長岡赤十字病院 薬剤部, 3)一般社団法人 長岡市薬剤師会

ポスター発表28 地域連携

5月31日(日) ポスター会場 和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

ポスター示説③ 10:45-11:45 演題番号【奇数】

ポスター示説④ 14:00-15:00 演題番号【偶数】

31P28-312 地域緩和ケアネットワーク研修により得られた院内運用の理解と共通指標の活用～痛み日記とテレフォン服薬サポートにより処方提案に至った一例～

○佐藤 翼¹⁾, 高野 陽平²⁾, 横井 飛太¹⁾, 染谷 光洋¹⁾, 谷口 亮央¹⁾, 中島 史雄¹⁾

1)株式会社ナカジマ薬局, 2)砂川市立病院 薬剤部

31P28-313 病院薬剤師による薬薬連携強化への取り組み ～がん薬物療法勉強会を通じた薬局薬剤師の副作用対応および受診勧奨に対する意識変容～

○水津 苑香¹⁾, 宮崎 早苗¹⁾, 白井 薫¹⁾, 橋本 裕数¹⁾

1)健和会 大手町病院 薬剤部

31P28-314 地域医療リンケージによる連携を通じて症状緩和に取り組んだ肝門部胆管がん終末期の1症例

○林 美香¹⁾, 山田 百合子²⁾, 酒井 ゆかり²⁾, 杉野 絹代²⁾, 佐藤 正夫³⁾, 古川 大樹⁵⁾, 松本 理恵⁵⁾, 全 秀嶺⁴⁾

1)一般社団法人 海津市医師会病院 薬剤室, 2)一般社団法人 海津市医師会病院 看護部, 3)一般社団法人 海津市医師会病院 整形外科, 4)一般社団法人 海津市医師会病院 内科, 5)社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 薬剤部

31P28-315 地域薬局と病院薬剤師が連携し、ACP の観点から治療継続を支えた外来化学療法の一例

○鳥山 陽子¹⁾, 諫見 圭佑¹⁾, 迫田 英樹²⁾

1)国立病院機構 鹿児島医療センター 薬剤部, 2)南九州調剤薬局

31P28-316 オピオイド専用トレーシングレポート導入による薬薬連携から早期の疼痛緩和が得られた一症例

○鈴木 訓史¹⁾, 東 敬太¹⁾, 西村 康人¹⁾

1)国立病院機構 仙台医療センター 薬剤部

31P28-317 多職種連携の退院時共同指導により終末期がん患者の在宅移行がスムーズに行えた一例

○永村 洋子¹⁾

1)マエノ薬局 西が丘店

31P28-318 横浜市旭区・瀬谷区薬薬連携研修会での有害事象(ざ瘡様皮疹・手足症候群)の評価に関する理解度調査

○松本 光司^{1,2)}, 近藤 一成²⁾, 塩川 尚恵³⁾, 松崎 貴志³⁾, 東垂水 裕和⁴⁾, 小串 興平⁴⁾, 西崎 百合絵⁵⁾, 櫻井 学⁵⁾, 泉 和孝⁶⁾, 久保田 充明⁶⁾, 日向 彰²⁾

1)クリエイイト薬局 旭二俣川店, 2)旭区薬剤師会, 3)聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 薬剤部, 4)横浜旭中央総合病院 薬剤部, 5)神奈川県立がんセンター 薬剤科, 6)瀬谷区薬剤師会

31P28-319 疼痛用トレーシングレポートの運用と現状報告

○新井 大地¹⁾, 渡邊 裕斗¹⁾, 永治 正太郎¹⁾, 兼松 友紀¹⁾, 丸山 順也¹⁾, 長谷部 千夏¹⁾, 宮部 芳之¹⁾

1)岐阜県立多治見病院 薬剤部

31P28-320 当薬局における麻薬処方箋応需の実態調査と課題

○梅野 智美¹⁾

1) (株) たかだ調剤薬局